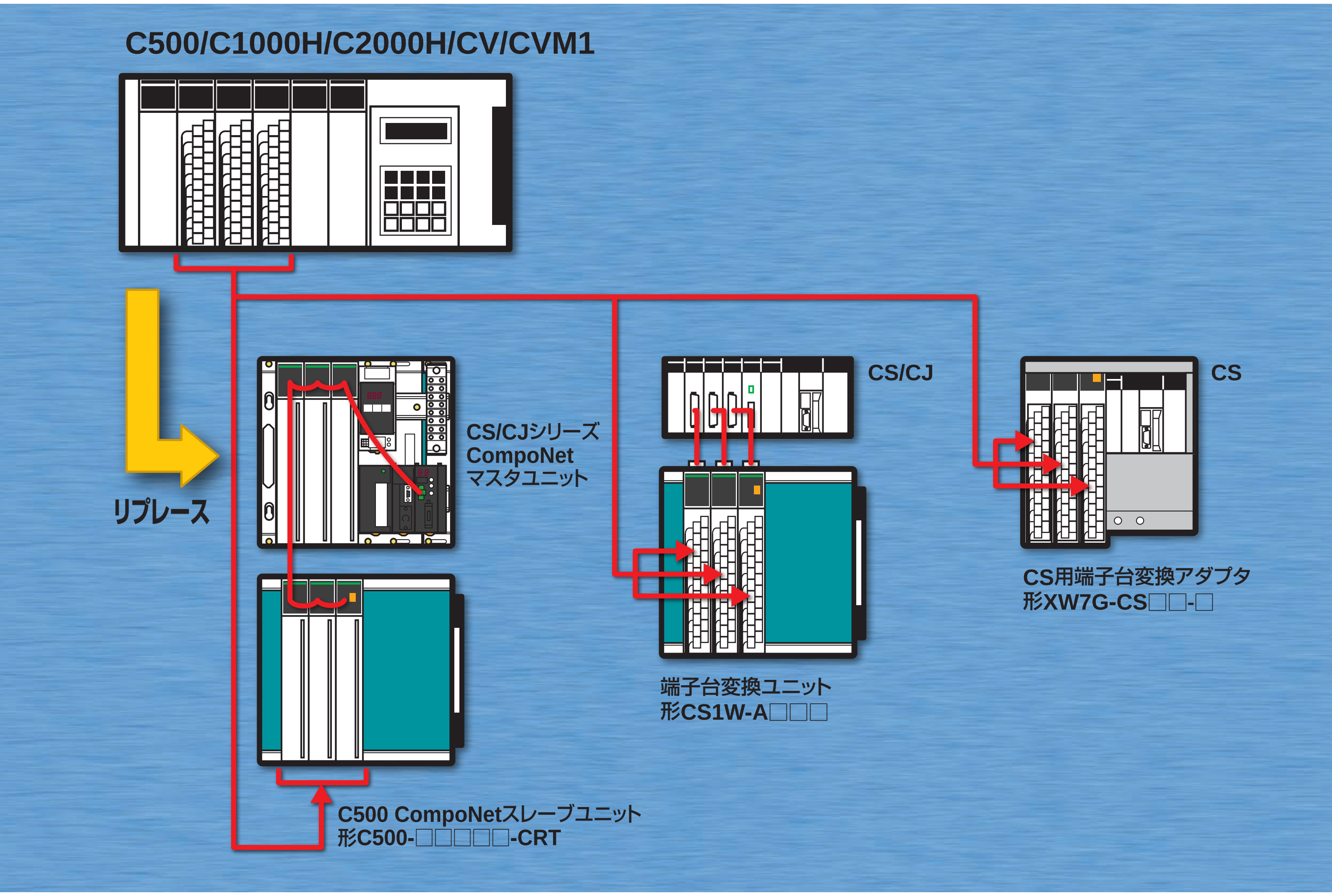
プログラマブルコントローラ

# C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1 リプレース&リニューアルガイド

C500 CompoNetスレーブ 形C500-□□□□□-CRT
端子台変換ユニット 形CS1W-AT□□□
CS用端子台変換アダプタ 形XW7G-CS□□-□




**I/Oユニットの端子台配線を流用できるリプレース方法をご用意致しました。**
**お客様でのリプレース／リニューアルのご負担を軽減するための**
**機器／ツール／サポートもご提供いたします。**
**設備の安定稼働、リニューアルは、オムロンにご相談ください。**

realizing
つくることの、すべてに。

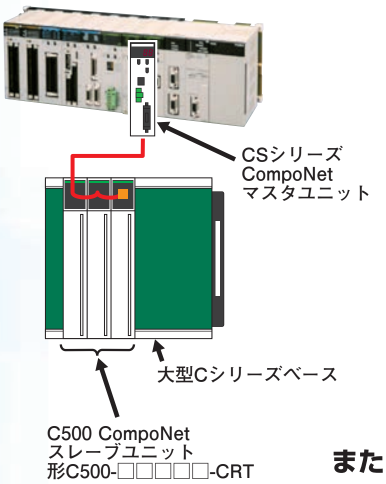
# C500/C1000H/C
# リプレースやリニュ
# オムロンから、3つ

方法 1

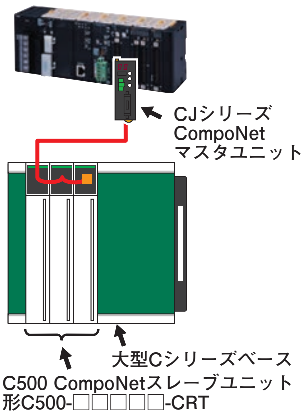
## C500 CompoNetスレーブ

**I/O端子台を再利用して**
**CompoNetで接続します。**
**SYSBUS(ワイヤタイプ)リモートI/Oも**
**対応可能です。**

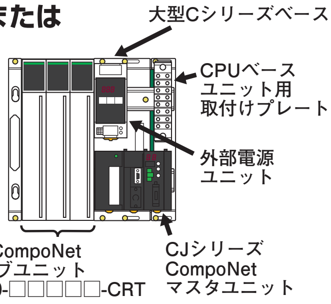
### CSシリーズ




### CJシリーズ




**または**



# 2000H/CV/CVM1シリーズの
# ーアルをご検討されるなら…
# の方法のご提案です。

C500/
C1000H/
C2000H/
CV/CVM1

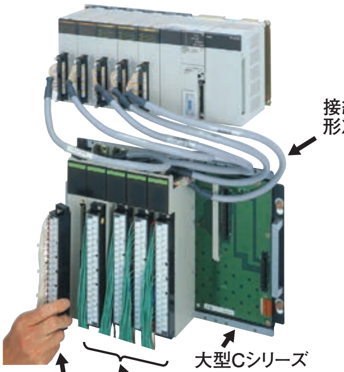
## 方法2 端子台変換ユニット

**I/O端子台を再利用可能です。
C500基本I/Oユニットに
対応します。**

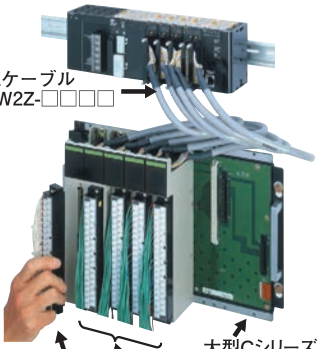
## 方法3 CS用 端子台変換アダプタ

**I/O端子台を再利用可能です。
C500基本I/Oユニットに対応します。
置換え先PLC設置のための
新規スペースが不要です。**

### CSシリーズ



### CJシリーズ



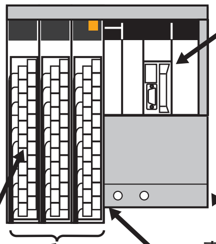
接続ケーブル
形XW2Z-□□□□

大型Cシリーズ
ベース

大型Cシリーズ→CS/CJ
端子台交換ユニット
形CS1W-AT□□□

既存C500基本I/Oユニットから
取り外した端子台

### CSシリーズ



CSシリーズ

専用プレート

スペーサ

CS用端子台変換アダプタ
形XW7G-CS□□-□

既存C500基本I/Oユニットから
取り外した端子台

注:基本I/Oユニットの種類によって、制約が発生したり対応できない機種があります。
注:既存の配線済みの端子台を流用する際は、端子台・配線状態に問題が無いことを確認してください。
- ネジのゆるみがないこと。
- ケーブルが切れ掛かってないこと。
- さびや腐食がないこと。
- 端子台が破損していないこと(端子台が完全に挿入、固定できること)。

注:交換前後のCPUユニットで機能・性能が異なります。また端子台変換ユニットおよびCompoNetユニットとC500用基本I/Oユニットでは仕様・性能が異なります。
置換え前の設備と同一の動作となっていることをご確認のうえ運転してください。
注:CS用端子台変換アダプタの置換後の寸法については「奥行寸法変更一覧」、「取付寸法変更一覧」でご確認ください。

# 代替推奨機種の特長ご紹介

## ■ CS/CJシリーズ

・「大容量」「高性能」「高機能」によって装置の高機能化/ダウンサイジングを実現できます。
・情報系(Ethernet)から制御系(Controller Link、SYSMAC LINK)、コンポーネント系(DeviceNet)まで、最大8階層をシームレスにメッセージ通信可能。現場の本格的な情報化を促進できます。
・豊富なCPUユニットバリエーション、メモリカード、バッテリレス運転などをサポート。とくにCSシリーズはC200Hシリーズのユニット(基本I/Oユニット、高機能I/Oユニット、増設装置、リモートI/O)の継承性があります。

■ CSシリーズ

■ CJシリーズ

## ■基本仕様の比較

以下のように、代替推奨品のCS1、CJ2のいずれも、既存機種C500/C1000H/C2000Hの基本仕様をカバーしています。
また、大幅に高速化および大容量化されます。

| | | 既存機種 | | | 代替推奨品 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | C500 | C1000H | C2000H | CS1 | CJ2 |
| 入出力点数 | | 512点 | 1024点 | 2048点 | 960～5120点 | 2560点 |
| 制御方式 | | ストアードプログラム方式 | | | ストアードプログラム方式 | |
| 入出力制御方式 | | サイクリック方式と都度方式を併用可能 | | | サイクリック方式と都度方式を併用可能 | |
| プログラム言語 | | ラダーチャート方式 | | | ラダーチャート方式 | |
| 命令の種類 | | 71種 | 174種 | 174種 | 約400種 | |
| 処理時間 | 基本命令 | 3μs～ | 0.4μs～ | 0.4μs～ | 0.02μs～ | 0.016μs～ |
| | 応用命令 | 22μs～ | 8μs～ | 5μs～ | 0.04μs～ | 0.048μs～ |
| プログラム容量 | | 最大12KW | 最大32KW | 最大32KW | 最大250Kステップ | 最大400Kステップ |
| 保持リレー | | 512点 | 1600点 | 1600点 | 8192点 | 8192点 |
| リンクリレー | | 512点 | 1024点 | 1024点 | 3200点 | 3200点 |
| タイマ/カウンタ | | 128点 | 512点 | 512点 | 個別に4096点 | 個別に4096点 |
| データメモリ | | 512W | 4KW | 6KW | 32KW | 32KW |
| 拡張データメモリ | | — | — | — | 最大416KW | 最大800KW |

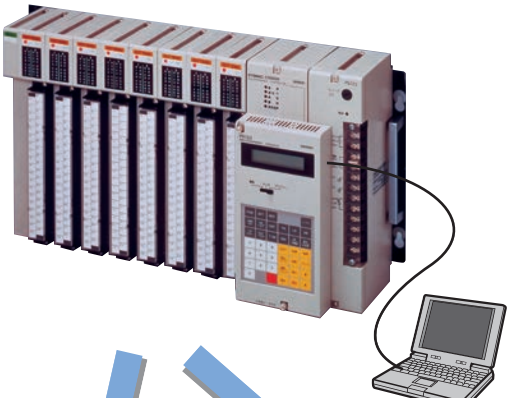
注:CV/CVM1シリーズとCS1/CJ2シリーズ基本仕様の比較については置換えガイド(SBCA-076、SBCA-077)を参照ください。

CompoNetはODVAの登録商標です。
その他、記載されている会社名と製品名などにつきましては、各社の登録商標または商標です。

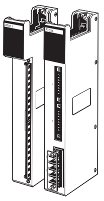
# 方法 1 端子台配線はそのままで、省配線ネットワーク(CompoNet)で持続する場合

# C500 CompoNetスレーブ

C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1



CX-Progammer
SYSMAC
サポートソフト



大型Cシリーズ→
C500 CompoNetスレーブ
形C500-□□□□□-CRTを使えば…

●手順

1.既設のC500基本I/Oユニットをベースからすべて取り外し

2.そこにC500 CompoNetスレーブユニットを装着

3.元のI/O配線された端子台のみをC500 CompoNetスレーブユニットに装着

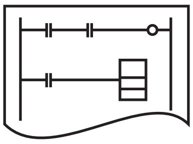
4.CPUユニットにCompoNetマスタユニットを装着し、CompoNetケーブルで接続

**これにより**

**端子台配線はそのままでCS/CJシリーズへリプレース可能**

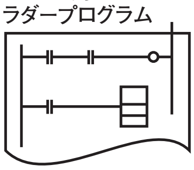
一部、電源およびコモン端子の配線変更が必要になります。

C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1用ラダープログラム



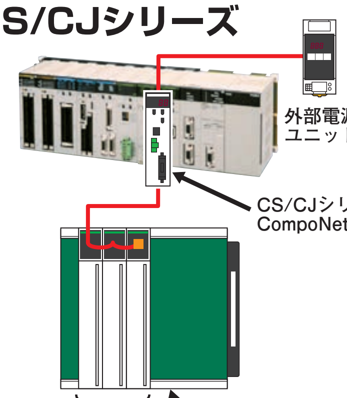
**CX-Progammerまたは SYSMACサポートソフトにより変換**

CS/CJ用ラダープログラム

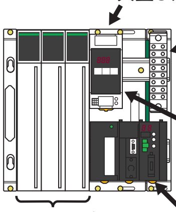


※PLC機種をCS/CJシリーズに変更することで、命令語とリレーエリアが変換されます。
(詳細は9ページを参照ください。)

## CS/CJシリーズ




## CJシリーズ




## ■ CJ2に置換するときのシステム構成例

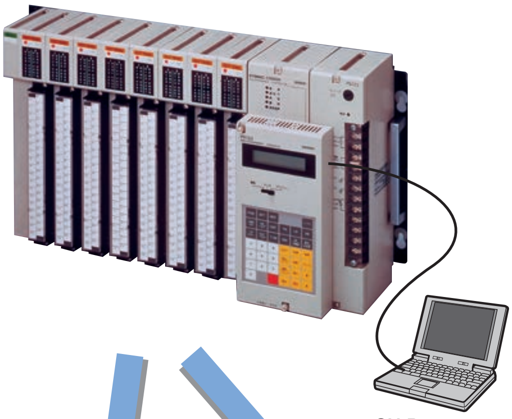
CPUベース、CPUユニット、CPU電源ユニット、基本I/Oユニット、高機能I/Oユニット、I/Oベースをすべて交換してください。

| 名 称 | | 仕 様 | 形 式 | 置換推奨形式 | 仕 様 |
|---|---|---|---|---|---|
| CPU装置 | CPUベース | 8スロット<br>取付穴加工寸法:150×465mm | 形C500-BC081 | 不要 | CJシリーズはベース不要です |
| | CPUユニット | プログラム容量:4KW、<br>I/O点数:1024点 | 形C1000H-CPU01-V1 | 形CJ2M-CPU15 | プログラム容量:60KW、<br>I/O点数:2560点 |
| | CPU電源ユニット | AC電源タイプ、<br>出力容量:DC5V 7A | 形C500-PS221 | 形CJ1W-PA205R | AC電源タイプ<br>出力容量:DC5V 5A |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | |
| | I/Oコントロール<br>ユニット | | 形C500-II101 | 形CJ1W-IC101 | 増設装置接続用 |
| 増設装置 | I/Oベースユニット | 8スロット | 形C500-BI081 | 不要 | |
| | 増設ケーブル | 30cm | 形C500-CN312N | 形CS1W-CN313 | 30cm |
| | I/Oインタフェース<br>ユニット | | 形C500-II002 | 形CJ1W-II101 | |
| | I/O電源ユニット | | 形C500-PS222 | 形CJ1W-PA205C | |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | |

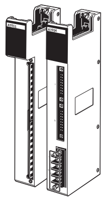
# 方法 2 端子台配線はそのままで、I/O点数が少ないとき

## 端子台変換ユニット

### C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1



CX-Progammer
SYSMACサポートソフト



大型Cシリーズ→CS/CJ
端子台変換ユニット
形CS1W-AT□□□を使えば…

●手順

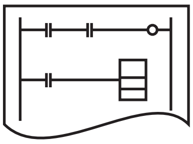
1.既設のC500基本I/Oユニットをベースからすべて取り外し
2.そこに端子台変換ユニットを装着
3.元のI/O配線された端子台のみを端子台変換ユニットに装着
4.接続ケーブルで端子台変換ユニットからCS/CJ基本I/Oユニットコネクタタイプへ

**これにより**

**端子台配線はそのままでCS/CJシリーズへリプレース可能**

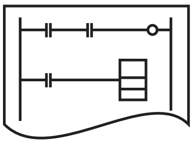
一部、電源およびコモン端子の配線変更が必要になります。

C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1用ラダープログラム



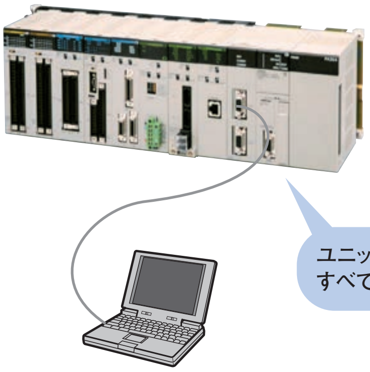
**CX-ProgammerまたはSYSMACサポートソフトにより変換**

CS/CJ用ラダープログラム



※PLC機種をCS/CJシリーズに変更することで、命令語とリレーエリアが変換されます。（詳細は9ページを参照ください。）

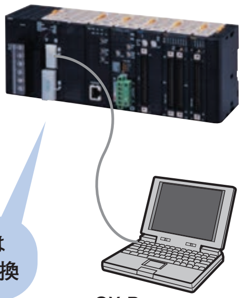
### CSシリーズ



CX-Progammer

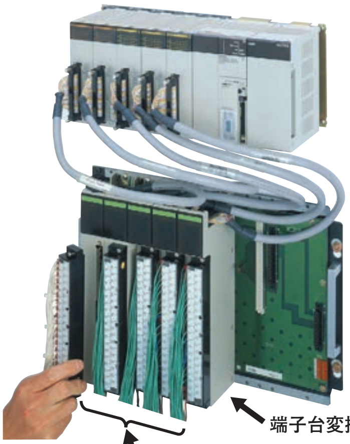
ユニットはすべて交換

### CJシリーズ



CX-Progammer

### CS/CJシリーズ



大型Cシリーズ ベース

端子台変換ユニット 形CS1W-AT□□□

既設のC500基本I/Oユニットの端子台をそのまま使用

## ■CS1に置換するときのシステム構成例

CPUベース、CPUユニット、CPU電源ユニット、基本I/Oユニット、高機能I/Oユニット、I/Oベースをすべて交換してください。

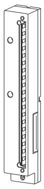
| 名　称 | | 仕　様 | 形　式 | 置換推奨形式 | 仕　様 |
|---|---|---|---|---|---|
| CPU装置 | CPUベース | 8スロット<br>取付穴加工寸法:150×465mm | 形C500-BC081 | 形CS1W-BC083 | 8スロット<br>取付穴加工寸法:118×421mm |
| | CPUユニット | プログラム容量:4KW、<br>I/O点数:1024点 | 形C1000H-CPU01-V1 | 形CS1G-CPU44H | プログラム容量:30Kステップ、<br>I/O点数:1280点 |
| | CPU電源ユニット | AC電源タイプ、<br>出力容量:DC5V 7A | 形C500-PS221 | 形C200HW-PA209R | AC電源タイプ<br>出力容量:DC5V 9A |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | |
| | I/Oコントロールユニット | | 形C500-II101 | 不要 | C500用I/O増設装置接続用 |
| 増設装置 | I/Oベースユニット | 8スロット | 形C500-BI081 | 形CS1W-BI083 | 8スロット |
| | 増設ケーブル | 30cm | 形C500-CN312N | 形CS1W-CN313 | 30cm |
| | I/Oインタフェースユニット | | 形C500-II002 | 不要 | |
| | I/O電源ユニット | | 形C500-PS222 | 形C200HW-PA204 | |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | |

方法 3

# 端子台配線はそのままで、端子台変換アダプタを使用しリプレースする場合

## 端子台変換アダプタ

C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1



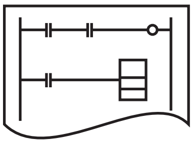
大型Cシリーズ→CS
端子台変換アダプタ
形XW7G-CS□□-□を使えば…

●手順
1.既設のC500基本I/Oユニットをベースからすべて取り外し
2.そこに専用設置プレートを使いCSベース+I/Oユニットを装着
3.変換アダプタを取り付けその上に元のI/O配線された端子台を装着

**これにより**
**端子台配線はそのままでCSシリーズへリプレース可能**

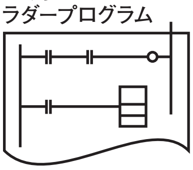
一部、電源およびコモン端子の配線変更が必要になります。

C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1用
ラダープログラム



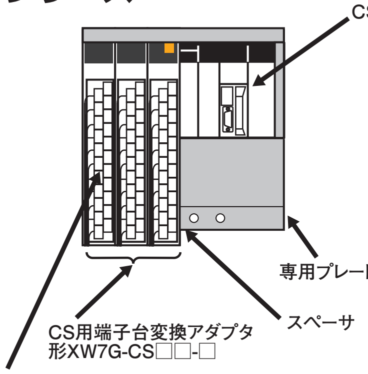
CX-ProgammerまたはSYSMACサポートソフトにより変換

CS用
ラダープログラム



※PLC機種をCSシリーズに変更することで、命令語とリレーエリアが変換されます。
（詳細は9ページを参照ください。）

CSシリーズ




## ■CS1に置換するときのシステム構成例

CPUベース、CPUユニット、CPU電源ユニット、基本I/Oユニット、高機能I/Oユニット、I/Oベースをすべて交換してください。

| 名　称 | | 仕　様 | 形　式 | | 置換推奨形式 | 仕　様 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CPU装置 | CPUベース | 8スロット<br>取付穴加工寸法:150×465mm | 形C500-BC081 | ➡ | 形CS1W-BC083 | 8スロット*<br>取付穴加工寸法:118×421mm |
| | CPUユニット | プログラム容量:4KW、<br>I/O点数:1024点 | 形C1000H-CPU01-V1 | ➡ | 形CS1G-CPU44H | プログラム容量:30Kステップ、<br>I/O点数:1280点 |
| | CPU電源ユニット | AC電源タイプ、<br>出力容量:DC5V 7A | 形C500-PS221 | ➡ | 形C200HW-PA209R | AC電源タイプ<br>出力容量:DC5V 9A |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | | |
| | I/Oコントロール<br>ユニット | | 形C500-II101 | ➡ | 不要 | C500用I/O増設装置接続用 |
| 増設装置 | I/Oベースユニット | 8スロット | 形C500-BI081 | | 形CS1W-BI083 | 8スロット* |
| | 増設ケーブル | 30cm | 形C500-CN312N | | 形CS1W-CN313 | 30cm |
| | I/Oインタフェース<br>ユニット | | 形C500-II002 | | 不要 | |
| | I/O電源ユニット | | 形C500-PS222 | | 形C200HW-PA204 | |
| | 基本I/Oユニット | | 任意形式 | | 交換が必要 | |
| | 高機能I/Oユニット | | 任意形式 | | | |

* 形XW7G-CS01-□、形XW7G-CS02のみを用いて置き換えを行う場合

# 関連マニュアル

**お願い**

本誌は置換にあたって選定の参考となる内容を記載しており、ご使用上の注意事項などは掲載しておりません。
実際の置き換えにあたっては以下の関連マニュアルの他、必ず置き換え元および置き換え後の機種のユーザーズマニュアルをお取り寄せいただき、ご使用上の注意事項等ご使用の際に必要な内容をお読みいただき、十分に動作確認を行ったうえでご使用ください。

| Man.No. | 形式 | マニュアル名称 | 内容 |
|---|---|---|---|
| SBCA-328 | 形CS1W-AT□□□<br>形C500-□□□□□-CRT<br>形XW7G-CS□□-□ | SYSMAC C500/C1000H/C2000H　リニューアル詳細ガイド | 基本I/O配線はそのままで、<br>C500/1000H/C2000HからCS/CJシリーズへの置換について知りたいとき |
| SBCA-353 | 形C500-□□□□□-CRT | SYSMAC Cシリーズ C500 CompoNet スレーブ リプレースガイド | C500 CompoNetスレーブユニットを用いて、<br>C500/C1000H/C2000Hの既設のベースを流用し、<br>I/Oの端子台を既存I/Oユニットと同じ取り付け穴を利用してCS/CJシステムへ置き換えたいとき |
| SBCA-076 | 形CS1W-AT□□□、<br>形C500-□□□□□-CRT | CV/CVM1 置き換えガイド CV/CVM1からCS1へ | CV/CVM1からCS1に置き換えを行いた<br>(形XW7G-CS□□-□については<br>本カタログ SBCA-027をご参照ください) |
| SBCA-077 | 形CS1W-AT□□□、<br>形C500-□□□□□-CRT | CV/CVM1 置き換えガイド CV/CVM1からCJ2へ | CV/CVM1からCJ2に置き換えを行いたいとき |

# C500/C1000H/C2000Hをリニューアルするときの周辺ツール一覧

| 項　目 | | 置換元 | 置換先 | |
|---|---|---|---|---|
| | | C500、C1000H、<br>C2000Hシリーズ | CSシリーズ | CJシリーズ |
| 周辺ツール | CX-Programmer使用時 | | そのままご使用いただけます。 | |
| | プログラミングコンソール使用時 | 形C200H-PRO27+<br>形C500-AP003 | そのままご使用いただけます。<br>ただし、CS/CJ用キーシートが必要。※ | |
| | | 形C500H-PRO13/23または<br>形C120-PRO15/25 | 交換が必要です。 | |
| | SYSMACサポートソフト(SSS) | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | ラダーサポートソフト(LSS) | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | SYSMAC-CPT(CPT) | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | GPC | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | FIT20 | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | FIT10 | | 使用できませんので、CX-Programmerをご使用ください。 | |
| 周辺ツールのデータファイル(プログラム、パラメータ、データ等) | | | 変換が必要です。 | |

※ CJ2M、CJ2Hでは使用できません

# CV/CVM1をリニューアルするときの周辺ツール一覧

| 項　目 | 置換元 | 置換先 | |
|---|---|---|---|
| | CV/CVM1シリーズ | CSシリーズ | CJシリーズ |
| 周辺ツール | CX-Programmer使用時 | そのままご使用いただけます。 | |
| | プログラミングコンソール使用時(形CVM1-PRS21-V1) | 形C200H-PRO027をご使用ください。*1 | |
| | SYSMACサポートソフト(SSS) | CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | CVサポートソフト(CVSS) | CX-Programmerをご使用ください。*2 | |
| | SYSMAC-CPT(CPT) | CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | GPC | CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | FIT20 | CX-Programmerをご使用ください。 | |
| | FIT10 | CX-Programmerをご使用ください。 | |
| 周辺ツールのデータファイル(プログラム、パラメータ、データ等) | | CX-Programmerをご使用ください。 | |

*1. CJ2M、CJ2Hではご使用できません。
*2. CVシリーズCPUユニットでSFCプログラムをご使用の場合は、ご使用できません。

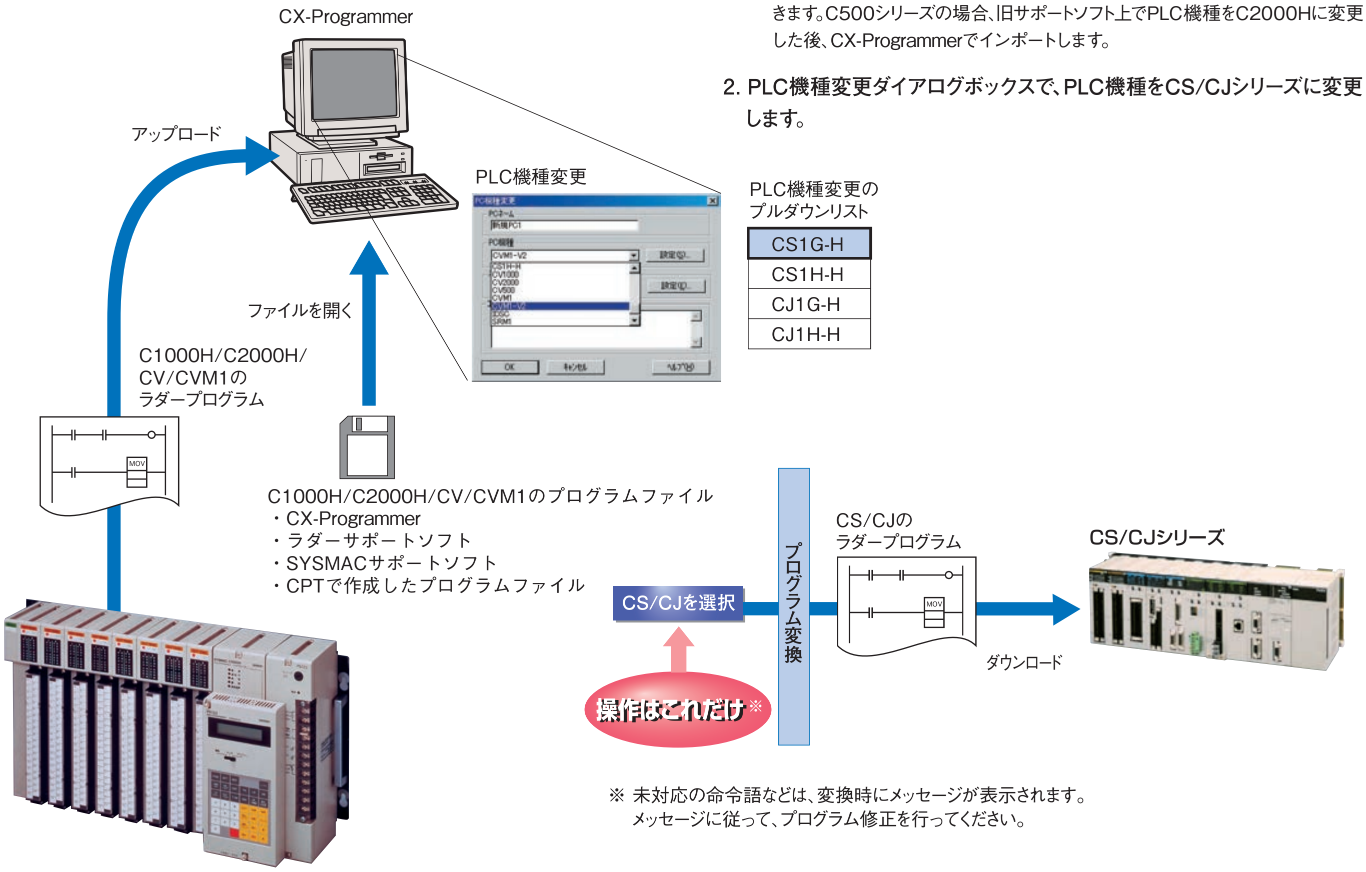
# CX-Programmerによるプログラム変換の流れ

周辺ツールCX-Programmerの標準機能で、以下のように、プログラム変換できます。専用の変換ツールは不要です。

1. CX-Programmerで、C1000H/C2000H/CV/CVM1からプログラムをアップロードまたはプログラムファイルを開きます（注）。

   注:旧サポートソフトの、ラダーサポートソフト、SYSMACサポートソフト、CPTで作成したC500/C1000H/C2000H/CV/CVM1のプログラムファイルもインポートできます。C500シリーズの場合、旧サポートソフト上でPLC機種をC2000Hに変更した後、CX-Programmerでインポートします。

2. PLC機種変更ダイアログボックスで、PLC機種をCS/CJシリーズに変更します。




※ 未対応の命令語などは、変換時にメッセージが表示されます。
　メッセージに従って、プログラム修正を行ってください。

C1000H/C2000H/CV/CVM1

## ●命令語の変換

周辺ツールCX-Programmerで C1000H/C2000HのプログラムをCS/CJシリーズのプログラムに変換する場合、命令種類ごとの変換率は、以下のとおりです。

| 命令種類 | | 変換元<br>C1000H/C2000H<br>命令語数 | 変換後<br>CS/CJシリーズのプログラムに変換する場合<br>変換可能命令数 | 変換後<br>CS/CJシリーズのプログラムに変換する場合<br>手動修正が必要な命令数 |
|---|---|---|---|---|
| 基本命令 | | 14 | 14 | 0 |
| 応用命令 | 転送命令 | 9 | 9 | 0 |
| | 四則演算命令 | 12 | 12 | 0 |
| | 比較命令 | 4 | 4 | 0 |
| | 論理命令 | 5 | 5 | 0 |
| | その他の命令 | 71 | 56 | 15 |
| 合計 | | 115 | 100 | 15 |

注:同一ニモニックでも仕様が異なる命令は、変換後およびプログラムチェック時、注意メッセージが表示されます。
注:C500のプログラムを変換する場合、命令語は異なりますがプログラム変換率は同様です。
注:上記変換にはオペランド（リレーエリア）の変換は含まれません。

## ●リレーエリアの変換

同一エリア種別に変換されます（入出力リレー→入出力リレー、内部補助リレー→内部補助リレー、一時記憶リレー→一時記憶リレー、保持リレー→保持リレー、リンクリレー→データリンクリレー、タイマ/カウンタ→タイマ/カウンタ、データメモリ→データメモリ）。

補助記憶リレーおよび特殊補助リレーは、同一機能の各特殊補助リレー、各クロックパルス、各コンディションフラグに自動的に変換されます。

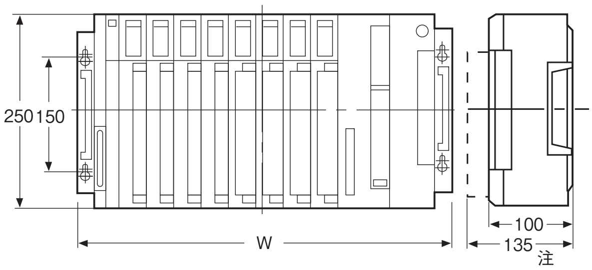
注:機種の仕様の違いにより一部変換出来ないリレーがあります。

# 外形／取付寸法の変化

## ■ 外形寸法（CPU装置）

単位：mm

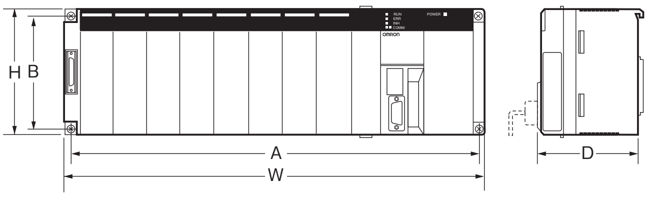
### ● C500/C1000H / C2000H




注.：プロコン取り付け時

| シリーズ | ベースユニット形式 | | W |
|---|---|---|---|
| C1000H | 形C500-BC081/082 | 8スロット用 | 480 |
| | 形C500-BC051/052 | 5スロット用 | 375 |
| | 形C500-BC091 | 9スロット用 | 486 |
| | 形C500-BC061 | 6スロット用 | 381 |
| | 形C500-BC031 | 3スロット用 | 276 |
| C2000H | 形C2000-BC061 | 6スロット用 | 480 |

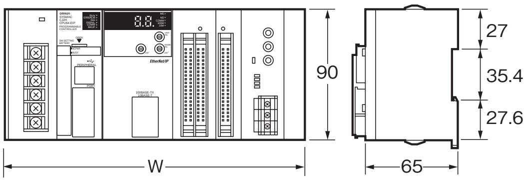
### ● CS1




注:ケーブルを含む取付高さは約169mmです。

| ベースユニット形式 | A | B | W | H | D |
|---|---|---|---|---|---|
| 形CS1W-BC023<br>（2スロット用） | 172.3 | 145 | 198.5 | 157 | 123 |
| 形CS1W-BC033<br>（3スロット用） | 246 | 118 | 260 | 130 | |
| 形CS1W-BC053<br>（5スロット用） | 316 | | 330 | | |
| 形CS1W-BC083<br>（8スロット用） | 421 | | 435 | | |
| 形CS1W-BC103<br>（10スロット用） | 491 | | 505 | | |

### ● CJ2




| ユニット名 | 形　式 | ユニット幅 |
|---|---|---|
| 電源ユニット | 形CJ1W-PA205C | 80 |
| | 形CJ1W-PA205R | 80 |
| | 形CJ1W-PA202 | 45 |
| | 形CJ1W-PD025 | 60 |
| | 形CJ1W-PD022 | 27 |
| CPUユニット | 形CJ2H-CPU6□-EIP | 79.8 |
| | 形CJ2H-CPU6□ | 48.8 |
| | 形CJ2M-CPU3□ | 62 |
| | 形CJ2M-CPU1□ | 31 |
| エンドカバー | 形CJ1W-TER01 | 14.7 |

・電源ユニット形CJ1W-PA202（AC電源14W）使用時のシステム幅W（mm）の例

| 31mm幅のユニットの接続台数 | システム幅W（mm） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 形CJ2H-CPU6□-EIP使用時 | 形CJ2H-CPU6□使用時 | 形CJ2M-CPU3□使用時 | 形CJ2M-CPU1□使用時 |
| 1台 | 170.5 | 139.5 | 152.7 | 121.7 |
| 2台 | 201.5 | 170.5 | 183.7 | 152.7 |
| 3台 | 232.5 | 201.5 | 214.7 | 183.7 |
| 4台 | 263.5 | 232.5 | 245.7 | 214.7 |
| 5台 | 294.5 | 263.5 | 276.7 | 245.7 |
| 6台 | 325.5 | 294.5 | 307.7 | 276.7 |
| 7台 | 356.5 | 325.5 | 338.7 | 307.7 |
| 8台 | 387.5 | 356.5 | 369.7 | 338.7 |
| 9台 | 418.5 | 387.5 | 400.7 | 369.7 |
| 10台 | 449.5 | 418.5 | 431.7 | 400.7 |

注：CV/CVM1シリーズについてはCV500、CV1000、CV2000、CVM1 プログラマブルコントローラ ユーザーズマニュアル（ハード編）（SBCC-470）をご参照ください。

# INDEX


SYSMAC Cシリーズ C500 CompoNetスレーブ
形C500-□□□□□-CRT ..... 12

端子台変換ユニット　形CS1W-AT□□□ ..... 33

16点DC入出力変換ユニット　形CS1W-AT011 ..... 43

32点DC入力変換ユニット　形CS1W-AT031 ..... 54

32点トランジスタ出力変換ユニット　形CS1W-AT032 ..... 57

32点トランジスタ出力(PNP)変換ユニット　形CS1W-AT033 ..... 60

32点DC入出力変換ユニット　形CS1W-AT034 ..... 62

32点DC入出力変換ユニット　形CS1W-AT035 ..... 68

64点DC入出力変換ユニット　形CS1W-AT061 ..... 70

16点AC100V入力変換ユニット　形CS1W-AT111 ..... 73

16点AC200V入力変換ユニット　形CS1W-AT112 ..... 75

16点リレー接点出力変換ユニット　形CS1W-AT113 ..... 77

16点トライアック出力変換ユニット　形CS1W-AT114 ..... 79

16点リレー独立接点出力変換ユニット　形CS1W-AT115 ..... 82

32点AC100V入力変換ユニット　形CS1W-AT131 ..... 84

32点AC200V入力変換ユニット　形CS1W-AT132 ..... 86

32点リレー接点出力変換ユニット　形CS1W-AT133 ..... 88

32点トライアック出力変換ユニット　形CS1W-AT134 ..... 90

CS用端子台変換アダプタ　形XW7G-CS□□-□ ..... 93

SYSMAC Cシリーズ C500 CompoNetスレーブ

# C500-□□□□□-CRT

## C500ユニット簡単リプレースとメンテナンス性向上をサポートします。

- C500基本I/Oユニットと同一形状、仕様のCompoNet入出力スレーブです。
- 入出力配線を変更することなく、CS/CJへの移行を実現します。

C500-IA122-CRT

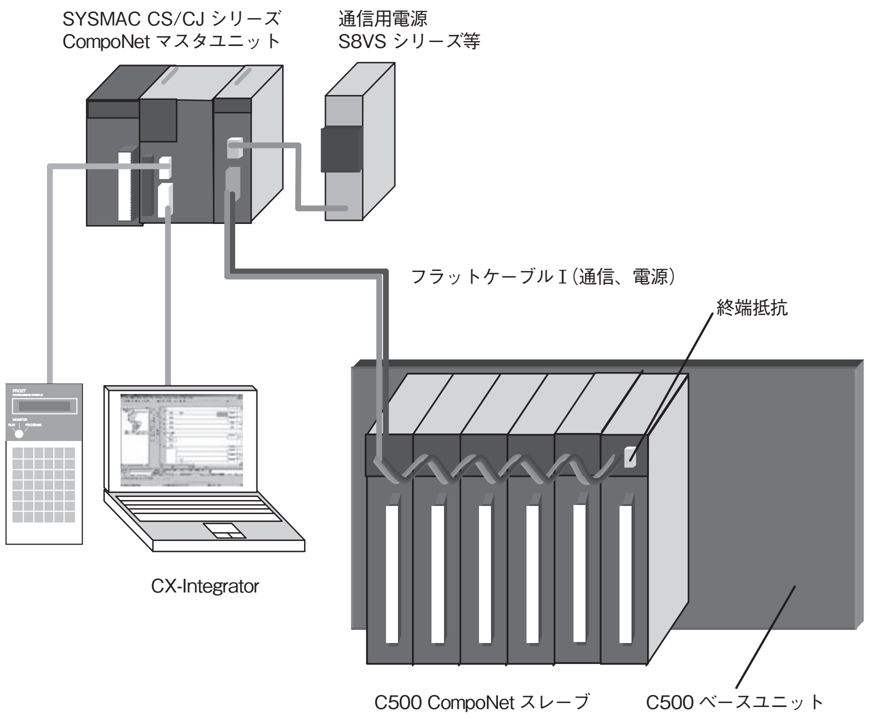
C500-OD214-CRT

## 特長

・C500基本I/Oユニットの端子台や取付用ベースユニットがそのまま利用できます。
・C500、C1000H、C2000Hリプレース時に制御盤の占有面積を変えずにリプレースできます。
・新しいCPUユニットとI/Oユニットは通信ケーブルで接続できます。
・CompoNetのスマート機能、ネットワークモニタなど、既存の設備に先進機能を導入できます。
・C500 CompoNetスレーブ用アドレス変換ツールをご用意。プログラム資産流用もサポートしています。
・電源やCJ2、CJ1 CPUの取付けに便利な、CPUベースユニット用取付けプレートもご用意しています。

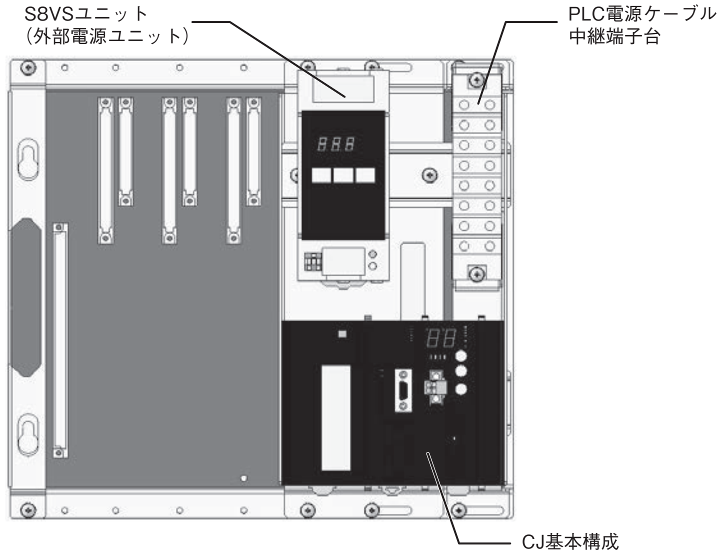
## システム構成図

リプレース対象のC500、C1000H、C2000H CPUベースユニットからC500基本I/Oユニットを取外し、C500 CompoNetスレーブを取付ける事ができます。




### [CPUベースユニット用取付けプレートの設置例]

CPUベースユニット用取付けプレートを使用することで、C500、C1000H、C2000H CPUベースユニットの電源ユニット、CPUユニットの空スペースにCJ基本構成(CPU：形CJ2M-CPU1□または形CJ1M-CPU1□、電源：形CJ1W-PA202、CompoNetマスタ：形CJ1W-CRM21)や通信、I/O用電源を取付ける事が出来ます。



## 種類／標準価格

（◎印の機種は標準在庫機種です。無印（受注生産機種）の納期についてはお取引き商社にお問い合わせください。）

### C500 CompoNetスレーブ

| ユニット種類 | 商品名称 | 仕様 | | | | | 形式 | 標準価格（￥） | 海外規格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | IO点数 | 入力電流、電圧 | コモン数 | 外部接続 | 占有点数 | | | |
| C500 CompoNet スレーブ | DC入力ユニット | 入力32点 | DC24V　9mA | 8点 1コモン | 脱着式端子台 | 2CH | ◎**形C500-ID218-CRT** | 67,500 | ― |
| | AC入力ユニット | 入力32点 | AC100V　10mA | 8点 1コモン | 脱着式端子台 | 2CH | **形C500-IA122-CRT** | 88,000 | ― |
| | トランジスタ 出力ユニット | 出力32点 | DC12～24V　0.3A | 32点 1コモン | 脱着式端子台 | 2CH | ◎**形C500-OD214-CRT** | 62,500 | ― |
| | リレー接点 出力ユニット | 出力32点 | AC250V/DC24V　2A | 8点 1コモン | 脱着式端子台 | 2CH | ◎**形C500-OC224-CRT** | 88,000 | ― |
| | リレー接点 出力ユニット | 出力16点 | AC250V/DC24V　2A | 独立コモン | 脱着式端子台 | 1CH | **形C500-OC223-CRT** | 54,500 | ― |

#### 付属品

CompoNet用通信コネクタ及び38P端子台コネクタは含まれておりません。お客様にてご用意ください。

### CPUベースユニット用取付けプレート、C2000H用置換ベース

CPUベースユニット上に空がある場合は、CJ基本構成（形CJ1M-CPU1□、形CJ1W-PA202、形CJ1W-CRM21）やCJユニットを設置することができます。

| 商品名称 | 構成部品 | | 形式 | 標準価格（￥） | 海外規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| CPUベースユニット用取付けプレート | CPU、電源ユニット 空きスペース用 | ATT10（左）、ATT10（右）、ATT10（端子台）、端子台、DINレール 2本、M4×6 12本、M4×20 2本 | ◎**形C500-ATT10** | 18,200 | ― |
| | I/Oユニット 空きスペース用 | ATT11、M4×6 4本 | **形C500-ATT11** | 7,300 | ― |
| C2000H用置換ベース | C2000Hベースに ATT10、ATT12を使用する場合のみ使用 | ATT12 | **形C500-ATT12** | 14,600 | ― |

注1. 詳細については「外形寸法」をご参照ください。
　2. 置き換え対象CPUベースユニット

C500/1000H

| 現在ご使用の形式 | スロット数 | 取付穴加工寸法（mm） |
|---|---|---|
| 形C500-BC031 | 3 | 150×255 |
| 形C500-BC051/052 | 5 | 150×360 |
| 形C500-BC061 | 6 | 150×360 |
| 形C500-BC081/082 | 8 | 150×465 |
| 形C500-BC091 | 9 | 150×465 |

⇨

| 置換後 |
|---|
| 左記ベースユニットは、リニューアル後、ユニット固定として使用します。<br>既存の電源、CPU、各ユニットを取外して使用します。 |

C2000H

| 現在ご使用の形式 | スロット数 | 取付穴加工寸法（mm） |
|---|---|---|
| 形C2000-BC061 | 6 | 150×465 |

⇨

| 置換後 |
|---|
| 左記ベースユニットは、リニューアル後、ユニット固定として使用します。<br>既存の電源、CPU、各ユニットを取外して使用します。<br>CPUベースユニット用取付けプレート（形C500-ATT10、ATT11）を使用する場合、C2000H用置換ベースを形C500-ATT12へ変更します。 |

CV/CVM1

| 現在ご使用の形式 | スロット数 | 取付穴加工寸法（mm） |
|---|---|---|
| 形CV500-BC031 | 3 | 150×221 |
| 形CV500-BC051 | 5 | 150×291 |
| 形CV500-BC101 | 10 | 150×465 |
| 形CVM1-BC053 | 5 | 150×291 |
| 形CVM1-BC103 | 10 | 150×465 |

⇨

| 置換後 |
|---|
| 左記ベースユニットは、リニューアル後、ユニット固定として使用します。<br>既存の電源、CPU、各ユニットを取外して使用します。<br>CPUベースユニット用取付けプレート（形C500-ATT10、ATT11）を使用する場合、CPUユニット左側の1ユニットを外す必要があります。 |

**●海外規格について**

・海外規格は次の通りです。
　U：UL、U1：UL（Class I Div 2 危険場所認定取得品）、C：CSA、UC：cULus、UC1：cULus（Class I Div 2 危険場所認定取得品）、CU：cUL、N：NK、L：ロイド、CE：EC指令
・使用条件についてはお問い合わせください。

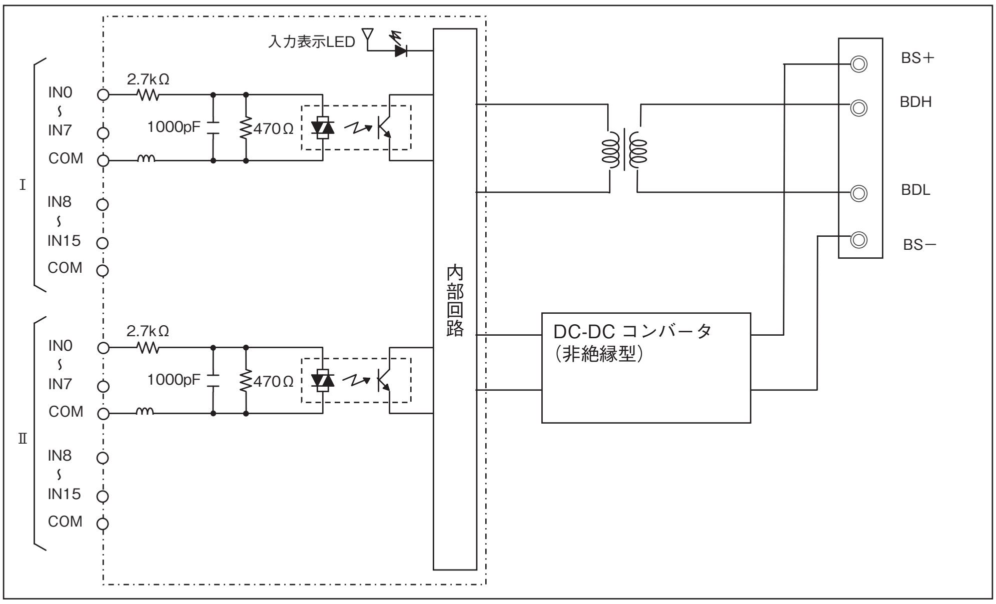
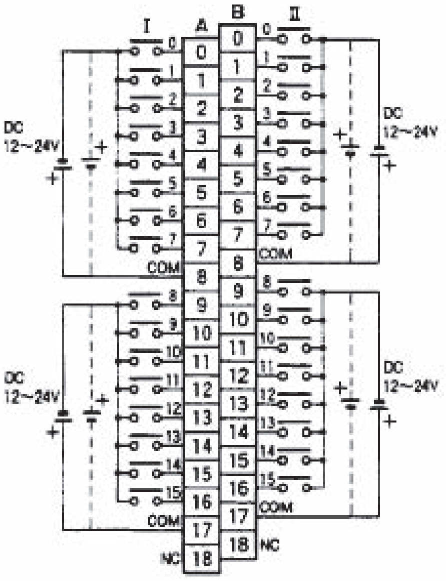
# 一般仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 通信電源電圧 | DC 14～26.4V |
| 耐ノイズ性 | IEC61000-4-4に準拠　2kV（電源ライン） |
| 耐振動 | JIS C0040に準拠 10～57Hz、振幅0.075mm、57～150Hz<br>加速度9.8m/s²、X、Y、Z各方向80分（掃引時間8分×掃引回数10回＝合計80分） |
| 耐衝撃 | JIS C0041に準拠 147m/s²　X、Y、Z各方向3回 |
| 絶縁抵抗 | 絶縁されている回路間：20MΩ以上（DC250Vメガー） |
| 耐電圧 | 絶縁されている回路間：AC500V 1分間（検出電流1mA） |
| 使用周囲温度 | 0～55℃ |
| 使用周囲湿度 | 10～90%RH（結露のないこと） |
| 使用周囲雰囲気 | 腐食性ガスのないこと |
| 保存周囲温度 | −20～＋75℃ |

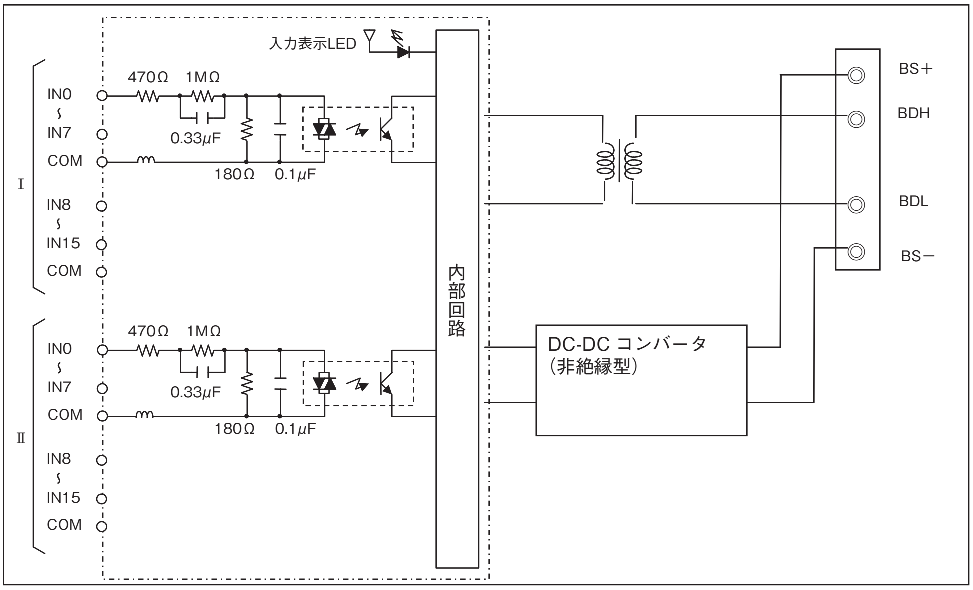
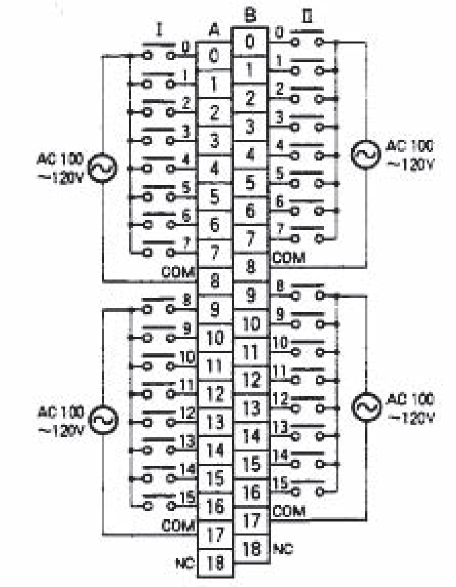
| | |
|---|---|
| システム入出力応答性能<br>（I/O応答時間は除く） | ・20ms以下（通信速度：4Mbps、3Mbps、1.5Mbps）＜（C1000H：20.90ms）<br>　条件：LD　300個　　OUT・MOV・XFER・BSET・CMP・INC（＋＋）各50個<br>・10ms以下（通信速度：4Mbps、3Mbps）＜（C1000H：11.29ms）<br>　条件：LD　300個　　OUT300個 |

# 仕様

## DC24V入力ユニット32点　形C500-ID218-CRT

| | |
|---|---|
| 名称 | DC入力ユニット |
| 形式 | 形C500-ID218-CRT |
| 定格入力電圧 | DC24V |
| 許容入力電圧範囲 | DC12～24V＋10%/－15% |
| 入力インピーダンス | 2.7kΩ |
| 入力電流 | 9mA TYP.（DC24V） |
| ON電圧/ON電流 | DC10.2V以上 |
| OFF電圧/OFF電流 | DC3.0V以下 |
| ON応答時間 | 1.5ms以下 |
| OFF応答時間 | 1.5ms以下 |
| 回路数 | 32点（8点／コモン4回路） |
| 内部消費電流 | 36mA以下（DC24V時）、57mA以下（DC14V時） |
| 質量 | 320g以下 |
| 回路構成 |  |
| 端子接続図 | <br>・入力電源の極性は＋、－どちらでも構いません。 |
| 外形図 | B |

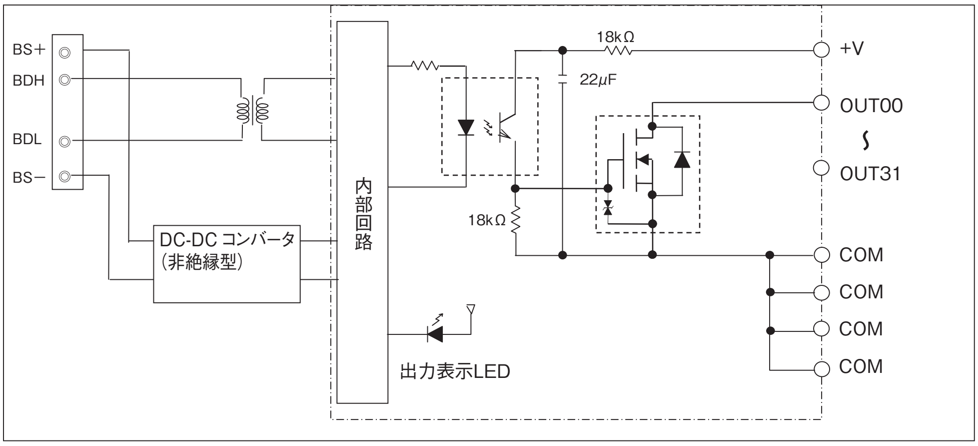
## AC入力ユニット32点　形C500-IA122-CRT

| | |
|---|---|
| 名称 | AC入力ユニット |
| 形式 | 形C500-IA122-CRT |
| 定格入力電圧 | AC100V |
| 許容入力電圧範囲 | AC100～120V＋10%/－15%　50/60Hz |
| 入力インピーダンス | 9.7kΩ（50Hz）、8kΩ（60Hz） |
| 入力電流 | 10mA TYP.（AC100V） |
| ON電圧/ON電流 | AC60V以上 |
| OFF電圧/OFF電流 | AC20V以下 |
| ON応答時間 | 35ms以下 |
| OFF応答時間 | 55ms以下 |
| 回路数 | 32点（8点／コモン4回路） |
| 内部消費電流 | 34mA以下（DC24V時）、51mA以下（DC14V時） |
| 質量 | 440g以下 |
| 回路構成 |  |
| 端子接続図 |  |
| 外形図 | C |

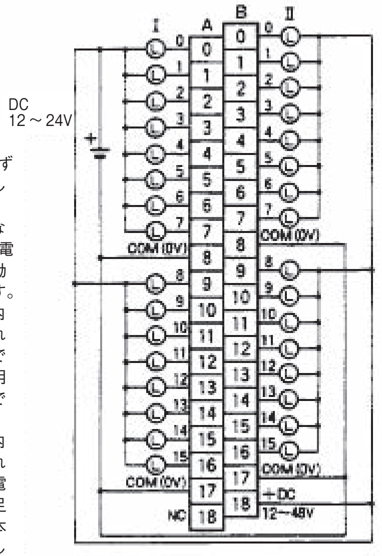
## トランジスタ出力ユニット32点　形C500-OD214-CRT

| | |
|---|---|
| 名称 | トランジスタ出力ユニット |
| 形式 | 形C500-OD214-CRT |
| 定格電圧 | DC12～24V |
| 使用負荷電圧範囲 | DC12～24V＋10%/－15% |
| 最大負荷電流 | 0.3A/点（4.8A/ユニット） |
| 最大突入電流 | 4.0A/点、10ms以下 |
| 漏れ電流 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | 1.5V以下 |
| ON応答時間 | 0.2ms以下 |
| OFF応答時間 | 0.6ms以下 |
| 回路数 | 32点（32点/コモン1回路） |
| 内部消費電流 | 46mA以下（DC24V時）、69mA以下（DC14V時） |
| ヒューズ | なし |
| 外部供給電源 | DC12～24V＋10%/－10%　28mA以上 |
| 質量 | 320g以下 |

回路構成



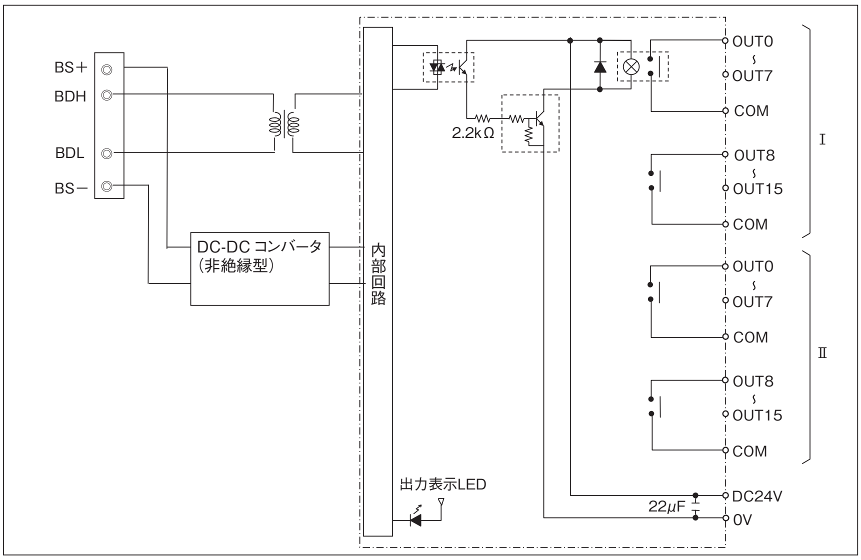
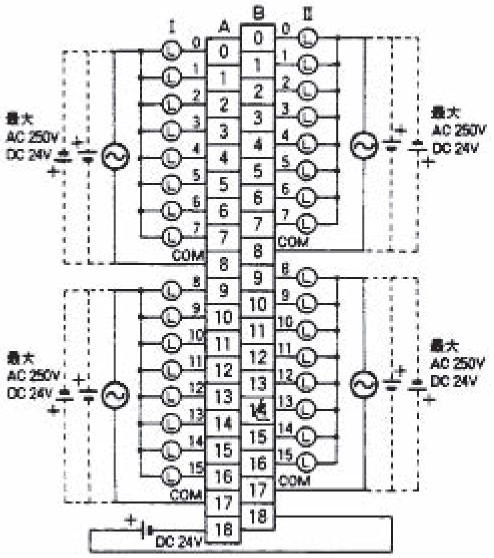

端子接続図



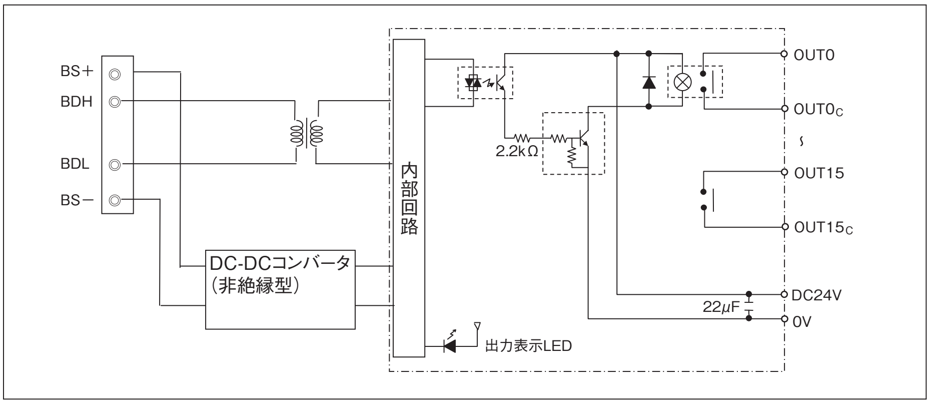
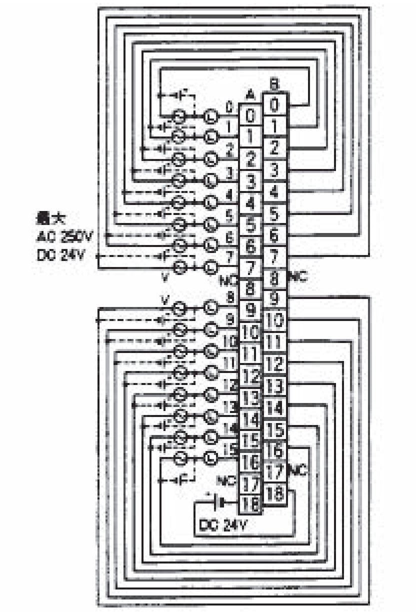

（注）
・B-18には必ず電源を供給してください。電源供給がないとⓁに暗電流が流れ誤動作を起します。
・各コモンは内部で短絡されていますので分離して使用することはできません。
・各コモンは内部で短絡されていますが電流容量が不足しますので本図通り配線してください。

| | |
|---|---|
| 外形図 | B |

## リレー接点出力ユニット32点　形C500-OC224-CRT

| | | |
|---|---|---|
| 名称 | リレー接点出力ユニット | |
| 形式 | 形C500-OC224-CRT | |
| 最大開閉能力 | AC250V/2A（cosφ=1）、AC250V/0.5A（cosφ=0.4）<br>DC24V/2A（8A/コモン、32A/ユニット） | |
| 最小開閉能力 | DC5V 10mA | |
| 外部供給電源（リレー駆動用） | 電圧 | DC24V±10% |
| | 電流 | 10mA/点、320mA/ユニット |
| 使用リレー | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）ソケット無し | |
| リレー寿命 | 電気的：抵抗負荷30万回、誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | |
| ON応答時間 | 15ms以下 | |
| OFF応答時間 | 15ms以下 | |
| 回路数 | 32点（8点/コモン　4回路） | |
| 内部消費電流 | 45mA以下（DC24V時）、70mA以下（DC14V時） | |
| 質量 | 540g以下 | |
| 回路構成 |  | |
| 端子接続図 |  | |
| 外形図 | C | |

## リレー接点出力ユニット16点（独立コモン）　形C500-OC223-CRT

| 名称 | リレー接点出力ユニット | |
|---|---|---|
| 形式 | 形C500-OC223-CRT | |
| 最大開閉能力 | AC250V/2A（cos φ=1）、AC250V/0.5A（cos φ=0.4）<br>DC24V/2A（32A/ユニット） | |
| 最小開閉能力 | DC5V 10mA | |
| 外部供給電源<br>（リレー駆動用） | 電圧 | DC24V±10% |
| | 電流 | 10mA/点、160mA/ユニット |
| 使用リレー | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）ソケット無し | |
| リレー寿命 | 電気的：抵抗負荷30万回、誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | |
| ON応答時間 | 15ms以下 | |
| OFF応答時間 | 15ms以下 | |
| 回路数 | 16点（独立コモン） | |
| 内部消費電流 | 37mA以下（DC24V時）、57mA以下（DC14V時） | |
| 質量 | 400g以下 | |
| 回路構成 |  | |
| 端子接続図 |  | |
| 外形図 | B | |

## 対応ツール

### アドレス変換ツール

C500 CompoNetスレーブ用アドレス変換ツールを使用することで、I/Oユニットの置き換え前後のアドレスを確認することができます。
また、同時に変換プログラム（ニモニック）を作成しますので、CS/CJ機種変換後の既存ラダーに追加することで、容易にプログラム変更を実現できます。詳しくは、当社営業担当者にお問い合せください。

### CX-Integrator

Controller Link、DeviceNet、CompoNet、CompoWay/F、EtherNetなど、FAネットワークを立ち上げ、設定を行うためのソフトウェアです。
ルーチングテーブルコンポーネント、データリンクコンポーネントを起動可能です。DeviceNetコンフィグレータ機能を含みます。

注. CX-Integratorは、「FA統合ツールパッケージCX-One」に同梱されています。詳しくはCX-Oneカタログ（SBCZ-063）をご覧ください。

### CX-Integrator用DTM

DTMは、C500-□□□□□-CRTの情報をCX-Integratorにインストールするソフトウェアです。
DTMをインストールすることで、CX-Integrator上で各スレーブの情報（スマート機能）を確認することができます。詳しくは、当社営業担当者にお問い合せください。

#### ユニットバージョンと周辺ツールの関係

<table>
<tr><th>形式</th><th>ユニットVer.</th><th>CX-Integrator</th></tr>
<tr><td>形C500-ID218-CRT</td><td>ユニットVer1.0</td><td rowspan="5">1) CX－One Ver.3.03以降（CX-Integrator Ver.2.3）<br>2) CX-Oneオートアップデート<br>CX-One Ver.2.□を使用されている方は以下のファイルにてオートアップデート可能です。<br>2-a)CX-One Ver.2.12以前<br>・DTM　Cdm0804_0201Setup<br>・CX-Integrator　Int0804_0201Setup<br>・Common　Cmn0804_0201Setup<br>・CX-Server　Sdc0804_0201Setup<br>2-b)CX-One Ver.2.13以降<br>・DTM　Cdm0804_0201Setup<br>・CX-Integrator　Int0804_0201Setup</td></tr>
<tr><td>形C500-IA122-CRT</td><td>ユニットVer1.0</td></tr>
<tr><td>形C500-OD214-CRT</td><td>ユニットVer1.0</td></tr>
<tr><td>形C500-OC224-CRT</td><td>ユニットVer1.0</td></tr>
<tr><td>形C500-OC223-CRT</td><td>ユニットVer1.0</td></tr>
</table>

# スマート機能

## C500 CompoNet　I/Oスレーブで使用できる各機能の有無一覧

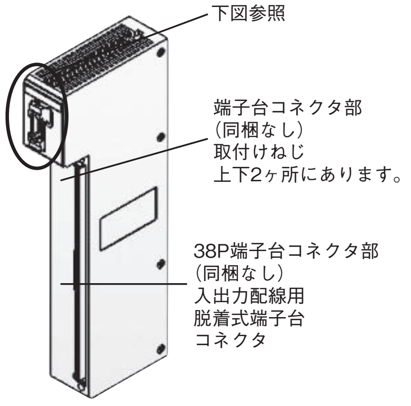
○：機能あり、－：機能なし

| 対象スレーブ | 入力スレーブ | 出力スレーブ |
|---|---|---|
| 対象形式 | 形C500-ID218-CRT<br>形C500-IA122-CRT | 形C500-OD214-CRT<br>形C500-OC224-CRT<br>形C500-OC223-CRT |
| 動作時間モニタ機能 | ○ | ○ |
| 接点動作回数モニタ機能 | ○ | ○ |
| ON積算時間モニタ機能 | ○ | ○ |
| 伝送速度自動認識機能 | ○ | ○ |
| ユニット通電時間モニタ機能 | ○ | ○ |
| ユニットコメント機能 | ○ | ○ |
| 接続機器コメント機能 | ○ | ○ |
| ネットワーク電源電圧モニタ機能 | ○ | ○ |
| I/O電源状態モニタ機能 | － | ○ |
| 通信異常履歴モニタ機能 | ○ | ○ |
| 入力フィルタ機能 | ○ | － |
| 異常時の出力値設定機能 | － | ○ |
| I/O電源投入時の突入電流による誤動作防止機能 | － | － |
| センサ電源短絡検知機能 | － | － |
| 外部負荷短絡検知機能 | － | － |
| 端子台脱着構造 | ○ | ○ |
| 拡張I/Oユニットの増設が可能 | － | － |
| スケーリング機能 | － | － |
| ラストメンテナンスデイト | ○ | ○ |
| 積分機能 | － | － |
| 移動平均処理機能 | － | － |
| AD変換点数（変換サイクル）の設定 | － | － |
| 変化率演算機能 | － | － |
| コンパレート機能 | － | － |
| ピークボトムホールド機能 | － | － |
| トップバレーホールド機能 | － | － |
| 断線検知機能 | － | － |
| ユーザー校正機能 | － | － |

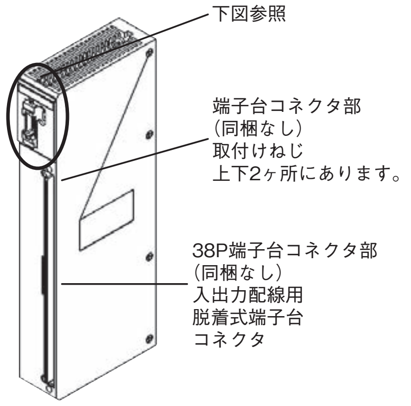
注. 通信仕様については、CompoNetカタログ（SBCD-049）をご覧ください。

# 外部インタフェース

## C500 CompoNetスレーブ共通

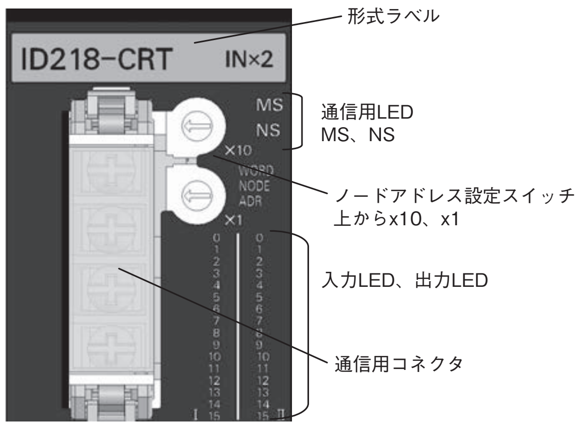



［外形図B］

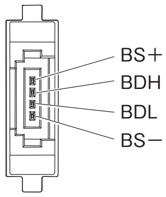



［外形図C］

## LED表示部




## 通信用コネクタ



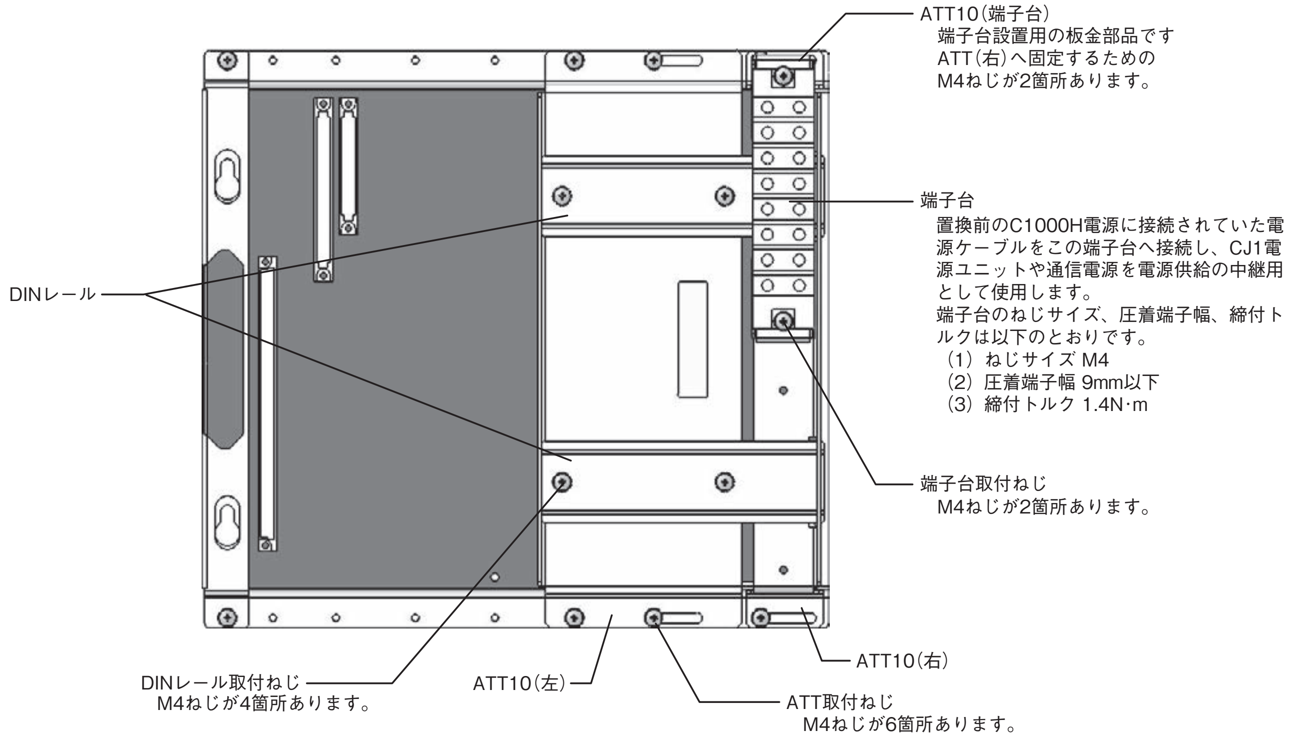

注. このBS＋、BS－は、通信用の電源

## CPUベースユニット用取付けプレート

CPUベースユニット上の既設CPU、電源ユニットの空スペースに、CJ基本構成(形CJ2M-CPU1□または形CJ1M-CPU1□、形CJ1W-PA202、形CJ1W-CRM21)を設置できます。さらにI/Oユニットの空がある場合、プレートの拡張により、CJユニットの増設ができます。

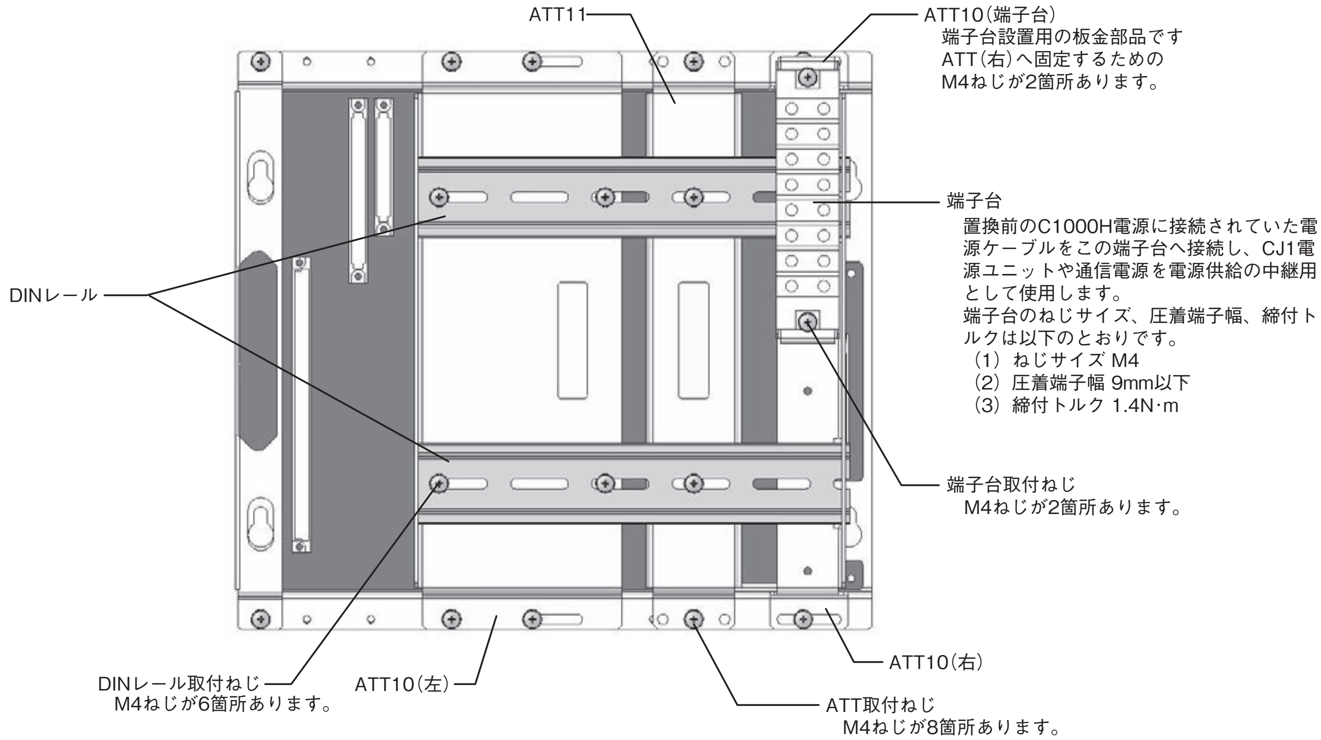
### CPU、電源ユニットの空スペースを使用する場合

CJユニット増設が0～1台の場合、ATT11は使用しません。
ここでは、CJユニット0台増設の構成を示します。



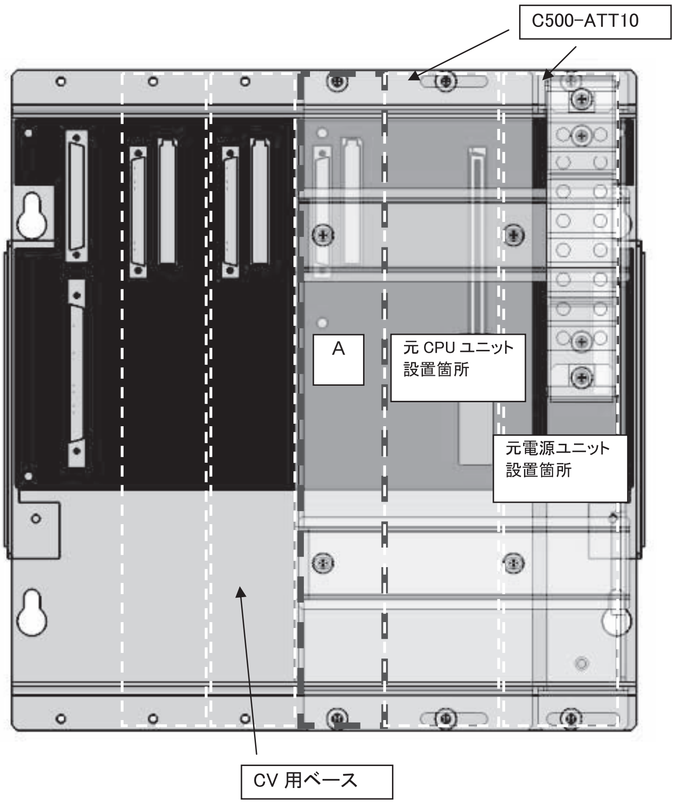

### CPU、電源ユニットとI/Oユニットの空スペースを使用する場合

CJユニット増設が2～4台の場合、ATT11を追加してください。
ここでは、CJユニット2台増設の構成を示します。



### CV/CVM1用ベース(CV□□-BC□□□)へC500-ATT10を使用する場合

CV用ベース(CV□□-BC□□□)へCPUベースユニット用取付けプレート(C500-ATT10)を使用する場合、元CPUユニット設置箇所の左側1スロット分(下図A部)は、C500ユニットを設置することはできません。そのため、ベース上のC500ユニット取付け可能ユニットが1台減少します。



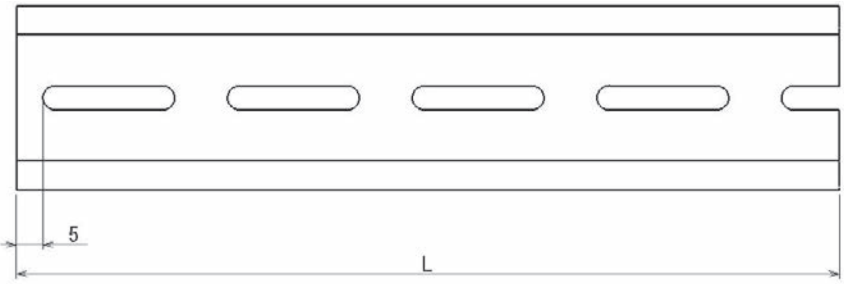

## CJユニット増設台数と必要な形式一覧

| CJ増設台数 ＊ | 形式 | | DINレール |
|---|---|---|---|
| 0台 | 形C500-ATT10 | | 同梱品を使用してください。 |
| 1台 | 形C500-ATT10 | | 別途準備が必要です |
| 2台 | 形C500-ATT10 | 形C500-ATT11 | 別途準備が必要です |
| 3台 | 形C500-ATT10 | 形C500-ATT11 | 別途準備が必要です |
| 4台 | 形C500-ATT10 | 形C500-ATT11 | 別途準備が必要です |

＊CJ増設台数は、CJ基本構成(形CJ1M-CPU1□、形CJ1W-PA202、形CJ1W-CRM21)から幅31mmのCJユニットの増設台数を意味します。

## CJユニット増設台数と推奨DINレールの長さ

| CJ増設台数 | L |
|---|---|
| 1台 | 156 |
| 2台 | 187 |
| 3台 | 218 |
| 4台 | 249 |




・寸法公差：±0.5
・単位：mm

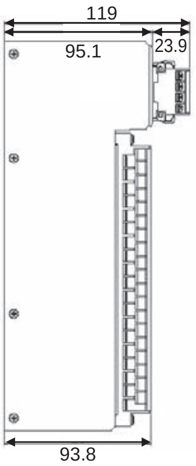
## 外形寸法

（単位：mm）

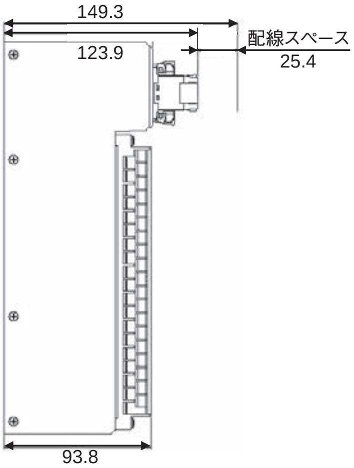
### 38ピン端子台タイプ［外形図B］

形C500-ID218-CRT
形C500-OD214-CRT
形C500-OC223-CRT

オープン型コネクタ装着時
（形DCN4-TB4）



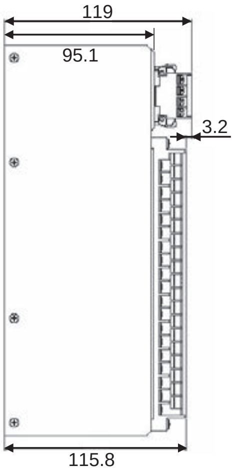

マルチコネクタ＋フラットコネクタ
（形DCN4-MD4＋DCN4-BR4）



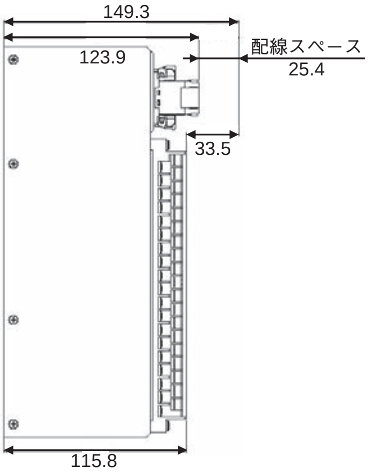

### 38ピン端子台タイプ［外形図C］

形C500-IA122-CRT
形C500-OC224-CRT

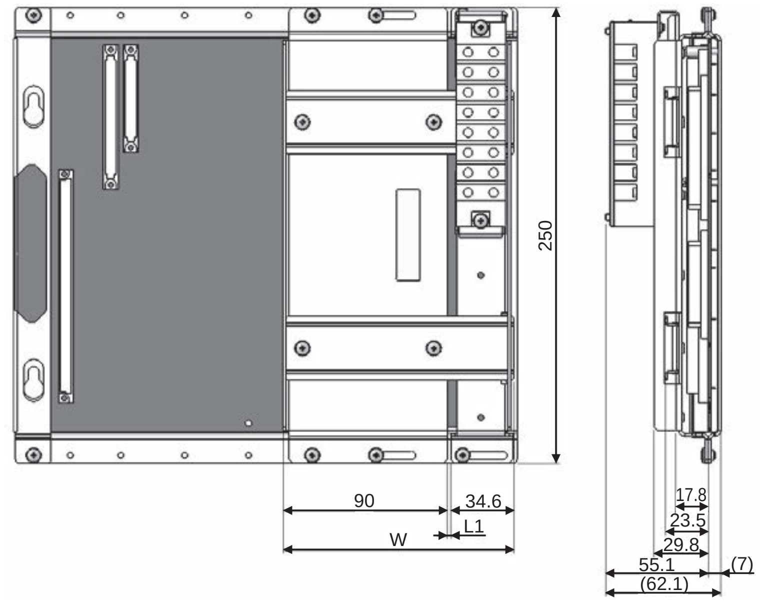
オープン型コネクタ装着時
（形DCN4-TB4）



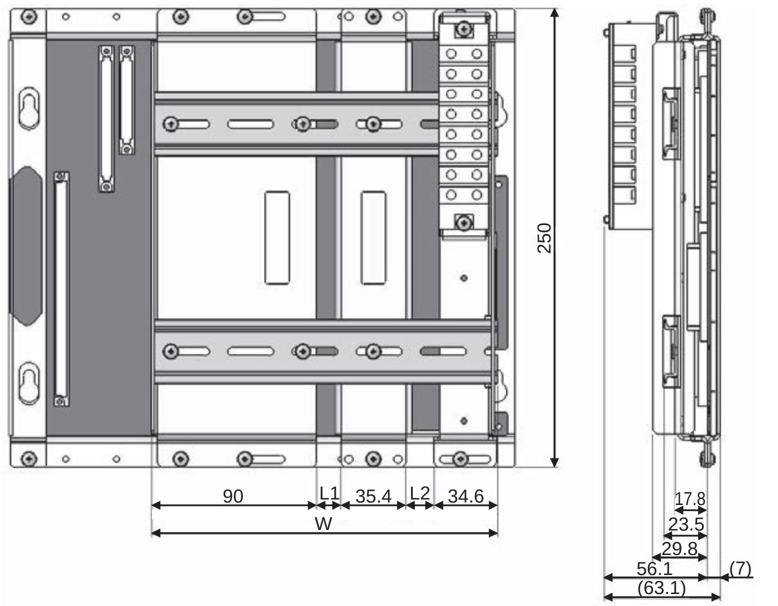

マルチコネクタ＋フラットコネクタ
（形DCN4-MD4＋DCN4-BR4）



形C500-ATT10




形C500-ATT10

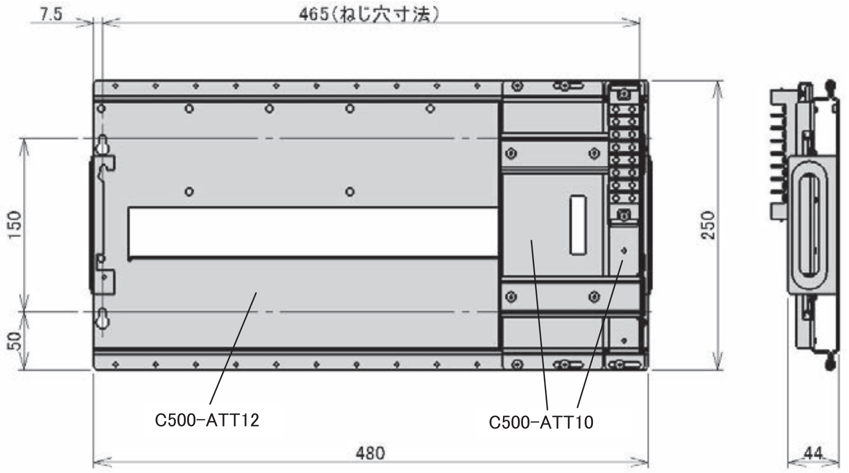


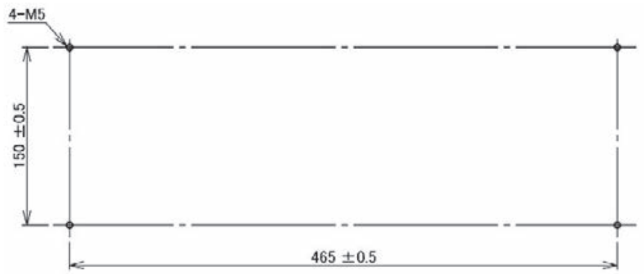

形C500-ATT11

| CJ増設台数 | L1 | L2 | W |
|---|---|---|---|
| 0 | 2 | | 126.6 |
| 1 | 33 | | 157.6 |
| 2 | 13.3 | 15.3 | 188.6 |
| 3 | 48.3 | 11.3 | 219.6 |
| 4 | 83.3 | 7.3 | 250.6 |

【単位：mm】

C500-ATT12とC500-ATT10を使用した場合




取付穴寸法図

# C500入出力ユニットとの差異一覧

## 入出力仕様の差異一覧

### DC24V入力ユニット32点　形C500-ID218／形C500-ID218-CRT

| 名称 | DC入力ユニット | DC入力ユニット | | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| 形式 | 形C500-ID218 | 形C500-ID218-CRT | ○ | C500形式-CRT |
| 定格入力電圧 | DC24V | DC24V | ○ | |
| 許容入力電圧範囲 | DC12～24V＋10%/－15% | DC12～24V＋10%/－15% | ○ | |
| 入力インピーダンス | 2.2kΩ | 2.7kΩ | △ | 変更あり |
| 入力電流 | 10mA TYP.（DC24V） | 9mA TYP.（DC24V） | ○ | |
| ON電圧/ON電流 | DC10.2V以上 | DC10.2V以上 | ○ | |
| OFF電圧/OFF電流 | DC3.0V以下 | DC3.0V以下 | ○ | |
| ON応答時間 | 1.5ms以下 | 1.5ms以下 | ○ | |
| OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 1.5ms以下 | ○ | |
| 回路数 | 32点（8点／コモン4回路） | 32点（8点／コモン4回路） | ○ | |
| 質量 | 450g以下 | 320g以下<br>（38P端子台コネクタ除く） | － | |

○：互換性あり、△：一部変更あり、×：変更処理が必要

### AC入力ユニット32点　形C500-IA122 ＊／形C500-IA122-CRT

| 名称 | AC入力ユニット | AC入力ユニット | | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| 形式 | 形C500-IA122 ＊ | 形C500-IA122-CRT | ○ | C500形式-CRT |
| 定格入力電圧 | AC100V | AC100V | ○ | |
| 許容入力電圧範囲 | AC100～120V＋10%/－15%　50/60Hz | AC100～120V＋10%/－15%　50/60Hz | ○ | |
| 入力インピーダンス | 9.7kΩ（50Hz）、8kΩ（60Hz） | 9.7kΩ（50Hz）、8kΩ（60Hz） | ○ | |
| 入力電流 | 10mA TYP.（AC100V） | 10mA TYP.（AC100V） | ○ | |
| ON電圧 | AC60V以上 | AC60V以上 | ○ | |
| OFF電圧 | AC20V以下 | AC20V以下 | ○ | |
| ON応答時間 | 35ms以下 | 35ms以下 | ○ | |
| OFF応答時間 | 55ms以下 | 55ms以下 | ○ | |
| 回路数 | 32点（8点／コモン4回路） | 32点（8点／コモン4回路） | ○ | |
| 質量 | 600g以下 | 440g以下<br>（38P端子台コネクタ除く） | － | |

○：互換性あり、△：一部変更あり、×：変更処理が必要
＊2012年3月生産終了商品です。

### トランジスタ出力ユニット32点　形C500-OD412 ＊／形C500-OD214-CRT

| 名称 | トランジスタ出力ユニット | トランジスタ出力ユニット | | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| 形式 | 形C500-OD412 ＊ | 形C500-OD214-CRT | △ | 形式ご注意 |
| 定格電圧 | DC12～48V | DC12～24V | △ | 24V以下のみ使用 |
| 使用負荷電圧範囲 | DC12～48V＋10%/－15% | DC12～24V＋10%/－15% | △ | 24V以下のみ使用 |
| 最大負荷電流 | 0.3A/点（4.8A/ユニット） | 0.3A/点（4.8A/ユニット） | ○ | |
| 最大突入電流 | － | 4.0A/点、10ms以下 | － | |
| 漏れ電流 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 | ○ | |
| 残留電圧 | 1.5V以下 | 1.5V以下 | ○ | |
| ON応答時間 | 0.2ms以下 | 0.2ms以下 | ○ | |
| OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 0.6ms以下 | △ | 変更あり |
| 回路数 | 32点（32点/コモン1回路） | 32点（32点/コモン1回路） | ○ | |
| ヒューズ | 1個 | なし | △ | |
| 外部供給電源 | DC12～48V＋10%/－10%<br>80mA以上 | DC12～24V＋10%/－10%<br>28mA以上 | △ | 24V以下のみ使用 |
| 質量 | 530g以下 | 320g以下<br>（38P端子台コネクタ除く） | － | |

○：互換性あり、△：一部変更あり、×：変更処理が必要
＊2012年3月生産終了商品です。

## リレー接点出力ユニット32点　形C500-OC224 ＊／形C500-OC224-CRT

| 名称 | | リレー接点出力ユニット | リレー接点出力ユニット | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | | 形C500-OC224 ＊ | 形C500-OC224-CRT | ○ | C500形式-CRT |
| 最大開閉能力 | | AC250V/2A（cosφ=1）、<br>AC250V/0.5A（cosφ=0.4）<br>DC24V/2A（8A/コモン、32A/ユニット） | AC250V/2A（cosφ=1）、<br>AC250V/0.5A（cosφ=0.4）<br>DC24V/2A（8A/コモン、32A/ユニット） | ○ | |
| 最小開閉能力 | | DC5V 10mA | DC5V 10mA | ○ | |
| 外部供給電源（リレー駆動用） | 電圧 | DC24V±10% | DC24V±10% | ○ | |
| | 電流 | 10mA/点、320mA/ユニット | 10mA/点、320mA/ユニット | ○ | |
| 使用リレー | | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）<br>ソケット付 | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）<br>ソケット無し | △ | リレー交換不可 |
| リレー寿命 | | 電気的：抵抗負荷30万回、誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | 電気的：抵抗負荷30万回、誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | ○ | |
| ON応答時間 | | 15ms以下 | 15ms以下 | ○ | |
| OFF応答時間 | | 15ms以下 | 15ms以下 | ○ | |
| 回路数 | | 32点（8点/コモン　4回路） | 32点（8点/コモン　4回路） | ○ | |
| 質量 | | 600g以下 | 540g以下<br>（38P端子台コネクタ除く） | － | |

○：互換性あり、△：一部変更あり、×：変更処理が必要

＊2012年3月生産終了商品です。

## リレー接点出力ユニット16点（独立コモン）　形C500-OC223 ＊／形C500-OC223-CRT

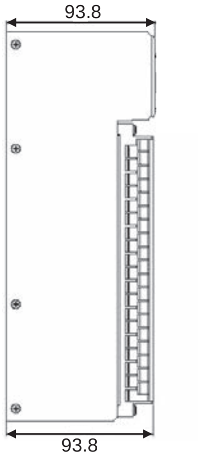
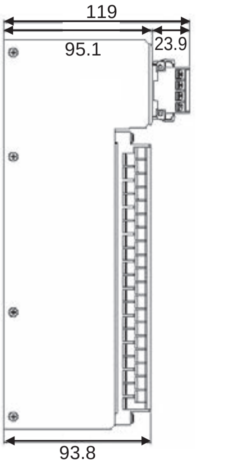
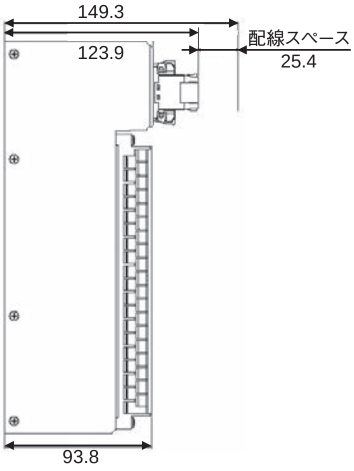
| 名称 | | リレー接点出力ユニット | リレー接点出力ユニット | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | | 形C500-OC223 ＊ | 形C500-OC223-CRT | ○ | C500形式-CRT |
| 最大開閉能力 | | AC250V/2A（cosφ=1）、<br>AC250V/0.5A（cosφ=0.4）<br>DC24V/2A（32A/ユニット） | AC250V/2A（cosφ=1）、<br>AC250V/0.5A（cosφ=0.4）<br>DC24V/2A（32A/ユニット） | ○ | |
| 最小開閉能力 | | DC5V 10mA | DC5V 10mA | ○ | |
| 外部供給電源（リレー駆動用） | 電圧 | DC24V±10% | DC24V±10% | | |
| | 電流 | 10mA/点、<br>160mA/ユニット | 10mA/点、<br>160mA/ユニット | ○ | |
| 使用リレー | | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）<br>ソケット付 | 形G6B-1174-FD-US-M（DC24V仕様）<br>ソケット無し | △ | リレー交換不可 |
| リレー寿命 | | 電気的：抵抗負荷30万回<br>誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | 電気的：抵抗負荷30万回<br>誘導負荷10万回<br>機械的：5,000万回 | ○ | |
| ON応答時間 | | 15ms以下 | 15ms以下 | ○ | |
| OFF応答時間 | | 15ms以下 | 15ms以下 | ○ | |
| 回路数 | | 16点（独立コモン） | 16点（独立コモン） | ○ | |
| 質量 | | 450g以下 | 400g以下<br>（38P端子台コネクタ除く） | － | |

○：互換性あり、△：一部変更あり、×：変更処理が必要

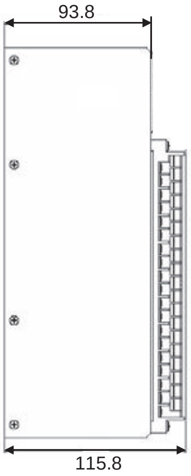
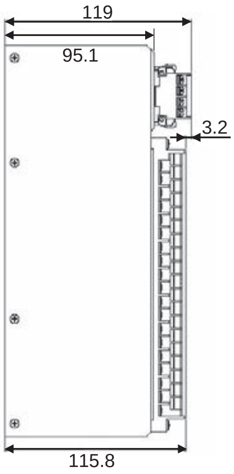
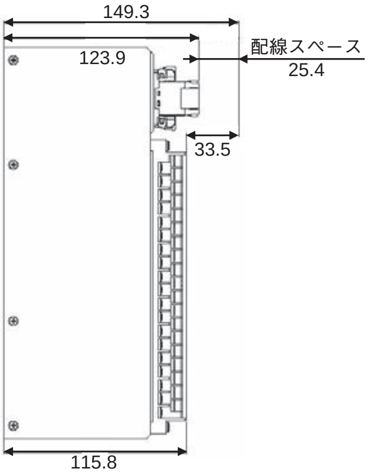
＊2012年3月生産終了商品です。

## 外形寸法差異一覧

### 38ピン端子台タイプ［外形図B］

<table>
<tr><th>形C500−□□□□□</th><th colspan="2">形C500−□□□□□-CRT</th></tr>
<tr><td>
</td>
<td>オープン型コネクタ装着時<br>（形DCN4-TB4）<br>
</td>
<td>マルチコネクタ＋フラットコネクタ<br>（形DCN4-MD4＋DCN4-BR4）<br>
</td></tr>
</table>

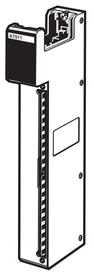
### 38ピン端子台タイプ［外形図C］

<table>
<tr><th>形C500−□□□□□</th><th colspan="2">形C500−□□□□□-CRT</th></tr>
<tr><td>
</td>
<td>オープン型コネクタ装着時<br>（形DCN4-TB4）<br>
</td>
<td>マルチコネクタ＋フラットコネクタ<br>（形DCN4-MD4＋DCN4-BR4）<br>
</td></tr>
</table>

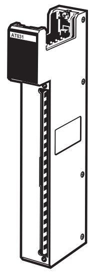
MEMO

# 端子台変換ユニット
# 形CS1W-AT□□□

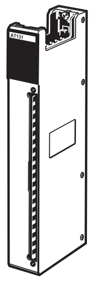
## C500シリーズの基本I/Oユニットの端子台を、CS/CJシリーズの基本I/Oユニットのコネクタまたは端子台へ変換。



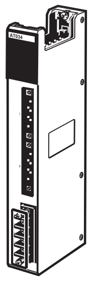
20 ピン端子台タイプ
形CS1W-AT011/111/112/113/114
（オープン価格）



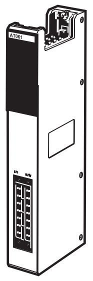
38 ピン端子台タイプ
形CS1W-AT031/032/033/115
（オープン価格）



38 ピン端子台タイプ
形CS1W-AT131/132/133/134
（オープン価格）



24 ピン×2 コネクタタイプ
形CS1W-AT034/035
（オープン価格）



40 ピン×2 コネクタタイプ
形CS1W-AT061
（オープン価格）

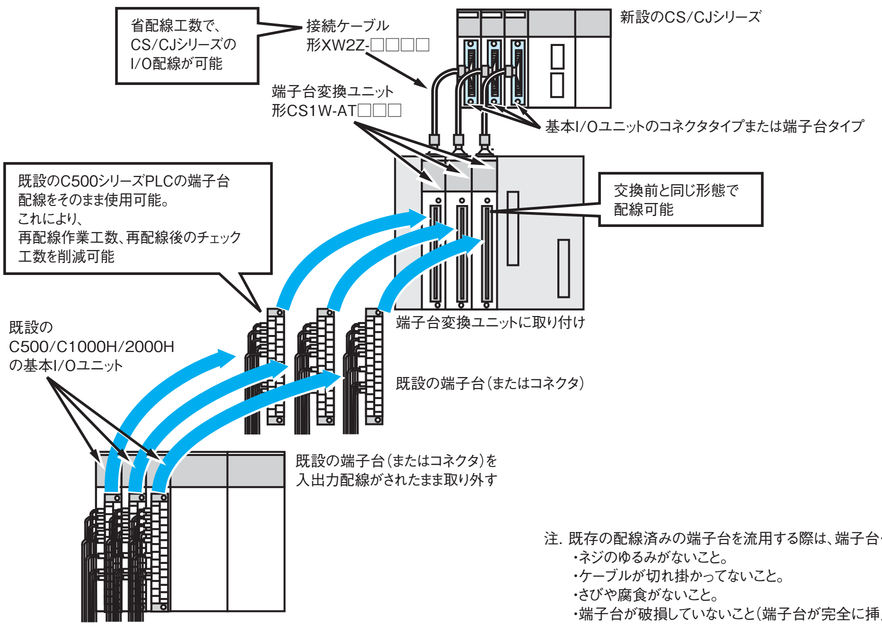
## 概要

端子台変換ユニット形CS1W-AT□□□は、C500/C1000H/C2000Hシリーズを CS/CJシリーズにリプレースする場合、既設の入出力ユニットの端子台配線をCS/CJ シリーズでもそのまま利用できるようにするための、変換用ユニットです。
本ユニットを使用することで、入出力配線をやり直す必要がありませんので、配線作業や配線チェック、試運転に要する時間が大幅に短縮できます。

## 特長

・既設のC500シリーズPLCの端子台配線をそのまま使用可能。
これにより、再配線作業工数、および再配線後のチェック工数を短縮可能。（一部、電源およびコモン端子の配線変更が必要になります）
・本ユニットから CS/CJ シリーズの基本 I/O ユニットへの配線は接続ケーブルを使用。
これにより、省配線工数で、CS/CJシリーズのI/O配線が可能。
・端子台変換ユニットのサイズは、元の大型Cシリーズの基本I/Oユニットと同じため、交換前とまったく同じ形態で、ダクト内での配線の引きまわしを変更することなく、端子台（またはコネクタ）を取り付け可能。

## システム構成（使い方）




注. 既存の配線済みの端子台を流用する際は、端子台・配線状態に問題が無いことを確認してください。
・ネジのゆるみがないこと。
・ケーブルが切れ掛かってないこと。
・さびや腐食がないこと。
・端子台が破損していないこと（端子台が完全に挿入、固定できること。）

# 端子台変換ユニット一覧

必らず、参照ページの各ユニットの説明(留意事項を含む)をご確認の上、ユニットを選択してください。

## 入力ユニットを変換する場合

### ■DC入力ユニットを変換する場合

#### ●16点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

2台の16点DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニット*に変換するとき、または
1台の16点DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニット*に変換するとき(16点余る)

* 形C500-ID112の場合、32点入力/32点出力ユニット(その場合、入力部の残り16点と、出力部の32点が余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-ID112 | 16点DC入力ユニット(DC5～12V 16mA) | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-MD561(入力部CN2に接続) | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ(入力:DC5V 3.5mA) | 形CS1W-AT011 | 16点DC入力変換ユニット | cULus | 43 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 形CJ1W-MD563(入力部CN2に接続) | | | | | |
| 形C500-ID213 | 16点DC入力ユニット(DC12～24V 10mA) | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ(DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA) | | | | |

1台の16点DC入力ユニットを、1台の端子台タイプの16点 DC入力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-ID213 | 16点DC入力ユニット(DC12～24V 10mA) | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-ID211 または 形CJ1W-ID211 | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ(DC24V 7mA) | 形CS1W-AT011 | 16点DC入力変換ユニット | cULus | 43 |

#### ●32点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

1台の32点DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニット*に変換するとき

* 形C500-ID501CNの場合、32点入力/32点出力ユニット(その場合、出力部の32点が余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-ID215 | 32点DC入力ユニット(DC12～24V 10mA) | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ(DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA) | 形CS1W-AT031 | 32点DC入力変換ユニット | cULus | 54 |
| 形C500-ID218 | 32点DC入力ユニット(DC12～24V 10mA) | | | | | | | |
| 形C500-ID501CN | 32点TTL入力ユニット(DC5V 3.5mA) | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-MD561(入力部CN2に接続) | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ(入力:DC5V 3.5mA) | 形CS1W-AT034 | 32点DC入力変換ユニット | cULus | 62 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 形CJ1W-MD563(入力部CN2に接続) | | | | | |
| 形C500-ID218CN | 32点DC入力ユニット(DC12～24V 10mA) | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ(DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA) | | | | |

#### ●64点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

1台の64点 DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの64点 DC入力ユニットに変換するとき

注. 変換元ユニットに接続されているコネクタを、直接変換先ユニットに接続して使用することができます。
この場合、端子台変換ユニット形CS1W-AT061および接続ケーブル形XW2Z-□□□Bは必要ありません。
設置上の問題等で変換先ユニットに直接コネクタ接続ができない場合に限り、端子台変換ユニットおよび接続ケーブルをご使用ください。

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-ID219 | 64点DC入力ユニット(DC24V 7mA) | 形XW2Z-□□□B ×2本 | 形CS1W-ID261 または 形CJ1W-ID261 | 64点DC入力ユニット(DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA) | ◎形CS1W-AT061 | 64点DC入力変換ユニット | cULus | 70 |
| 形C500-ID114 | 64点DC入力ユニット(DC12V 7mA) | | | | | | | |

注. 形C500-ID114はDC12V入力です。形CS1W-ID261、形CJ1W-ID261はDC24V入力となります。

### ●8点DC割込入力ユニットをDC割込入力ユニットに変換する場合

2台の8点DC割込入力ユニットを、1台の16点DC割込入力ユニットに変換するとき、または
1台の8点DC割込入力ユニットを、1台の16点DC割込入力ユニットに変換するとき（8点余る）

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C2000-ID216 | 8点DC割込入力ユニット（DC12～24V 13mA） | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-INT01 または 形CJ1W-INT01 | 16点DC割込入力ユニット（DC24V 7mA） | 形CS1W-AT011 | 8点DC入力変換ユニット | cULus | 43 |

## ■AC/DC入力ユニットを変換する場合

### ●16点AC/DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

2台の16点AC/DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニットに変換するとき、または
1台の16点AC/DC入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニットに変換するとき（16点余る）

※ AC/DC入力ユニットがDC入力時のみ使用可能です。AC入力時は使用できませんので、ご注意ください。

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IM211 | 16点AC/DC入力ユニット（AC/DC12～24V 10mA）注. DC入力のみ可能。AC入力時は使用不可。 | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA） | 形CS1W-AT011 | 16点DC入力変換ユニット | cULus | 43 |

1台の16点AC/DC入力ユニットを、1台の端子台タイプの16点 DC入力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IM211 | 16点AC/DC入力ユニット（AC/DC12～24V 10mA）注. DC入力のみ可能。AC入力時は使用不可。 | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-ID211 または 形CJ1W-ID211 | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ（DC24V 7mA） | 形CS1W-AT011 | 16点DC入力変換ユニット | cULus | 43 |

### ●32点AC/DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IM212 | 32点AC/DC入力ユニット（AC/DC12～24V 10mA）注. DC入力のみ可能。AC入力時は使用不可。 | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA） | 形CS1W-AT031 | 32点DC入力変換ユニット | cULus | 54 |

## ■AC入力ユニットを変換する場合

### ●16点AC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

2台の16点AC100VまたはAC200V入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニットに変換するとき、または
1台の16点AC100VまたはAC200V入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニットに変換するとき（16点余る）

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IA121 | 16点AC100V入力ユニット（AC100～120V 10mA） | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA） | 形CS1W-AT111 | 16点AC100V入力→DC入力変換ユニット | cULus | 73 |
| 形C500-IA222 | 16点AC200V入力ユニット（AC200～240V 10mA） | 形XW2Z-□□□D | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS:6mA、CJ:4.1mA） | 形CS1W-AT112 | 16点AC200V入力→DC入力変換ユニット | | 75 |

1台の16点AC100VまたはAC200V入力ユニットを、1台の端子台タイプの16点 DC入力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IA121 | 16点AC100V入力ユニット（AC100～120V 10mA） | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-ID211 または 形CJ1W-ID211 | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ（DC24V 7mA） | 形CS1W-AT111 | 16点AC100V入力→DC入力変換ユニット | cULus | 73 |
| 形C500-IA222 | 16点AC200V入力ユニット（AC200～240V 10mA） | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-ID211 または 形CJ1W-ID211 | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ（DC24V 7mA） | 形CS1W-AT112 | 16点AC200V入力→DC入力変換ユニット | | 75 |

#### ●32点AC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

1台の32点AC100VまたはAC200V入力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点 DC入力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-IA122 | 32点AC100V入力ユニット（AC100～120V 10mA） | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS：6mA、CJ：4.1mA） | ◎形CS1W-AT131 | 32点AC100V入力→DC入力変換ユニット | cULus | 84 |
| 形C500-IA223 | 32点AC200V入力ユニット（AC200～240V 10mA） | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-ID231 または 形CJ1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V CS：6mA、CJ：4.1mA） | 形CS1W-AT132 | 32点AC200V入力→DC入力変換ユニット | | 86 |

## 出力ユニットを変換する場合

### ■トランジスタ出力ユニットに変換する場合

#### ●16点トランジスタ出力ユニットをトランジスタ出力ユニットに変換する場合

2台の16点トランジスタ（NPN）出力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点トランジスタ（NPN）出力ユニットに変換するとき、
または1台の16点トランジスタ（NPN）出力ユニットを、
1台のコネクタタイプの32点トランジスタ（NPN）出力ユニットに変換するとき（16点余る）

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-OD217 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 1A） | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ（DC12～24V 0.5A NPN出力） | 形CS1W-AT0v11 | 16点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 43 |
| 形C500-OD411 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～48V 1A）注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | | | | |
| 形C500-OD219 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 2.1A） | | | | | | | |

1台の16点トランジスタ（NPN）出力ユニットを、1台の端子台タイプの16点トランジスタ（NPN）出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル（42ページ参照） | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | 名称（機能） | | |
| 形C500-OD217 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 1A） | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-OD211 または 形CJ1W-OD211 | 16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ（DC12～24V 0.5A NPN出力） | 形CS1W-AT011 | 16点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 43 |
| 形C500-OD411 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～48V 1A）注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | | | | |
| 形C500-OD219 | 16点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 2.1A） | | | | | | | |

## ●32点トランジスタ(NPN)出力ユニットを、トランジスタ(NPN)出力ユニット*に変換する場合

### 1台の32点トランジスタ(NPN)出力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニット*に変換するとき

＊ 形C500-OD501CNの場合、32点入力/32点出力ユニット（その場合、入力部の32点が余る）

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OD218 | 32点トランジスタ出力ユニット(DC12～24V 0.3A) | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT032 | 32点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 57 |
| 形C500-OD412 | 32点トランジスタ出力ユニット(DC12～48V 0.3A) 注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | | | | |
| 形C500-OD414 | 32点トランジスタ出力ユニット(DC12～48V 0.3A) 注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | | | | |
| 形C500-OD501CN | 32点TTL出力ユニット(DC5V 35mA) | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-MD561(出力部CN1に接続) | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ(出力：DC5V 35mA/点) | 形CS1W-AT034 | 32点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 62 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 形CJ1W-MD563(出力部CN1に接続) | | | | | |
| 形C500-OD415CN | 32点トランジスタ出力ユニット(DC12～48V 0.3A) | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | | | | |

### 1台の32点トランジスタ(PNP)出力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(PNP)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OD212 | 32点トランジスタ出力ユニット(DC12～24V 0.3A PNP出力) | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-OD232 注. 形 CJ1W-OD232は不可。 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC24V 0.5A PNP出力) | 形CS1W-AT033 | 32点トランジスタ出力(PNP)変換ユニット | cULus | 60 |

## ●64点トランジスタ(NPN)出力ユニットをトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換する場合

### 1台の64点トランジスタ(NPN)出力ユニットを、1台のコネクタタイプの64点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

注. 変換元ユニットに接続されているコネクタを、直接変換先ユニットに接続して使用することができます。
この場合、端子台変換ユニット形CS1W-AT061および接続ケーブル形XW2Z-□□□Bは必要ありません。
設置上の問題等で変換先ユニットに直接コネクタ接続ができない場合に限り、端子台変換ユニットおよび接続ケーブルをご使用ください。

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OD213 | 64点トランジスタ出力ユニット(DC4.5V 16mA～DC26.4V 100mA) | 形XW2Z-□□□B ×2本 | 形CS1W-OD261 または 形CJ1W-OD261 | 64点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.3A NPN出力) | ◎形CS1W-AT061 | 64点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 70 |

## ■トライアック出力ユニットに変換する場合

### ●16点トライアック出力ユニットをトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換する場合

2台の16点トライアック出力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき、または
1台の16点トライアック出力ユニットを1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき(16点余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OA121 | 16点トライアック出力ユニット(AC132V 1A) | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT114 | 16点トライアック出力→トランジスタ出力変換ユニット | − | 79 |
| 形C500-OA222 | 16点トライアック出力ユニット(AC250V 1A) | | | | | | | |
| 形C500-OA226 | 16点トライアック出力ユニット(最大250V 1.2A) | | | | | | | |

1台の16点トライアック出力ユニットを、1台の端子台タイプの16点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OA121 | 16点トライアック出力ユニット(AC132V 1A) | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-OD211 または 形CJ1W-OD211 | 16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT114 | 16点トライアック出力→トランジスタ出力変換ユニット | − | 79 |
| 形C500-OA222 | 16点トライアック出力ユニット(AC250V 1A) | | | | | | | |
| 形C500-OA226 | 16点トライアック出力ユニット(最大250V 1.2A) | | | | | | | |

### ●32点トライアック出力ユニットをトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換する場合

1台の32点トライアック出力ユニットを1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OA223 | 24点トライアック出力ユニット(AC250V 1A) | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT134 | 32点トライアック出力→トランジスタ出力変換ユニット | − | 90 |
| 形C500-OA225 | 32点トライアック出力ユニット(AC250V 1A) | | | | | | | |

## ■リレー接点出力ユニットに変換する場合

### ●16点リレー接点出力ユニットをトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換する場合

2台の16点リレー接点出力ユニットを、1台のコネクタタイプのトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき、または
1台の16点リレー接点出力ユニットを1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき(16点余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OC221 | 16点リレー接点出力ユニット(AC250V/DC24V 2A) | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-OD231 または 形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT113 | 16点リレー接点出力→トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 77 |

1台の16点リレー接点出力ユニットを、1台の端子台タイプの16点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OC221 | 16点リレー接点出力ユニット(AC250V/DC24V 2A) | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-OD211 または 形CJ1W-OD211 | 16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ(DC12～24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT113 | 16点リレー接点出力→トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 77 |

2台の16点リレー独立接点出力ユニットを、1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき、
または1台の16点リレー独立接点出力ユニットを、
1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき(16点余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OC223 | 16点リレー接点出力ユニット(AC250V/DC24V 2A独立コモン) | 形XW2Z-□□□L | 形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12~24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT115 | 16点リレー独立接点出力→トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 82 |

1台の16点リレー独立接点出力ユニットを、1台の端子台タイプの16点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OC223 | 16点リレー接点出力ユニット(AC250V/DC24V 2A独立コモン) | 形XW2Z-□□□F | 形CS1W-OD211または形CJ1W-OD211 | 16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ(DC12~24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT115 | 16点リレー独立接点出力→トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 82 |

●32点リレー接点出力ユニットをトランジスタ(NPN)出力ユニットに変換する場合

1台の32点リレー出力ユニットを1台のコネクタタイプの32点トランジスタ(NPN)出力ユニットに変換するとき

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-OC224 | 32点リレー接点出力ユニット(AC250V/DC24V 2A) | 形XW2Z-□□□B | 形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ(DC12~24V 0.5A NPN出力) | 形CS1W-AT133 | 32点リレー接点出力→トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 88 |

## 入出力混合ユニットを変換する場合

### ■DC入力ユニットおよびトランジスタ出力を変換する場合

●16点DC入力ユニットおよび16点トランジスタ出力ユニットをDC入力ユニットおよびトランジスタ出力ユニットに変換する場合

1台の16点DC入力ユニットおよびトランジスタ出力ユニットを、
1台のコネクタタイプの32点DC入力および32点トランジスタ出力ユニットに変換するとき(入力16点および出力16点が余る)

| 変換元 | | 接続ケーブル(42ページ参照) | 変換先 | | 端子台変換ユニット | | 規格 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | 名称(機能) | | |
| 形C500-MD211CN | 16点DC入力/16点トランジスタ出力ユニット(入力:DC12~24V 10mA、出力:DC12~24V 0.3A) | 入力:形XW2Z-□□□D、出力:形XW2Z-□□□Lを各1本 | 形CS1W-MD261または形CJ1W-MD261(入力部CN2、出力部CN1に接続) | DC入力32点/トランジスタ出力32点ユニット・コネクタタイプ(入力:DC24V 6mA、出力:DC12~24V 0.3A NPN出力) | 形CS1W-AT035 | 16点DC入力/16点トランジスタ出力変換ユニット | cULus | 68 |

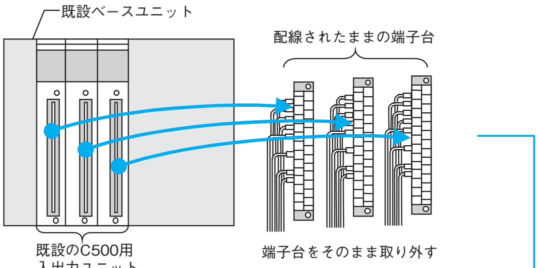
《接続ケーブルの形式について》

接続ケーブル 形XW2Z-□□□B/D/L/F/N/Aの形式中の□□□(長さ指定部)の詳細は、後述の「**接続ケーブル**」(42ページ)を参照してください。

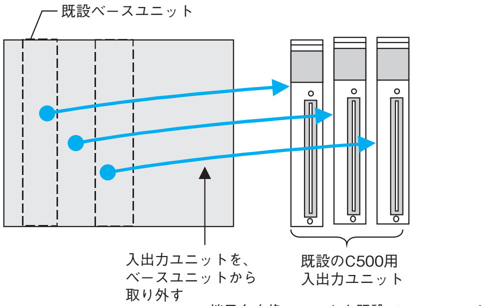
| 長さ | 0.5m | 1.0m | 1.5m | 2.0m | 3.0m | 5.0m | 10m | 15m | 20m |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形式中の□□□ | 050 | 100 | 150 | 200 | 300 | 500 | 010 | 15M | 20M |

## 端子台変換ユニットの取り付け手順

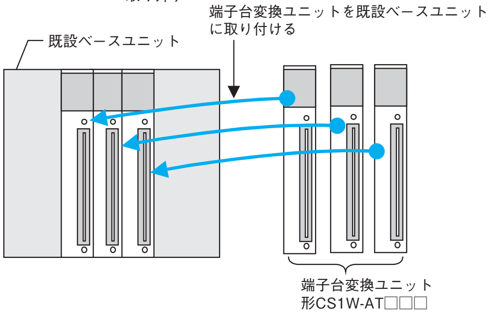
1. まず、配線されたままの端子台を、既設のC500シリーズ基本I/Oユニットから、取り外します。



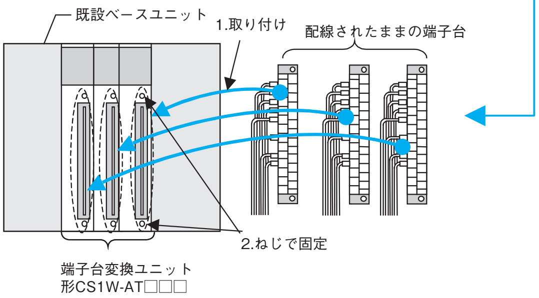

2. 次に、ベースユニットから、既設のC500用シリーズ基本I/Oユニットを取り外します。



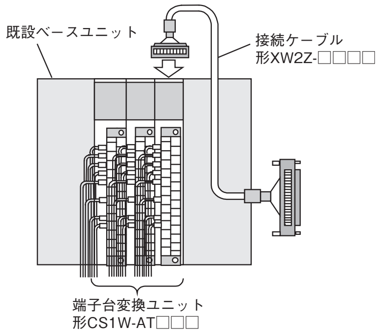

3. 既設ベースユニットに、端子台変換ユニットを取り付けます。
取り付けは＋ドライバを使い、締め付けトルクは0.9N・mとしてください。



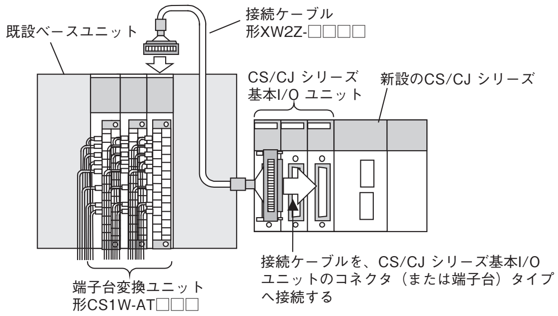

4. 取り外しておいた端子台を、端子台変換ユニットに取り付け、上下2本のねじで固定します。
取り付けは＋ドライバを使い、締め付けトルクは0.5N・mとしてください。




5. 接続ケーブルを端子台変換ユニットの上部コネクタに取付け、ロックします。
注．コネクタ内に異物が混入しないよう、制御盤に取付ける前に、接続ケーブルのコネクタを接続してください。




6. 新設のCS/CJシリーズ基本I/Oユニットに、接続ケーブルのコネクタを取付け、ねじで固定します。
取り付けは＋ドライバを使い、締め付けトルクは0.2N・mとしてください。




注．既存の配線済みの端子台を流用する際は、端子台・配線状態に問題が無いことを確認してください。
・ネジのゆるみがないこと。
・ケーブルが切れ掛かってないこと。
・さびや腐食がないこと。
・端子台が破損していないこと（端子台が完全に挿入、固定できること。）

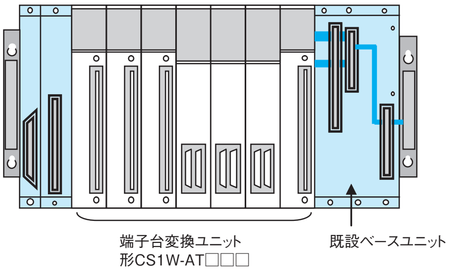
## 端子台変換ユニットの取付け

（単位：mm）

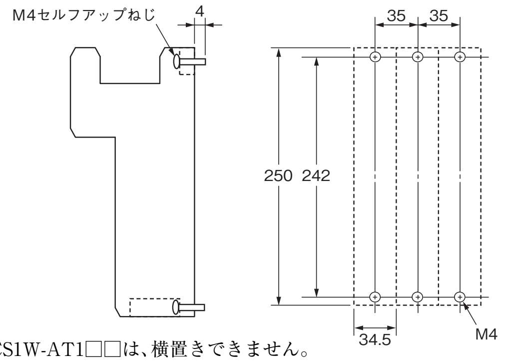
既設のC500/C1000H/C2000H/CVM1/CVM1D/CVシリーズなどのCPUベースユニットやI/O増設ベースユニットに装着したままで使用することが可能です。

### ■ベースユニットへの取付け

既設のSYSMACのCPUベースユニットやI/O増設ベースユニットを残したまま、入出力ユニット取付け用スロットに本ユニットを取り付けます。



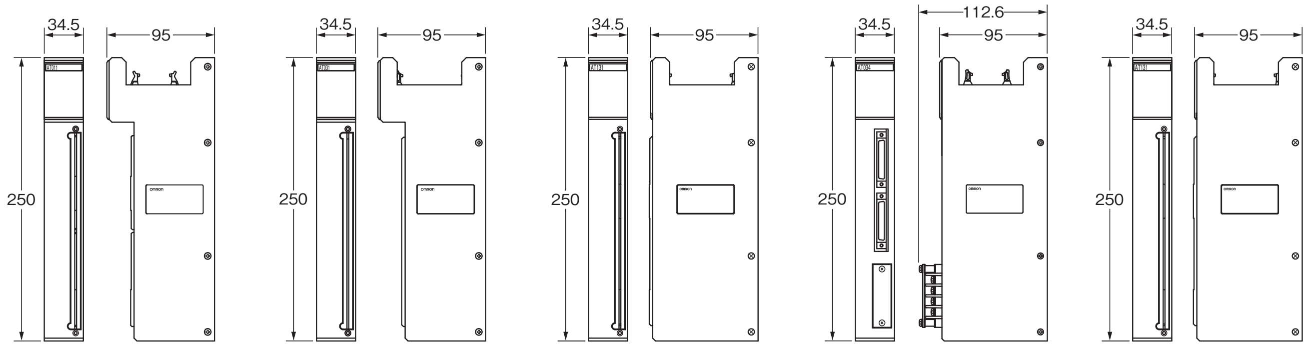

参考：表面取り付けの場合
ユニットを上下2箇所のねじで制御盤の中板に固定することもできます。
取り付けは+ドライバを使い、締め付けトルクは0.9N・mとしてください。




注．形CS1W-AT1□□は、横置きできません。

### ■端子台変換ユニットの外観/外形寸法

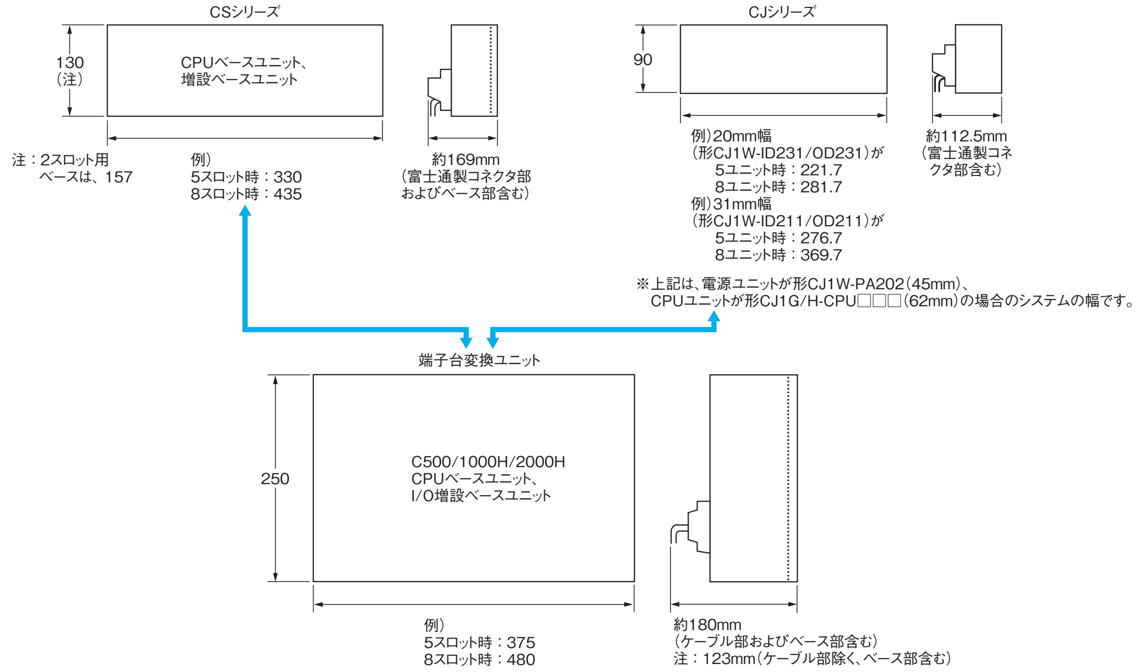
| 20ピン端子台タイプ | 38ピン端子台タイプ | 38ピン端子台タイプ | 24ピン×2コネクタタイプ | 40ピン×2コネクタタイプ |
|---|---|---|---|---|
| 形CS1W-AT011/111/112/113/114 | 形CS1W-AT031/032/033/115 | 形CS1W-AT131/132/133/134 | 形CS1W-AT034/035 | 形CS1W-AT061 |




### ■外形寸法の違い

●変換先

●変換元



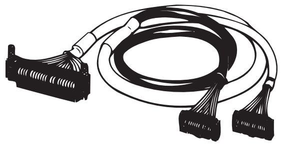
## 接続ケーブル

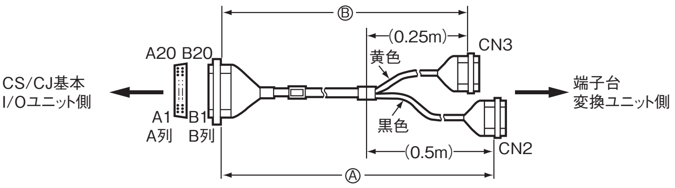
注：接続ケーブル一線あたりに流せる電流は、1Aです。CS/CJ基本I/Oユニットへ変換する際に、この値が各基本I/Oユニットの入出力電流仕様の制約となる場合がありますのでご注意ください。

### ■富士通製コネクタタイプのCS/CJ基本I/Oユニットへの接続用

#### ●16点入力または32点入力を変換

形XW2Z-□□□D



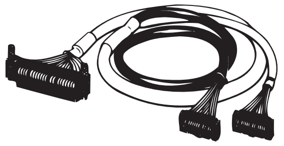


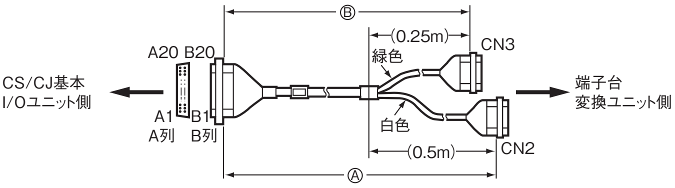

CN2（黒色側）はCN1のA列に、CN3（黄色側）はCN1のB列にそれぞれ対応しています。

| ケーブル形式 | Ⓐ | Ⓑ |
|---|---|---|
| 形XW2Z-100D | 1m | 0.75m |
| 形XW2Z-150D | 1.5m | 1.25m |
| 形XW2Z-200D | 2m | 1.75m |
| 形XW2Z-300D | 3m | 2.75m |
| 形XW2Z-500D | 5m | 4.75m |
| 形XW2Z-010D | 10m | 9.75m |
| 形XW2Z-15MD | 15m | 14.75m |
| 形XW2Z-20MD | 20m | 19.75m |

#### ●16点出力または32点出力を変換

形XW2Z-□□□L



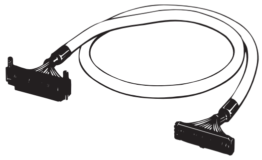


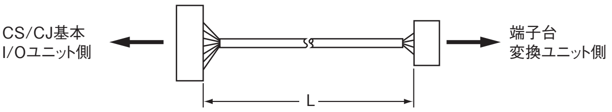

CN2（白色側）はCN1のA列に、CN3（緑色側）はCN1のB列にそれぞれ対応しています。

| ケーブル形式 | Ⓐ | Ⓑ |
|---|---|---|
| 形XW2Z-100L | 1m | 0.75m |
| 形XW2Z-150L | 1.5m | 1.25m |
| 形XW2Z-200L | 2m | 1.75m |
| 形XW2Z-300L | 3m | 2.75m |
| 形XW2Z-500L | 5m | 4.75m |
| 形XW2Z-010L | 10m | 9.75m |
| 形XW2Z-15ML | 15m | 14.75m |
| 形XW2Z-20ML | 20m | 19.75m |

#### ●32点入力、64点入力を変換、または32点出力、64点出力を変換

形XW2Z-□□□B

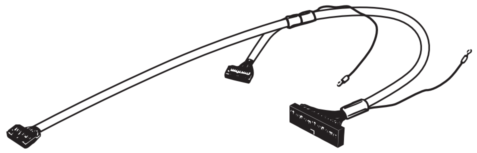


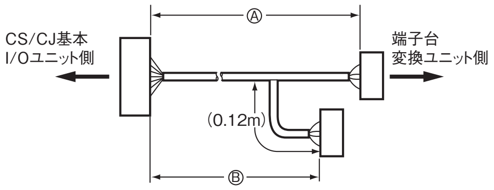



| ケーブル形式 | L |
|---|---|
| 形XW2Z-050B | 0.5m |
| 形XW2Z-100B | 1.0m |
| 形XW2Z-150B | 1.5m |
| 形XW2Z-200B | 2.0m |
| 形XW2Z-300B | 3.0m |
| 形XW2Z-500B | 5.0m |
| 形XW2Z-010B | 10m |
| 形XW2Z-15MB | 15m |
| 形XW2Z-20MB | 20m |

#### ●16点入力、32点入力、または32点出力を変換（形CJ1W-MD563への接続専用）

形XW2Z-□□□N



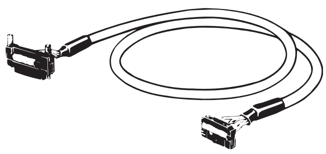


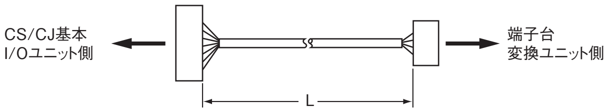

直線（曲がりなし）での長さ

| ケーブル形式 | Ⓐ | Ⓑ |
|---|---|---|
| 形XW2Z-100N | 1m | 0.75m |
| 形XW2Z-150N | 1.5m | 1.25m |
| 形XW2Z-200N | 2m | 1.75m |
| 形XW2Z-300N | 3m | 2.75m |
| 形XW2Z-500N | 5m | 4.75m |
| 形XW2Z-010N | 10m | 9.75m |
| 形XW2Z-15MN | 15m | 14.75m |
| 形XW2Z-20MN | 20m | 19.75m |

#### ●16点入力、32点入力を変換、32点出力、64点ダイナミック出力を変換

形XW2Z-□□□A



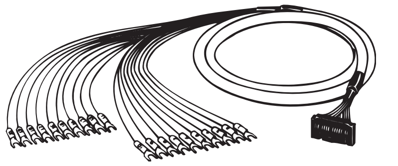


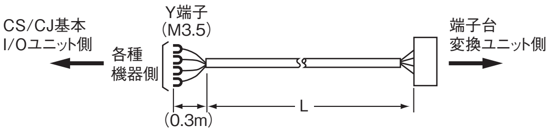

| ケーブル形式 | L |
|---|---|
| 形XW2Z-050A | 0.5m |
| 形XW2Z-100A | 1m |
| 形XW2Z-150A | 1.5m |
| 形XW2Z-200A | 2m |
| 形XW2Z-300A | 3m |
| 形XW2Z-500A | 5m |
| 形XW2Z-010A | 10m |
| 形XW2Z-15MA | 15m |
| 形XW2Z-20MA | 20m |

### ■端子台タイプのCS/CJ基本I/Oユニットへの接続用

#### ●16点入力、32点入力を変換、16点出力、または32点出力を変換

形XW2Z-□□□F





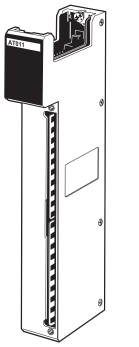

| ケーブル形式 | L |
|---|---|
| 形XW2Z-100F | 1.0m |
| 形XW2Z-150F | 1.5m |
| 形XW2Z-200F | 2.0m |
| 形XW2Z-300F | 3.0m |
| 形XW2Z-500F | 5.0m |
| 形XW2Z-010F | 10m |
| 形XW2Z-15MF | 15m |
| 形XW2Z-20MF | 20m |

16点DC入出力変換ユニット

# 形CS1W-AT011

オープン価格

## 16点DC入力ユニットを、<br>DC入力ユニットに変換します。または、<br>16点トランジスタ出力ユニットを、<br>トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは青色です。（青色は入出力変換ユニットを意味します。）

## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点DC入力 | 形C500-ID112 | 形XW2Z-□□□D | 32点/32点TTL入出力<br>ユニット･コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CS1W-MD561<br>注. 入力部CN2に接続 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 32点/32点TTL入出力<br>ユニット･コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CJ1W-MD563<br>注. 入力部CN2に接続 |
| | 形C500-ID213 | 形XW2Z-□□□D | 32点DC入力ユニット･<br>コネクタタイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID231または<br>形CJ1W-ID231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点DC入力ユニット･<br>端子台タイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID211または<br>形CJ1W-ID211 |
| 16点AC/DC入力<br>注. DC入力のみ可能。<br>AC入力時は使用不可。 | 形C500-IM211 | 形XW2Z-□□□D | 32点DC入力ユニット･<br>コネクタタイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID231または<br>形CJ1W-ID231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点DC入力ユニット･<br>端子台タイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID211または<br>形CJ1W-ID211 |
| 8点DC割込入力ユニット | 形C2000-ID216 | 形XW2Z-□□□F | 16点DC割込入力ユニット･<br>端子台タイプ | 割込入力ユニット<br>形CS1W-INT01または<br>形CJ1W-INT01 |
| 16点トランジスタ出力 | 形C500-OD217<br>形C500-OD411<br>形C500-OD219 | 形XW2Z-□□□L | 32点トランジスタ<br>出力ユニット･<br>コネクタタイプ | 出力ユニット<br>形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点トランジスタ<br>出力ユニット･<br>端子台タイプ | 出力ユニット<br>形CS1W-OD211または<br>形CJ1W-OD211 |

## 変換機能

なし（DCのまま）

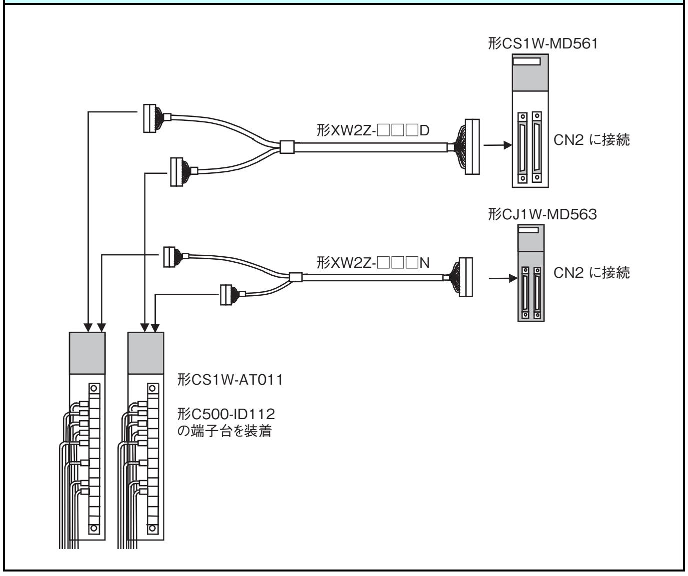
注. AC/DC入力ユニットを変換するときは、DC入力の場合のみ変換可能（AC入力の場合は変換できず、使用できません）。

# 接続形態

## ●16点DC入力ユニットを変換

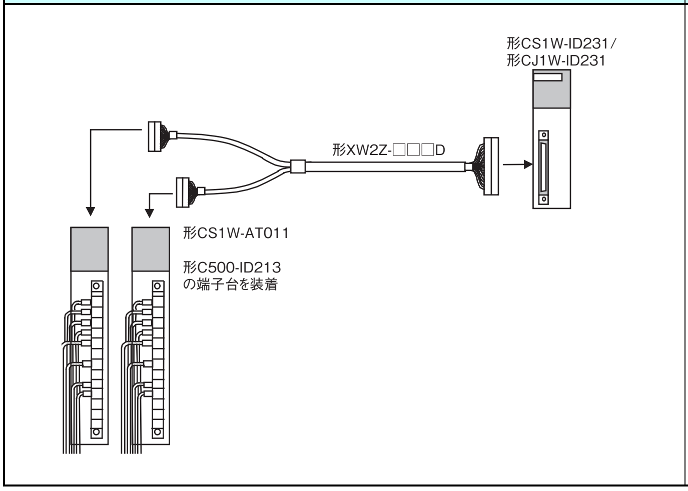
### 形C500-ID112（DC入力ユニット）

32点コネクタタイプへの接続時

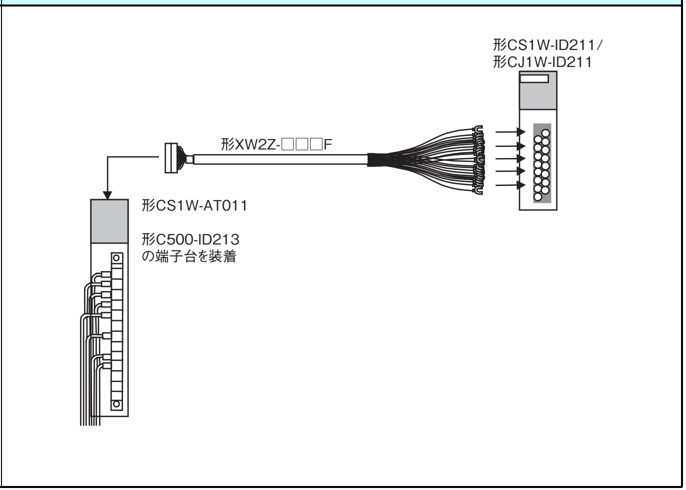



### 形C500-ID213（DC入力ユニット）

32点コネクタタイプへの接続時




16点端子台タイプへの接続時

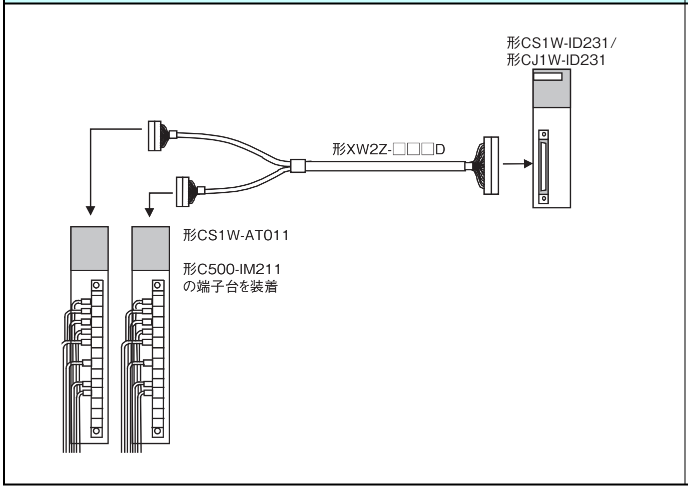



## ●16点AC/DC入力ユニットを変換

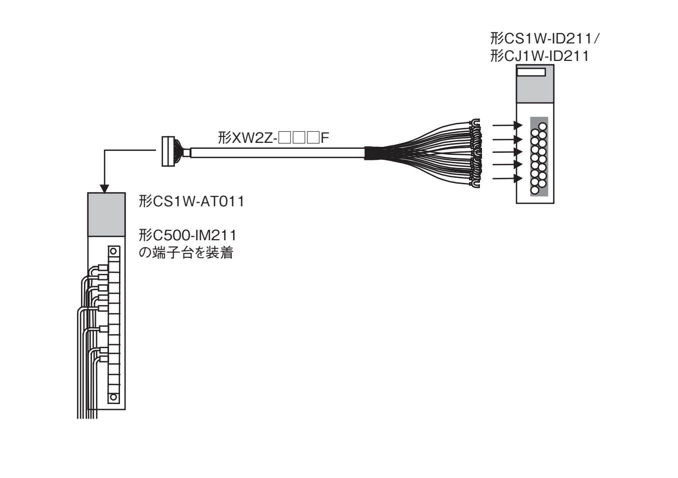
### 形C500-IM211（AC/DC入力ユニット）

注． DC入力時のみ使用可能

32点コネクタタイプへの接続時



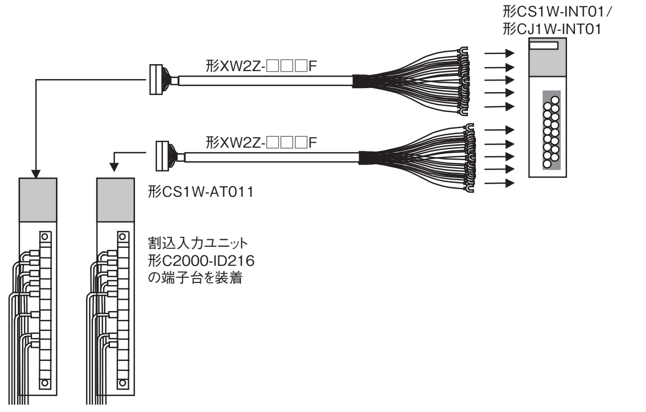

16点端子台タイプへの接続時



## ●8点DC割込入力ユニットを変換

形C2000-ID216（8点割込入力ユニット）

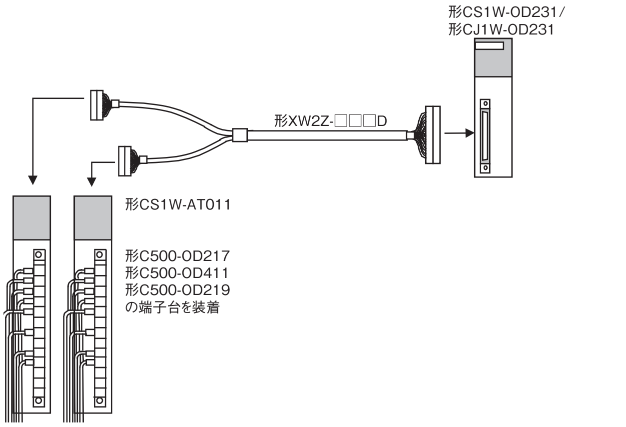
**16点 DC割込入力端子台タイプへの接続時**



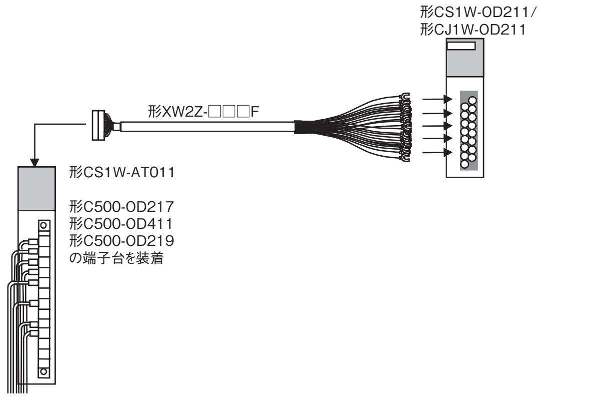

## ●16点トランジスタ出力を変換

形C500-OD217、形C500-OD411、形C500-OD219（トランジスタ出力ユニット）

**32点コネクタタイプへの接続時**




**16点端子台タイプへの接続時**



# 仕様

## ●16点DC入力ユニットを変換

### 形C500-ID112を変換
### 〈形C500-ID112→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-ID112 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-MD561 | 形CJ1W-MD563 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 入力部CN2:32点 | 入力部CN2:32点 |
| 入力電圧 | | DC5～12V | 同上 | DC5V | DC5V |
| 入力電流 | | 16mA TYP.(DC12V) | 同上 | 3.5mA TYP.(DC5V) | 3.5mA TYP.(DC5V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC4.0V | 同上 | 最小DC3.0V | 最小DC3.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC1.5V | 同上 | 最大DC1.0V | 最大DC1.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 10mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 190mA以下 |

変更点：入力電流：DC5～12VがDC5Vに変更。入力電流：16mAから3.5mAに変更。ON電圧：4.0Vが3.0Vに変更。OFF電圧：1.5Vが1.0Vに変更。
コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更（CS/CJのみ）。

### 形C500-ID213を変換
### 〈形C500-ID213→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-ID213 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 20mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電流：DC12～24VがDC24Vに変更。入力電流：10mAから6 mA /4.1mAに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。
OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

### 〈形C500-ID213→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-ID213 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-ID211 | 形CJ1W-ID211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 7mA TYP.(DC24V) | 7mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC14.4V | 最小DC14.4V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 20mA以下 | 同上 | DC5V 100mA以下 | DC5V 80mA以下 |

変更点：入力電流DC12VがDC24Vに変更。入力電流10mAから7mAに変更。ON電圧：10.2Vが14.4Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。
コモン数：CJの場合、8点/コモンから16点/コモンに変更。

## ●16点AC/DC入力ユニットを変換

### 形C500-IM211を変換

### 〈形C500-IM211→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-IM211 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC/DC12～24V<br>注．ただし、DCのみ使用可能。 | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 10mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電圧AC/DC12～24Vが、DC24Vに変更。入力電流：10mAから6 mA /4.1mAに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。
OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

### 〈形C500-IM211→端子台タイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-IM211 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-ID211 | 形CJ1W-ID211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 入力電圧 | | AC/DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 7mA TYP.(DC24V) | 7mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC14.4V | 最小DC14.4V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 10mA以下 | 同上 | DC5V 100mA以下 | DC5V 80mA以下 |

変更点：入力電圧AC/DC12～24Vが、DC24Vに変更。ON電圧：10.2Vが14.4Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。
コモン数：CJの場合、8点/コモンから16点/コモンに変更。

## ●8点DC割込入力ユニットを変換

### 形C2000-ID216を変換

### 〈形C2000-ID216→端子台タイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C2000-ID216 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-INT01 | 形CJ1W-INT01 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 8点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 13mA TYP.(DC24V) | 同上 | 7mA TYP.(DC24V) | 7mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC14.4V | 最小DC14.4V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同上 | 0.1ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.5ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点独立コモン | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | 同上 | DC5V 100mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：入力電圧DC12～24Vが、DC24Vに変更。入力電流：13mAから7mAに変更。ON電圧：10.2Vが14.4Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。
コモン数：8点独立コモンから8点/コモン（CS）、16点/コモン（CJ）に変更。

## ●16点トランジスタ出力ユニットに変換

### 形C500-OD217の変換

### 〈形C500-OD217→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OD217 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 1A(4A/コモン、5A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A 2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A (2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.4V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：1Aが0.5Aに変更。残留電圧：1.4Vから1.5Vに変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

### 〈形C500-OD217→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OD217 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 1A(4A/コモン、5A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A (4A/コモン、8A/ユニット) | DC12～24V 0.5A (5A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.4V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：1Aが0.5Aに変更。残留電圧：1.4Vから1.5Vに変更。コモン数：CJの場合、8点/コモンから16点/コモンに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

### 形C500-OD411を変換

### 〈形C500-OD411→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OD411 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～48V 1A (4A/コモン、5A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A (2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A (2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.4V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、1回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：1Aが0.5Aに変更。電圧範囲：12～48Vが12～24Vに変更。端子A19に追加で配線することが必要（端子18と短絡）。
残留電圧：1.4Vから1.5Vに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

### 〈形C500-OD411→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OD411 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～48V 1A (4A/コモン、5A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A (4A/コモン、8A/ユニット) | DC12～24V 0.5A (5A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.4V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、1回路 | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：1Aが0.5Aに変更。残留電圧：1.4Vから1.5Vに変更。コモン数：CSの場合、16点/コモンから8点/コモンに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。電圧範囲：12～48Vが12～24Vに変更。端子A19に追加で配線することが必要（端子18と短絡）。

## 形C500-OD219を変換

### 〈形C500-OD219→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-OD219 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 2.1A<br>(8A/コモン、16A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A<br>(2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 0.7V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.4ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：2.1Aが0.5Aに変更。残留電圧：0.7Vから1.5Vに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

### 〈形C500-OD219→端子台タイプへの接続〉

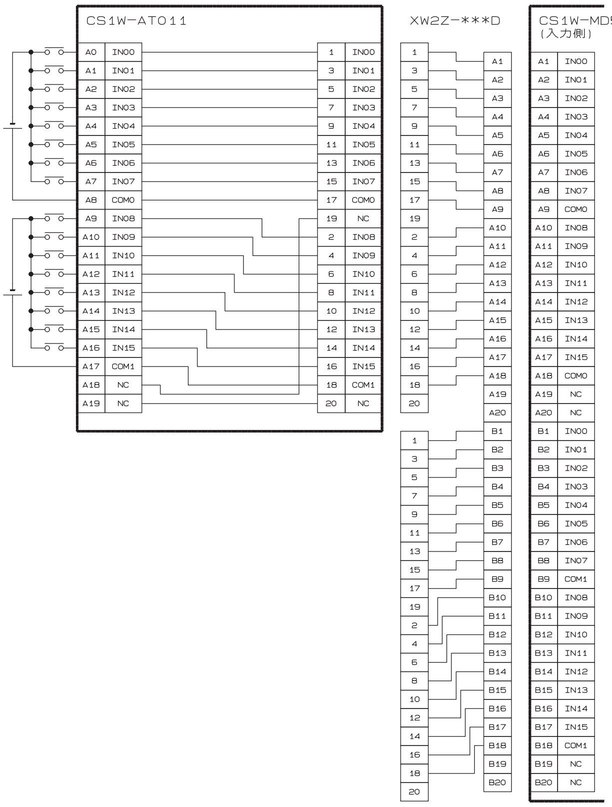
| 項目　形式 | | 形C500-OD219 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 変換回路なし | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 2.1A<br>(8A/コモン、16A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A<br>(4A/コモン、8A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(5A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 0.7V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.4ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同上 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：2.1Aが0.5Aに変更。残留電圧：0.7Vから1.5Vに変更。コモン数：CJの場合、8点/コモンから16点/コモンに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

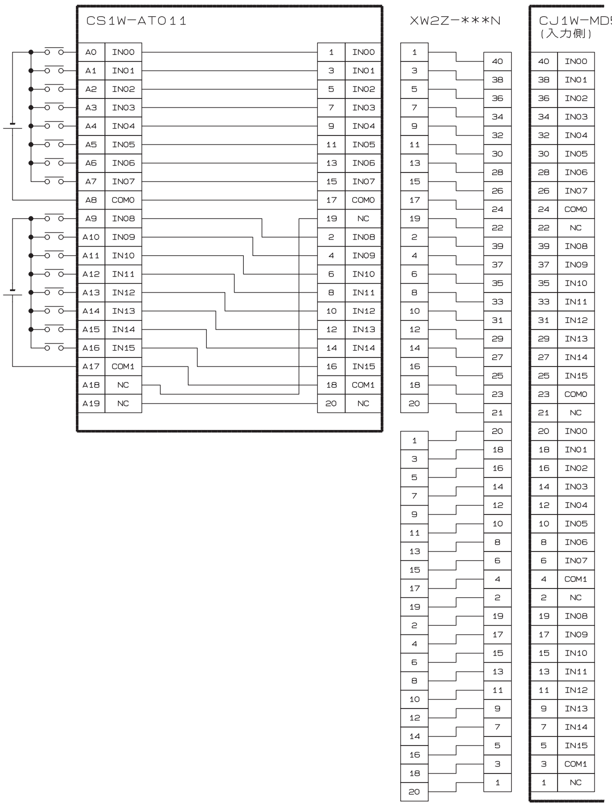
# 配線

## ●16点DC入力ユニット形C500-ID112の変換

〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CS1W-MD561への接続〉

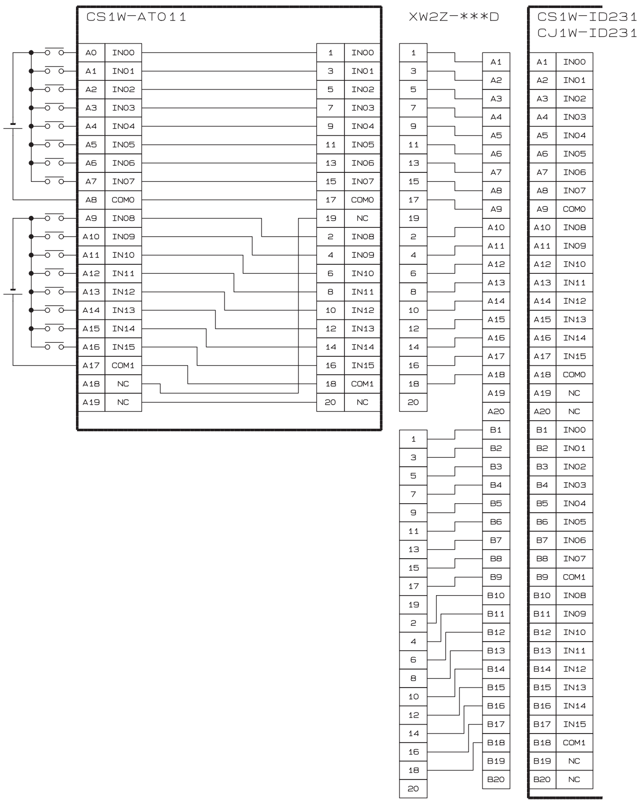



〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CJ1W-MD563への接続〉

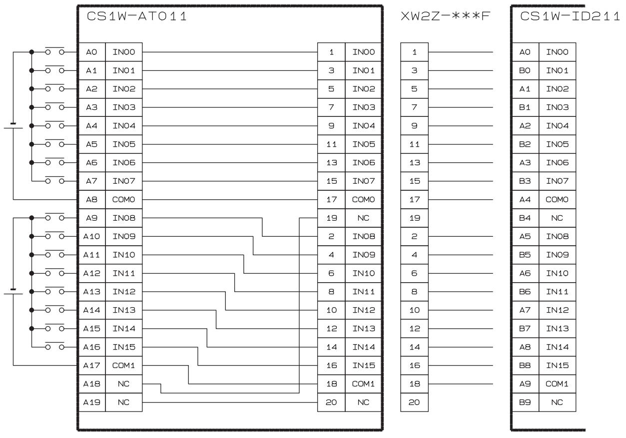


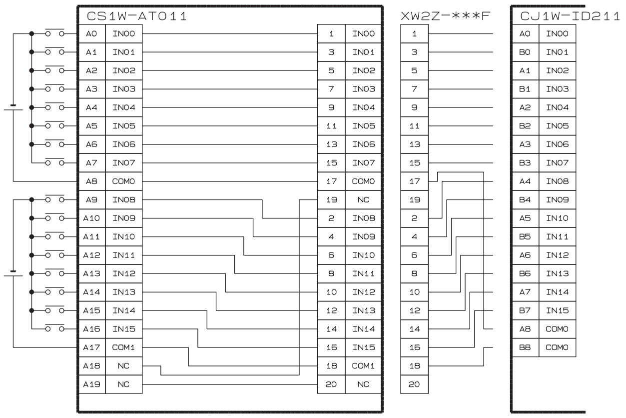
## ●16点DC入力ユニット形C500-ID213の変換

〈32点DC入力ユニット･コネクタタイプ
形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231への接続〉



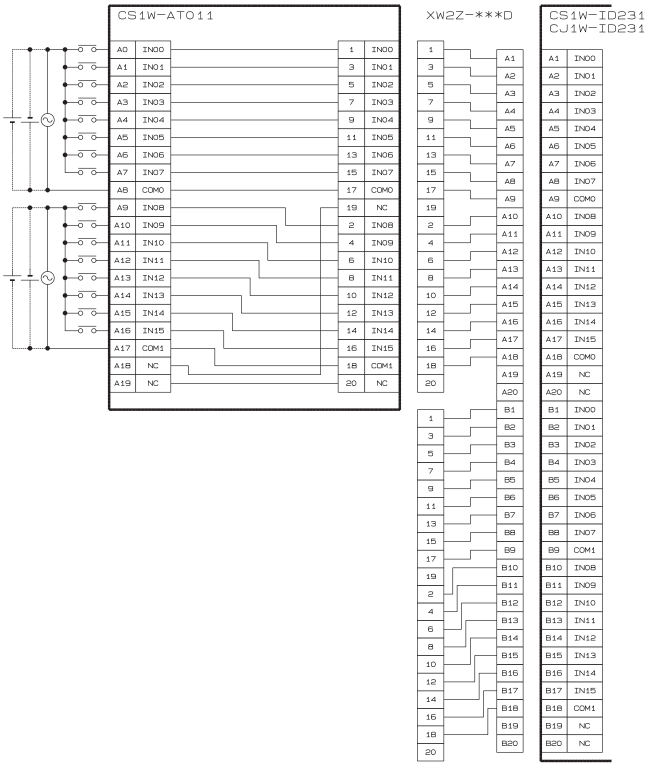

〈16点DC入力ユニット･端子台タイプ
形CS1W-ID211または形CJ1W-ID211への接続〉



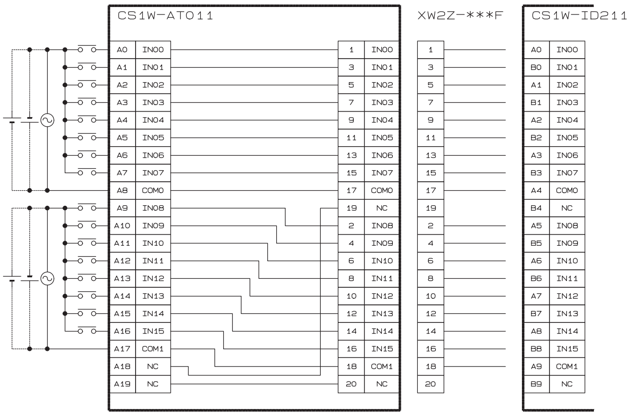



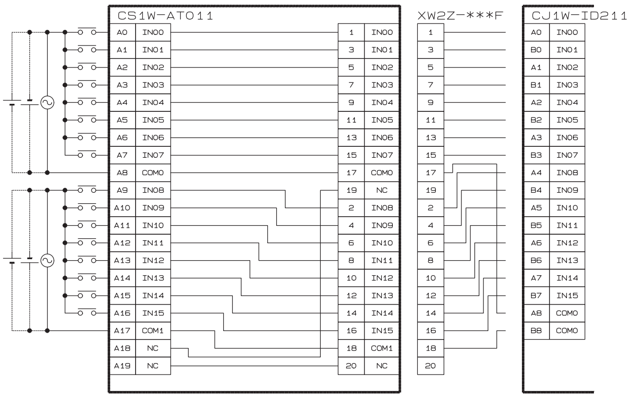

## ●16点AC/DC入力ユニット形C500-IM211の変換

〈32点DC入力ユニット･コネクタタイプ
形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231への接続〉



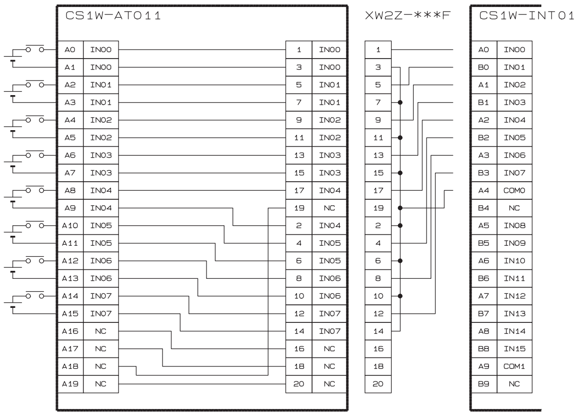

〈16点DC入力ユニット･端子台タイプ
形CS1W-ID211または形CJ1W-ID211への接続〉

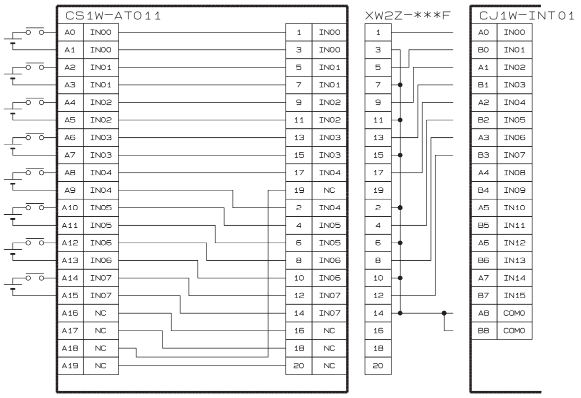


## ●8点DC割込入力ユニット形C2000-ID216の変換

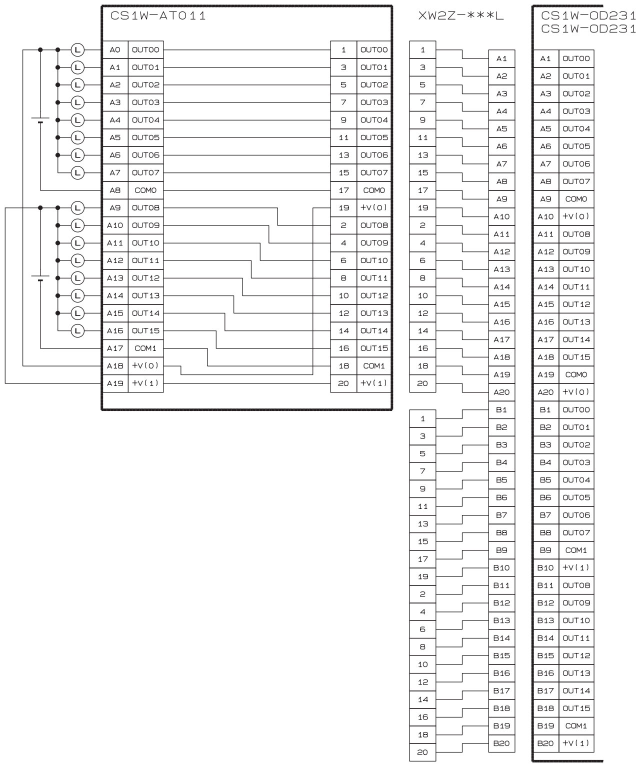
〈16点DC割込入力ユニット・端子台タイプ
形CS1W-INT01または形CJ1W-INT01への接続〉



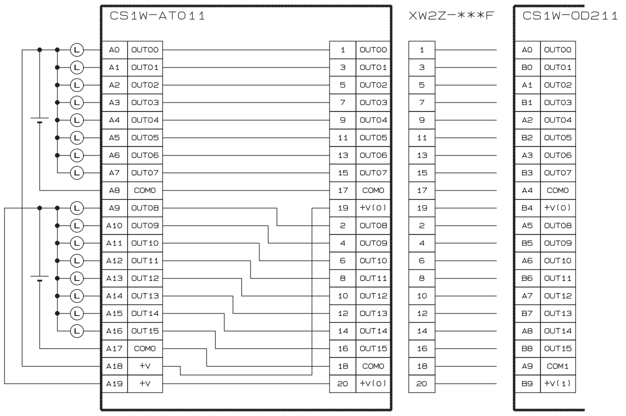



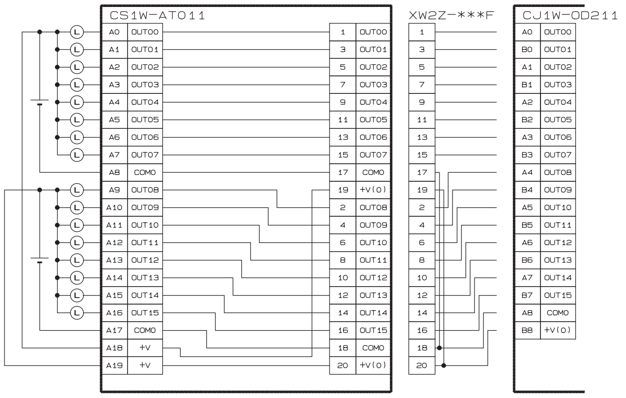

## ●16点トランジスタ出力ユニット形C500-OD217/ OD219の変換

〈32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ
形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231への接続〉



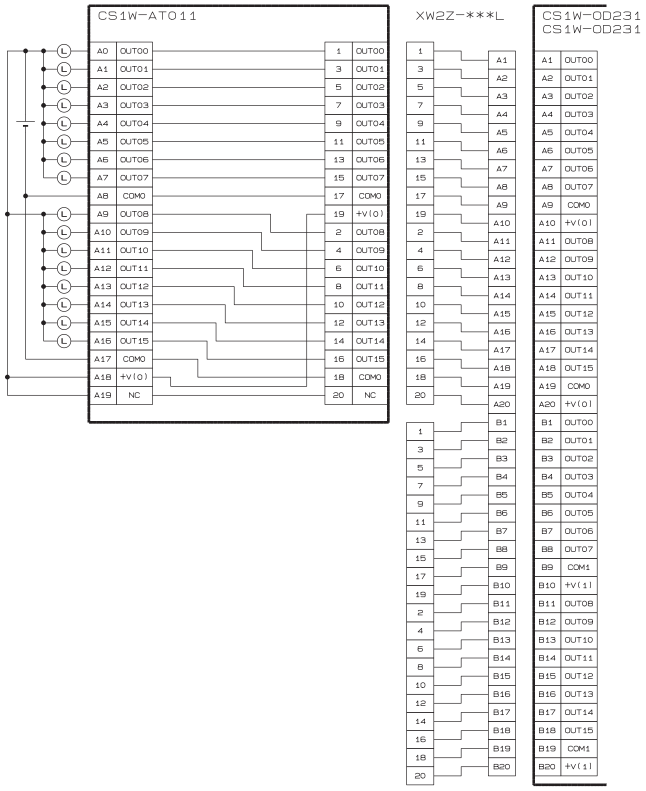

〈16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ
形CS1W-OD211または形CJ1W-OD211への接続〉



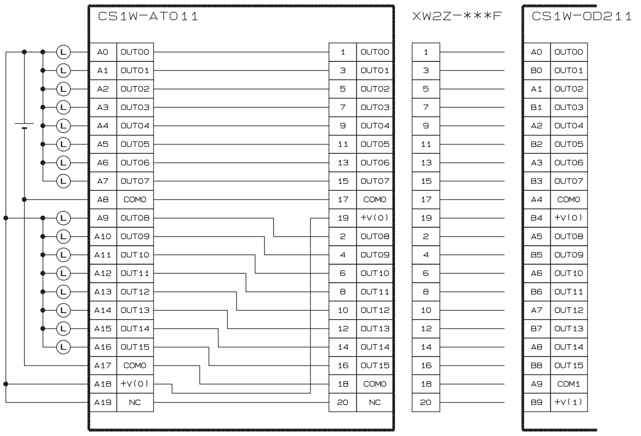
## ●16点トランジスタ出力ユニット形C500-OD411の変換

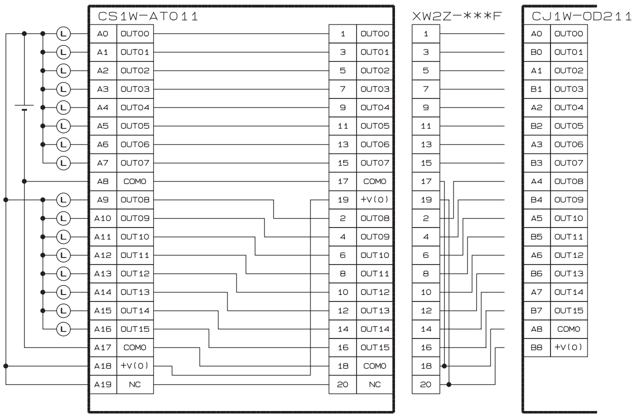
〈32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ
形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231への接続〉



注．端子A19に追加で配線が必要（端子A18と短絡）。

〈16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ
形CS1W-OD211または形CJ1W-OD211への接続〉





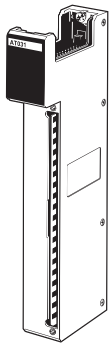
注．端子A19に追加で配線が必要（端子A18と短絡）。

32点DC入力変換ユニット

# 形CS1W-AT031

オープン価格

## 32点DC入力ユニットをDC入力に変換します。




※ 形式名表示シールは橙色です。（橙色は入力変換ユニットを意味します。）

## 概要

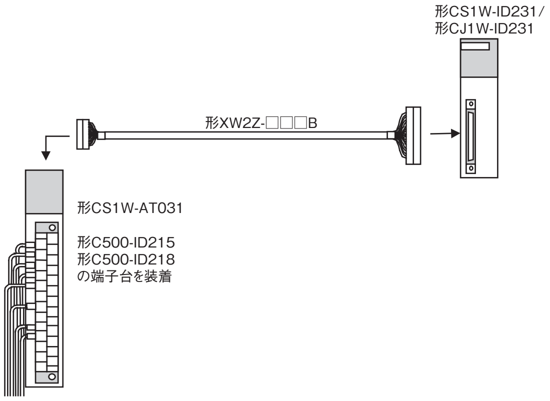
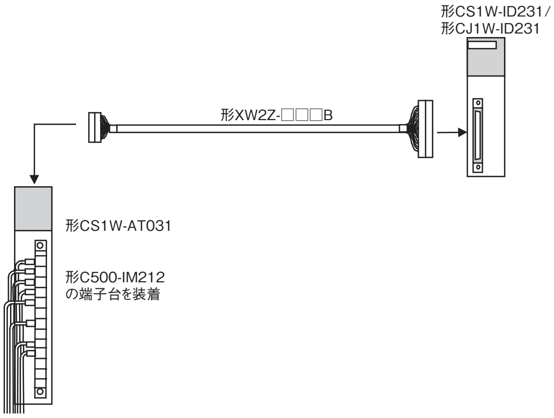
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点 DC入力 | 形C500-ID215<br>形C500-ID218 | 形XW2Z-□□□B | 32点DC入力ユニット・<br>コネクタタイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID231または<br>形CJ1W-ID231 |
| 32点 AC/DC入力<br>注．DC入力のみ可能。<br>AC入力時は使用不可。 | 形C500-IM212 | 形XW2Z-□□□B | 32点DC入力ユニット・<br>コネクタタイプ | 入力ユニット<br>形CS1W-ID231または<br>形CJ1W-ID231 |

## 変換機能

なし（DCのまま）

注．AC/DC入力ユニットを変換するときは、DC入力の場合のみ変換可能（AC入力の場合は変換できず、使用できません）。

## 接続形態

| 形C500-ID215／ID218（DC入力ユニット） | 形C500-IM212（AC/DC入力ユニット）<br>注. DC入力時のみ使用可能 |
|---|---|
|  |  |

# 仕様

## ●32点DC入力ユニットを変換

### 形C500-ID215を変換
### 〈形C500-ID215→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-ID215 | 形CS1W-AT031 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 160mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電圧：DC12～24VからDC24Vに変更。入力電流：10mAが6mA/4.1mAに変更。100%同時ON温度：55℃から40℃に変更。
コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。

### 形C500-ID218を変換
### 〈形C500-ID218→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-ID218 | 形CS1W-AT031 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 260mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電圧：DC12～24VからDC24Vに変更。入力電流：10mAが6mAに変更。100%同時ON温度：55℃から40℃に変更。
コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。

## ●32点AC/DC入力ユニットを変換

### 形C500-IM212を変換
### 〈形C500-IM212→富士通コネクタタイプへの接続〉

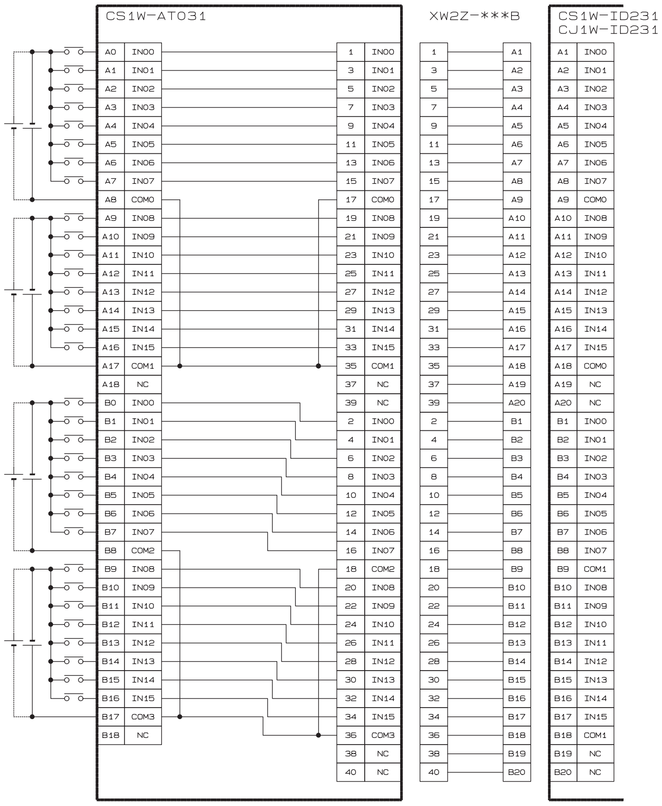
| 項目　形式 | | 形C500-IM212 | 形CS1W-AT011 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC/DC12～24V<br>注．ただし、DCのみ使用可能。 | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電圧：AC/DC12～24Vが、DC24Vに変更。入力電流：10mAから6 mA /4.1mAに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。
OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

# 配線

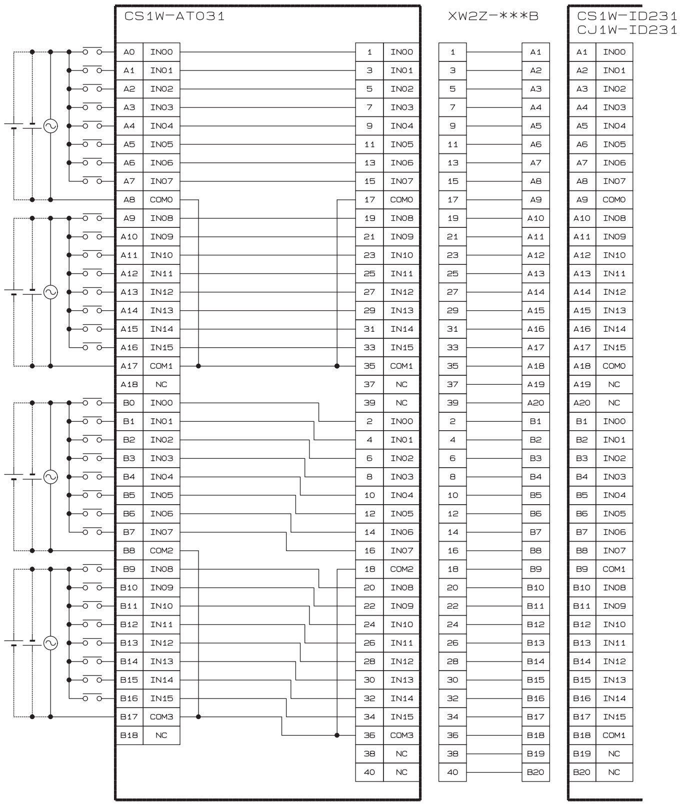
## ●32点DC入力ユニット形C500-ID215/ID218の変換

〈32点DC入力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231への接続〉




## ●32点AC/DC入力ユニット形C500-IM212の変換

〈32点DC入力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231への接続〉

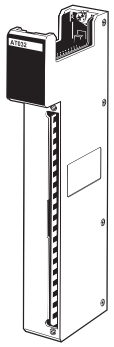


32点トランジスタ出力変換ユニット

# 形CS1W-AT032

オープン価格

**32点トランジスタ出力ユニットを、**
**32点トランジスタ出力ユニットに変換します。**



※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

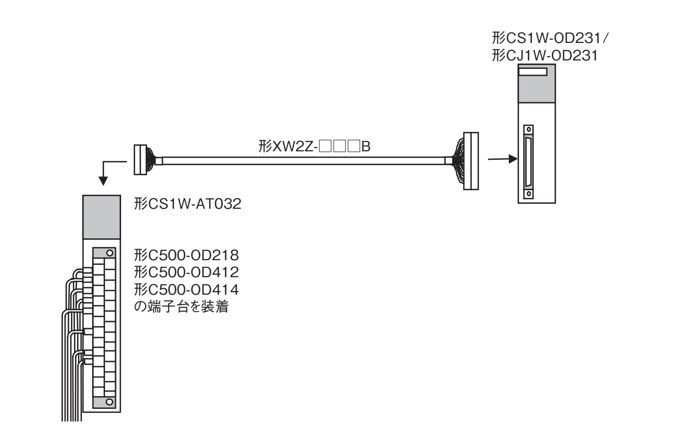
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点トランジスタ出力 | 形C500-OD218<br>形C500-OD412<br>形C500-OD414 | 形XW2Z-□□□B | 32点トランジスタ出力<br>ユニット･コネクタタイプ | 形CS1W-OD231<br>または<br>形CJ1W-OD231 |

## 変換機能

なし（DCのまま）

## 接続形態



# 仕様

## ●32点トランジスタ出力ユニットの変換

### 形C500-OD218の変換
### 〈形C500-OD218→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-OD218 | 形CS1W-AT032 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 0.3A<br>（2.4A/コモン、4.8A/ユニット） | 同上 | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.5V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 230mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：0.3Aから0.5Aに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

### 形C500-OD412を変換
### 〈形C500-OD412→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-OD412 | 形CS1W-AT032 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～48V 0.3A<br>（4.8A/ユニット） | 同上 | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.5V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 32点/コモン、1回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 230mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：0.3Aから0.5Aに変更。電圧範囲：12～48Vから12～24Vに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。
コモン数：32点/コモンから16点/コモンに変更。端子A18、B18に、DC電源＋側を接続することが必要。

### 形C500-OD414を変換
### 〈形C500-OD414→富士通コネクタタイプへの接続〉

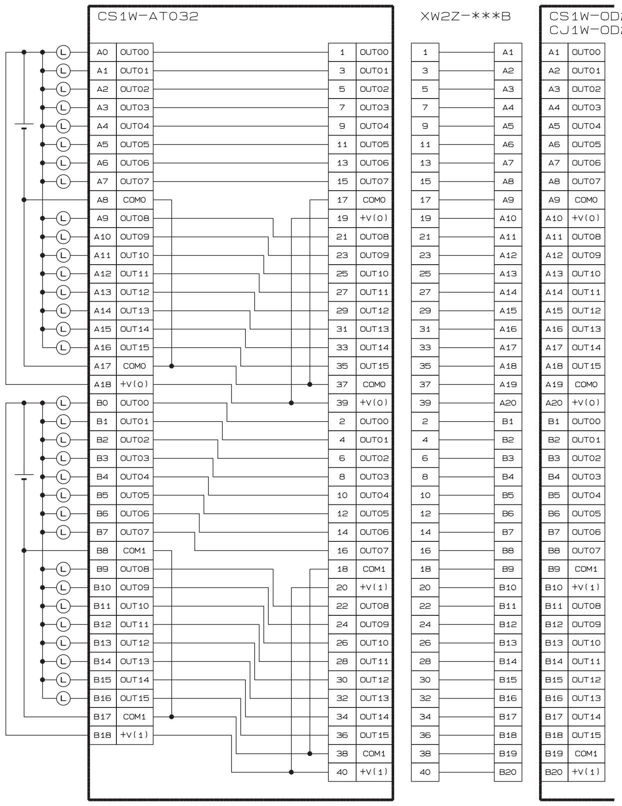
| 項目　形式 | | 形C500-OD414 | 形CS1W-AT032 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～48V 0.3A<br>（2.4A/コモン、4.8A/ユニット） | 同上 | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.5V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 230mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：0.3Aから0.5Aに変更。電圧範囲：12～48Vから12～24Vに変更。端子A18に追加で配線が必要。

# 配線

## ●32点トランジスタ出力ユニット形C500-OD218/OD414の変換

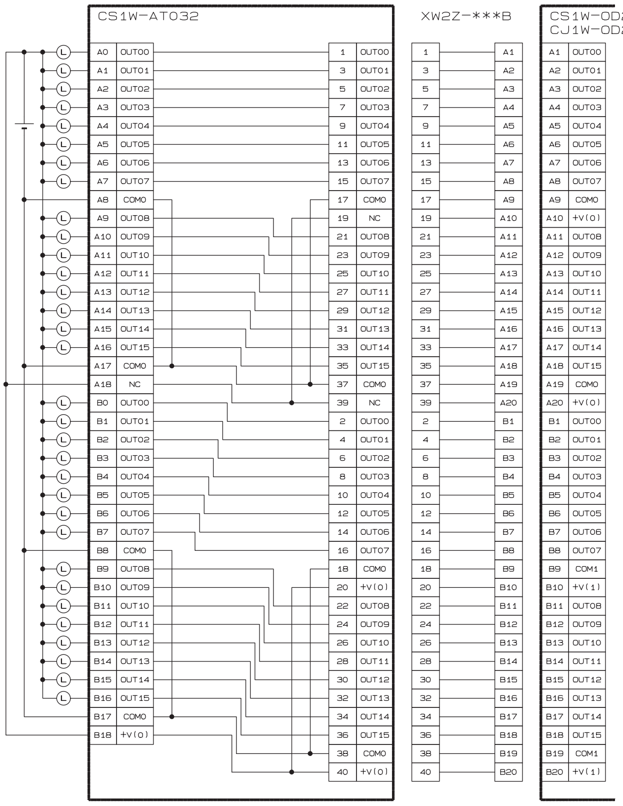
〈32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231への接続〉




注.　形C500-OD412の端子台配線を変換するときは、端子A18、B18に、DC電源＋側を接続することが必要。

## ●32点トランジスタ出力ユニット形C500-OD412の変換

〈32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231への接続〉




注.　端子A18に追加で配線が必要。

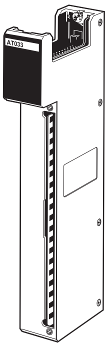
omron

32点トランジスタ出力(PNP)変換ユニット

# 形CS1W-AT033

オープン価格

## トランジスタ出力(PNP)ユニットを、32点トランジスタ出力(PNP)ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは黄色です。(黄色は出力変換ユニットを意味します。)

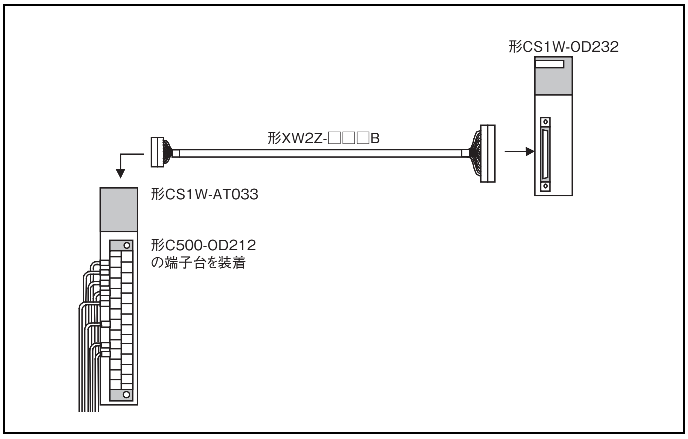
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点トランジスタ(PNP)出力 | 形C500-OD212 | 形XW2Z-□□□B | 32点トランジスタ出力(PNP)<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD232<br>注.形CJ1W-OD232は不可。 |

## 変換機能

なし(DCのまま)

## 接続形態



# 仕様

## ●32点トランジスタ出力(PNP)ユニットを変換

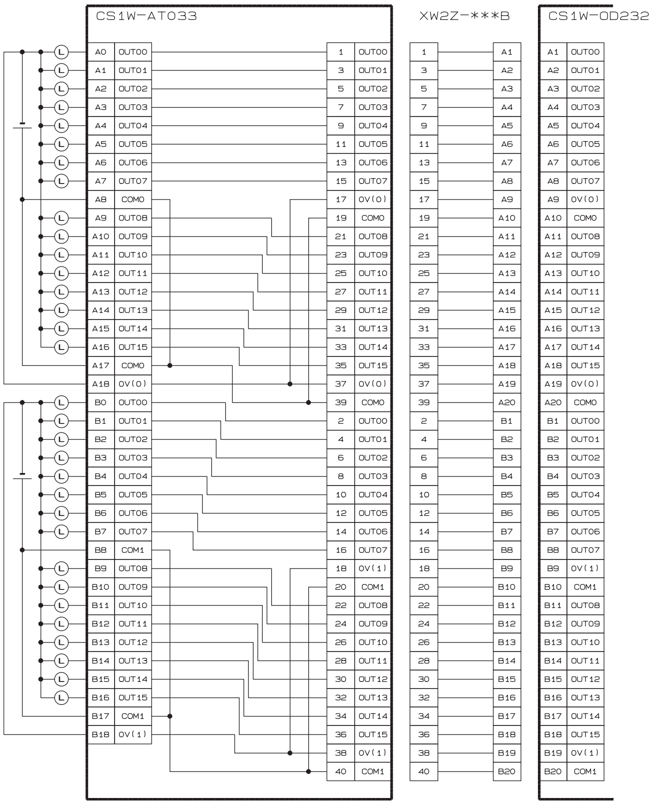
形C500-OD212を変換
〈形C500-OD212→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-OD212 | 形CS1W-AT033 | 形CS1W-OD232 | 形CJ1W-OD232 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | |
| 最大開閉能力 | | DC12～24V 0.3A(2.4A/コモン、4.8A/ユニット) | 同上 | DC24V 0.5A(2.5A/コモン、5A/ユニット) | |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | |
| 残留電圧 | | 1.5V以下 | 同上 | 1.5V以下 | |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 不可 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | |
| 内部消費電流 | | DC5V 230mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | |

変更点：最大開閉能力：0.3Aから0.5Aに変更。電圧範囲：12～48Vから24Vに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

# 配線

## ●32点トランジスタ出力(PNP)ユニットを変換



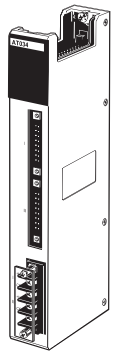
OMRON

32点DC入出力変換ユニット

# 形CS1W-AT034

オープン価格

## 32点DC入力ユニットを、DC入力ユニットに変換します。または、トランジスタ出力を、32点トランジスタ出力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは青色です。（青色は入出力変換ユニットを意味します。）

## 概要

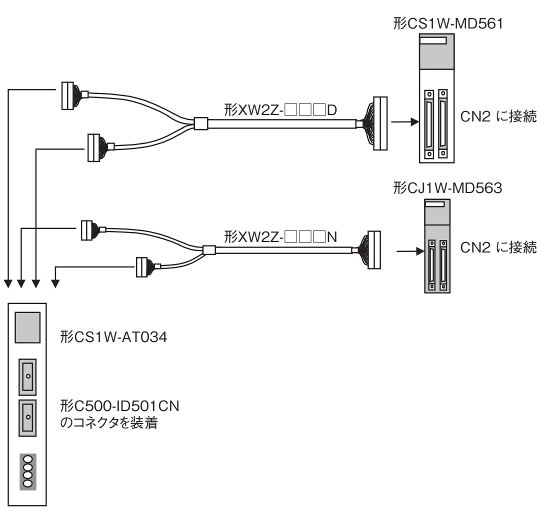
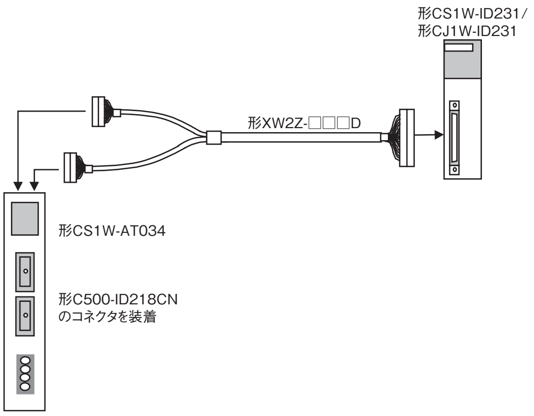
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点DC入力 | 形C500-ID501CN | 形XW2Z-□□□D | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CS1W-MD561<br>注. 入力部CCN2に接続 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CJ1W-MD563<br>注. 入力部CN2に接続 |
| | 形C500-ID218CN | 形XW2Z-□□□D | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-ID231または<br>形CJ1W-ID231 |
| 32点トランジスタ出力 | 形C500-OD501CN | 形XW2Z-□□□L | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CS1W-MD561<br>注. 出力部CN1に接続 |
| | | 形XW2Z-□□□N | 32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ | 入出力ユニット<br>形CJ1W-MD563<br>注. 出力部CN1に接続 |
| | 形C500-OD415CN | 形XW2Z-□□□L | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |

## 変換機能

なし（DCのまま）

# 接続形態

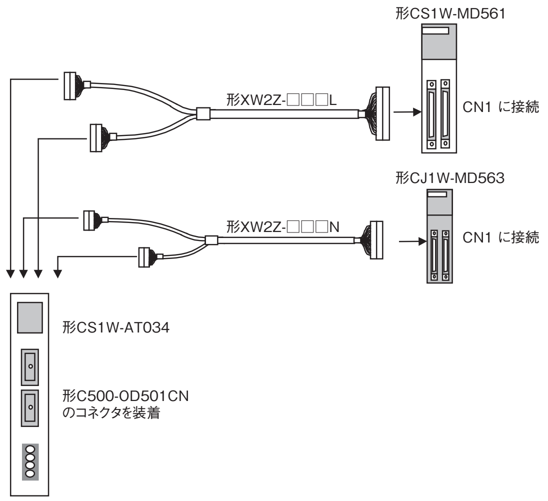
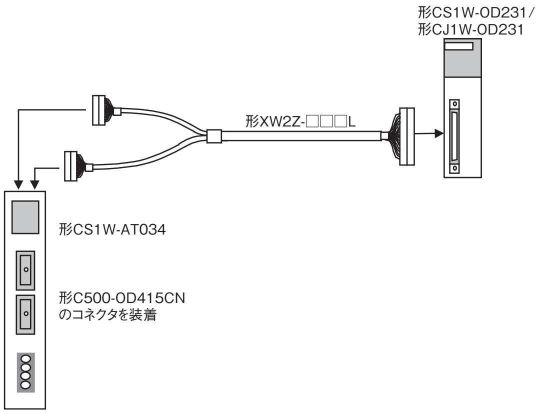
## ●32点DC入力ユニットを変換

| 形C500-ID501CN（DC入力ユニット） | 形C500-ID218CN（DC入力ユニット） |
|---|---|
|  |  |





## ●32点トランジスタ出力を変換

| 形C500-OD501CN（トランジスタ出力ユニット） | 形C500-OD415CN（トランジスタ出力ユニット） |
|---|---|
|  |  |

# 仕様

## ●32点DC入力ユニットを変換

### 形C500-ID501CNを変換
### 〈形C500-ID501CN→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-ID501CN | 形CS1W-AT034 | 形CS1W-MD561 | 形CJ1W-MD563 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 入力部CN2：32点 | 入力部CN2：32点 |
| 入力電圧 | | DC5V | 同上 | DC5V | DC5V |
| 入力電流 | | 3.5mA TYP.（DC5V） | 同上 | 3.5mA TYP.（DC5V） | 3.5mA TYP.（DC5V） |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC3V | 同上 | 最小DC3.0V | 最小DC3.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC1V | 同上 | 最大DC1.0V | 最大DC1.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） |
| 外部接続 | | 24Pコネクタ×2個＋端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 190mA以下 |

変更点：コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

### 形C500-ID218CNを変換
### 〈形C500-ID218CN→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-ID218CN | 形CS1W-AT034 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.（DC24V） | 同上 | 6mA TYP.（DC24V） | 4.1mA TYP.（DC24V） |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） | 8.0ms以下（PCシステム設定によって0～32ms切替可能） |
| 外部接続 | | 24Pコネクタ×2個＋端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電圧：DC12～24VからDC24Vに変更。ON電圧：10.2Vが15.4V/19.0Vに変更。OFF電圧：3.0Vが5Vに変更。
　　　　コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

## ●32点トランジスタ出力ユニットの変換

### 形C500-OD501CNの変換
### 〈形C500-OD501CN→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　　形式 | | 形C500-OD501CN | 形CS1W-AT034 | 形CS1W-MD561 | 形CJ1W-MD563 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 出力部CN1:32点 | 出力部CN1:32点 |
| 最大開閉能力 | | DC5V 35mA | 同上 | DC5V 35mA(560mA/コモン、1.12A/ユニット) | DC5V 35mA(560mA/コモン、1.12A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 0.4V以下 | 同上 | 0.4V以下 | 0.4V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.2ms以下 | 0.2ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 0.3ms以下 | 0.3ms以下 |
| 外部接続 | | 24Pコネクタ×2個＋端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 | 富士通製コネクタ×2個の内1個を使用 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 250mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 190mA以下 |

### 形C500-OD415CNの変換
### 〈形C500-OD415CN→富士通コネクタタイプへの接続〉

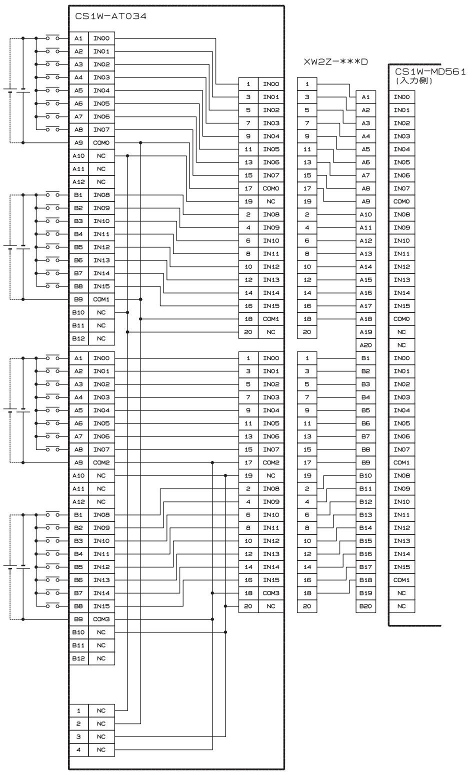
| 項目　　形式 | | 形C500-OD415CN | 形CS1W-AT034 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 変換回路なし | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | DC12～48V 0.3A(2.4A/コモン、4.8A/ユニット) | 同上 | DC12～24V 0.5A(2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A(2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.5V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 24Pコネクタ×2個＋端子台 | 同上 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 16点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 230mA以下 | 同上 | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：0.3Aが0.5Aに変更。電圧範囲：12～48Vが12～24Vに変更。

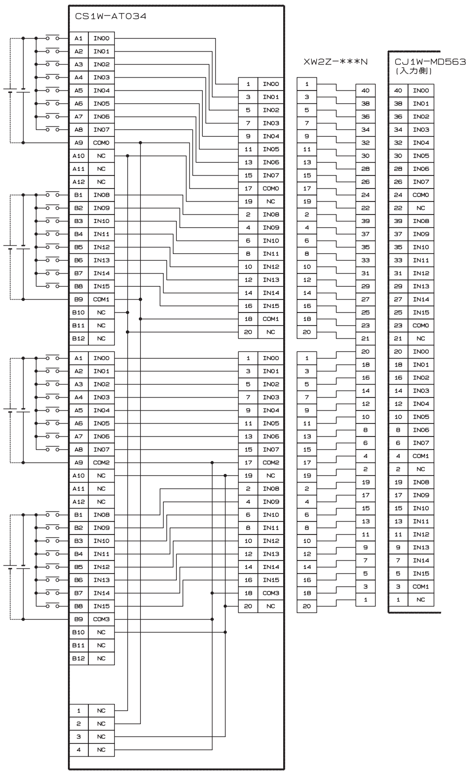
## 配線

### ●32点DC入力ユニット形C500-ID501CNを変換

〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CS1W-MD561への接続〉

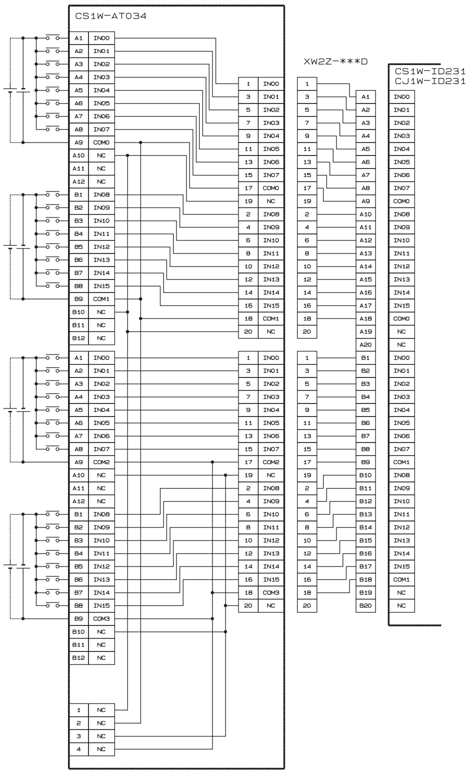



〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CJ1W-MD563への接続〉



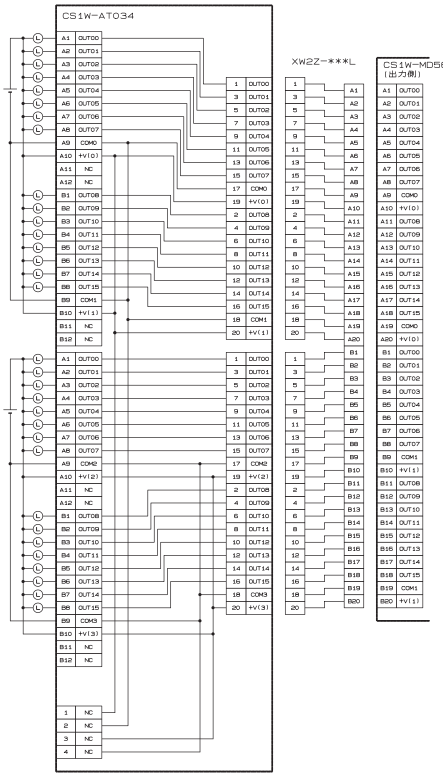

### ●32点DC入力ユニット形C500-ID218CNを変換

〈32点DC入力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231への接続〉

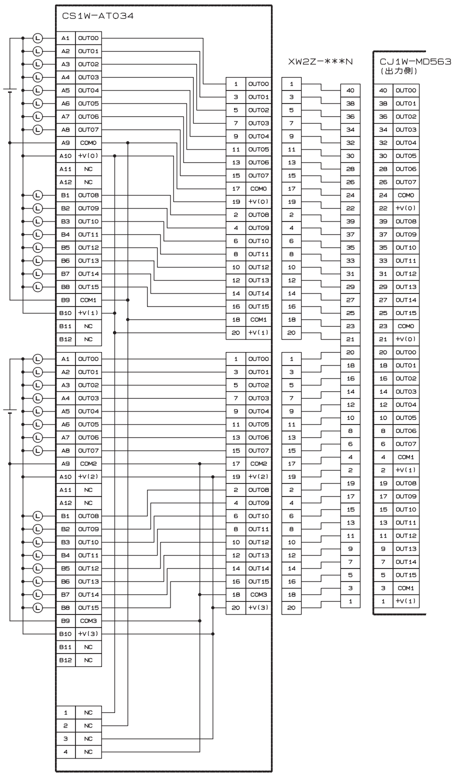


## ●32点トランジスタ出力ユニット形C500-OD501CNの変換

〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CS1W-MD561への接続〉

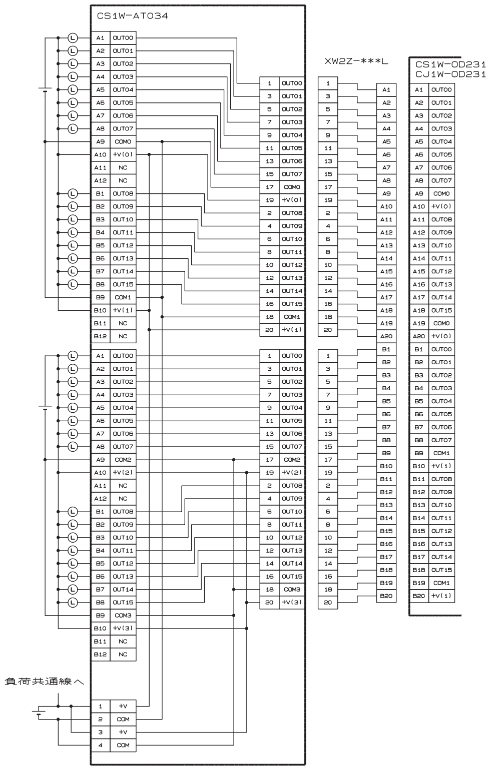



〈32点/32点TTL入出力ユニット・コネクタタイプ
形CJ1W-MD563への接続〉




## ●32点トランジスタ出力ユニット形C500-OD415CNの変換

〈32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231への接続〉

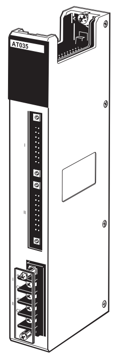


32点DC入出力変換ユニット

# 形CS1W-AT035

オープン価格

## 16点DC入力ユニット/16点トランジスタ出力ユニットを、DC入力/トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは青色です。（青色は入出力変換ユニットを意味します。）

## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点DC入力/16点<br>トランジスタ出力 | 形C500-MD211CN | 入力：形XW2Z-□□□D、<br>出力：形XW2Z-□□□L<br>を各1本 | 32点DC入力/32点<br>トランジスタ出力<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-MD261<br>または<br>形CJ1W-MD261 |

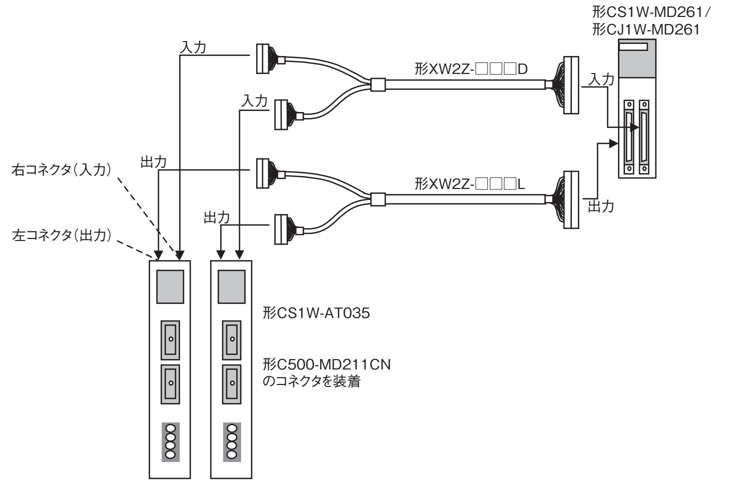
## 変換機能

なし（DCのまま）

## 接続形態

### ●16点DC入力/16点トランジスタ出力を変換

形C500-MD211CN（DC入力/トランジスタ出力ユニット）



# 仕様

## ●16点DC入力/16点トランジスタ出力ユニットの変換

形C500-MD211CNの変換
〈形C500-MD211CN→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　　形式 | | 形C500-MD211CN | | 形CS1W-AT035 | 形CS1W-MD261/形CJ1W-MD261 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 入力16点 | 出力16点 | 変換回路なし | 入力32点 | 出力32点 |
| 入力電圧 | | DC12～24V | − | 同上 | DC24V | − |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(DC24V) | − | 同上 | CS: 6mA TYP.(DC24V)<br>CJ: 4.1mA TYP.(DC24V) | − |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC10.2V | − | 同上 | CS: 最小DC15.4V<br>CJ: 最小DC19.0V | − |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | − | 同上 | 最大DC5V | − |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | − | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | − |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | − | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | − |
| 最大開閉能力 | | − | DC12～24V 0.3A(2.4A/コモン、4.8A/ユニット) | 同上 | − | DC12～24V 0.3A(1.6A/コモン、3.2A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | − | 0.1mA以下 | 同上 | − | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | − | 1.5V以下 | 同上 | − | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | − | 0.2 ms以下 | 同上 | − | 0.5 ms以下 |
| | OFF応答時間 | − | 0.3ms以下 | 同上 | − | 1.0ms以下 |
| 外部接続 | | 24Pコネクタ×2個<br>＋端子台 | | 同上 | 富士通製コネクタ<br>×2個 | |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 8点/コモン、2回路 | 同上 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | − | あり | 同上 | − | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 260mA以下 | | 同上 | CS: DC5V 270mA以下<br>CJ: DC5V 140mA以下 | |

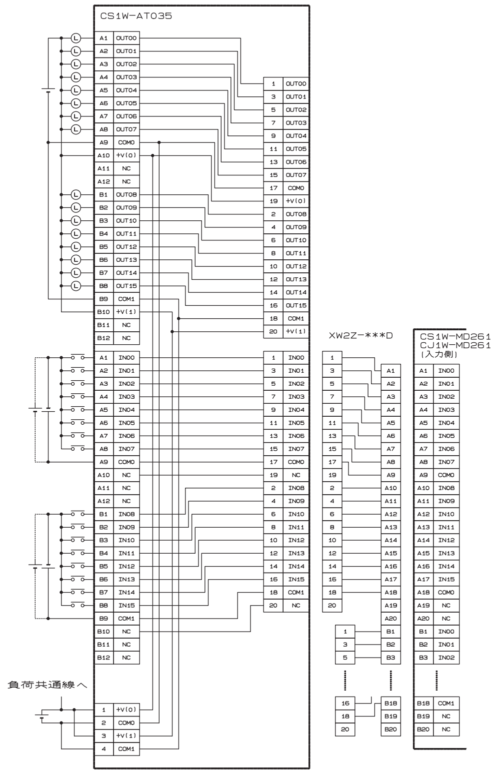
変更点：入力電圧：DC12～24VからDC24Vに変更。入力部：入力電流10mAが6mA/4.1mAに変更。ON電圧：10.2Vから15.4V/19.0Vに変更。OFF電圧：3Vから5Vに変更。
コモン数：8点/コモンから、16点/コモンに変更。出力部のコモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。

# 配線

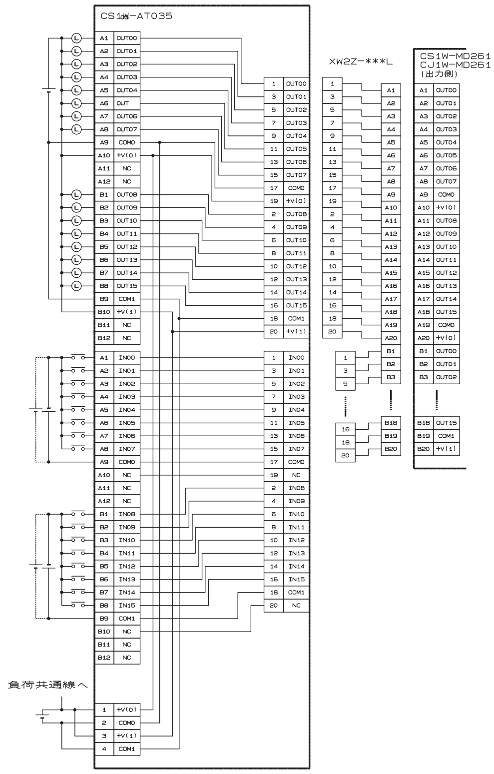
## ●16点DC入力/16点トランジスタ出力ユニット形C500-MD211CNの変換

〈32点DC入力/32点トランジスタ出力ユニット形CS1W-MD261/形CJ1W-MD261への接続〉

**入力側**




**出力側**

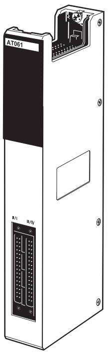


64点DC入出力変換ユニット

# 形CS1W-AT061

オープン価格

## 64点DC入力ユニットを、DC入力ユニットに変換します。または、トランジスタ出力ユニットを、64点トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは青色です。(青色は入出力変換ユニットを意味します。)

注. 変換元ユニットに接続されているコネクタを、直接変換先ユニットに接続して使用することができます。
この場合、端子台変換ユニット形CS1W-AT061および接続ケーブル形XW2Z-□□□Bは必要ありません。
設置上の問題等で変換先ユニットに直接コネクタ接続ができない場合に限り、端子台変換ユニットおよび接続ケーブルをご使用ください。

## 概要

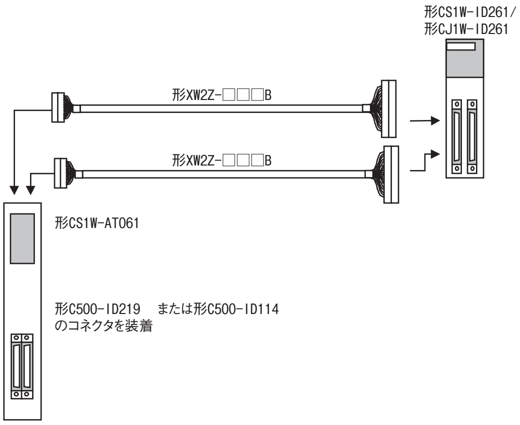
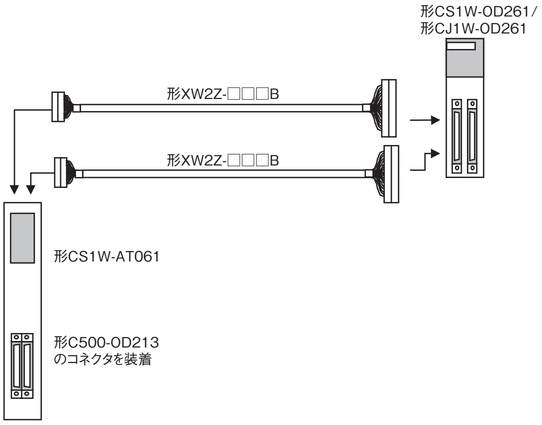
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 64点DC入力 | 形C500-ID219<br>(DC24V入力) | 形XW2Z-□□□B<br>×2本 | 64点コネクタタイプ<br>(32点コネクタ×2)･DC入力 | 入力ユニット<br>形CS1W-ID261または<br>形CJ1W-ID261 |
| | 形C500-ID114<br>(DC12V入力) | | | |
| 64点トランジスタ出力 | 形C500-OD213 | 形XW2Z-□□□B<br>×2本 | 64点コネクタタイプ(32点コネクタ×2)･トランジスタ出力 | 出力ユニット<br>形CS1W-OD261または<br>形CJ1W-OD261 |

注. 形C500-ID114はDC12V入力です。形CS1W-ID261、形CJ1W-ID261はDC24V入力となります。

## 変換機能

なし(DCのまま)

## 接続形態

| 64点DC入力ユニットを変換 | 64点トランジスタ出力ユニットに変換 |
|---|---|
|   |   |

# 仕様

## ●64点DC入力ユニットを変換

### 形C500-ID219の変換
〈形C500-ID219→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-ID219 | 形CS1W-AT061 | 形CS1W-ID261 | 形CJ1W-ID261 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 64点 | 変換回路なし | 64点 | 64点 |
| 入力電圧 | | DC24V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 7mA TYP.(DC24V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC16.0V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC5.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 40Pコネクタ×2個 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個 | 富士通製コネクタ×2個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、8回路 | 同上 | 16点/コモン、4回路 | 16点/コモン、4回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 340mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電流：7mAから6mA/4.1mAに変更。100%同時ON温度：38℃から36℃に変更。ON電圧：16.0Vから15.4V/19.0Vに変更。
コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。
形CS1W-AT061の向かって左側のコネクタは、向きが変換対象ユニットとは逆向きになっていますので注意してください。

### 形C500-ID114の変換
〈形C500-ID114→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　形式 | | 形C500-ID114 | 形CS1W-AT061 | 形CS1W-ID261 | 形CJ1W-ID261 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 64点 | 変換回路なし | 64点 | 64点 |
| 入力電圧 | | DC12V | 同上 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 7mA TYP.(DC12V) | 同上 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小DC8.0V | 同上 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大DC3.0V | 同上 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 1.5ms以下 | 同上 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 40Pコネクタ×2個 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個 | 富士通製コネクタ×2個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、8回路 | 同上 | 16点/コモン、4回路 | 16点/コモン、4回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 340mA以下 | 同上 | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

変更点：入力電流：7mAから4.1mAに変更。コモン数：8点/コモンから32点/コモンに変更。
形CS1W-AT061の向かって左側のコネクタは、向きが変換対象ユニットとは逆向きになっていますので注意してください。
注．形C500-ID114はDC12V入力です。形CS1W-ID261、形CJ1W-ID261はDC24V入力となります。

## ●64点トランジスタ出力ユニットの変換

### 形C500-OD213の変換
〈形C500-OD213→富士通コネクタタイプへの接続〉

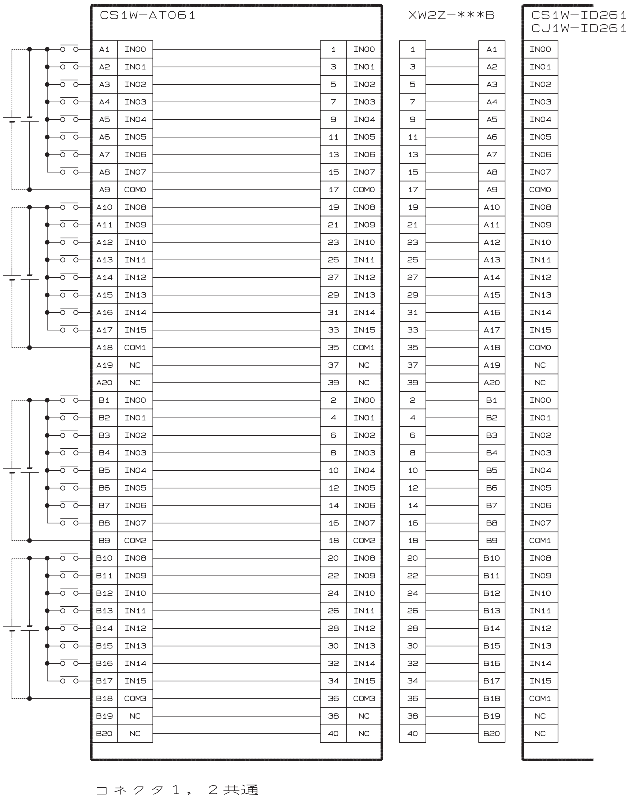
| 項目　形式 | | 形C500-OD213 | 形CS1W-AT061 | 形CS1W-OD261 | 形CJ1W-OD261 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 64点 | 変換回路なし | 64点 | 64点 |
| 最大開閉能力 | | DC4.5V 16mA～DC26.4V 100mA(800mA/コモン、6.4A/ユニット) | 同上 | DC24V 0.3A (1.6A/コモン、6.4A/ユニット) | DC12～24V 0.3A (1.6A/コモン、6.4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 0.1mA以下 | 同上 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 0.4V以下 | 同上 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 0.2 ms以下 | 同上 | 0.5ms以下 | 0.5ms以下 |
| | OFF応答時間 | 0.3ms以下 | 同上 | 1.0ms以下 | 1.0ms以下 |
| 外部接続 | | 40Pコネクタ×2個 | 同上 | 富士通製コネクタ×2個 | 富士通製コネクタ×2個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、8回路 | 同上 | 16点/コモン、4回路 | 16点/コモン、4回路 |
| ヒューズ | | あり | 同上 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 460mA以下 | 同上 | DC5V 390mA以下 | DC5V 170mA以下 |

変更点：残留電圧：0.4Vから1.5Vに変更。電圧範囲：5～24Vから12～24Vに変更。コモン数：8点/コモンから16点/コモンに変更。
最大開閉能力：16mA/4.5V～100mA/26.4Vから0.3Aに変更。
形CS1W-AT061の向かって左側のコネクタは、向きが変換対象ユニットとは逆向きになっていますので注意してください。

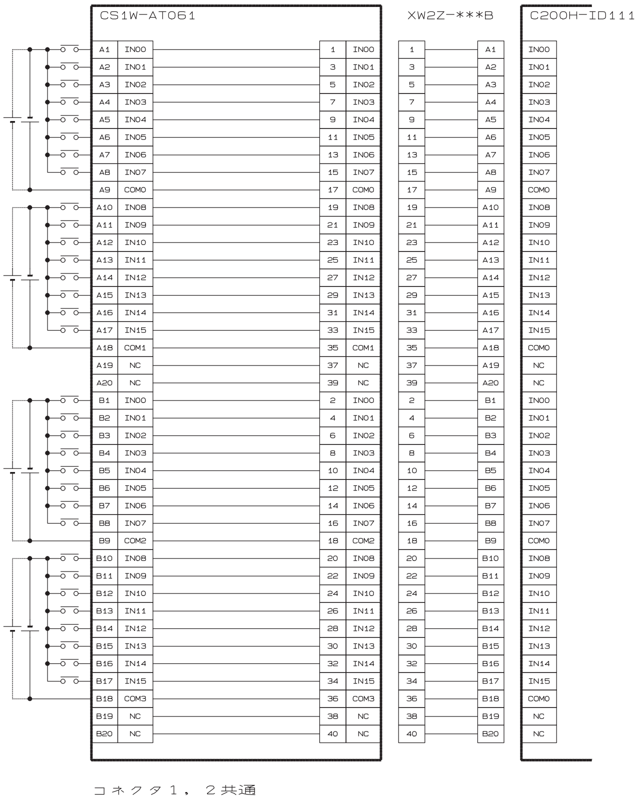
# 配線

## ●64点DC入力ユニットを変換(以下を2本配線します。)

〈形C500-ID219の変換〉

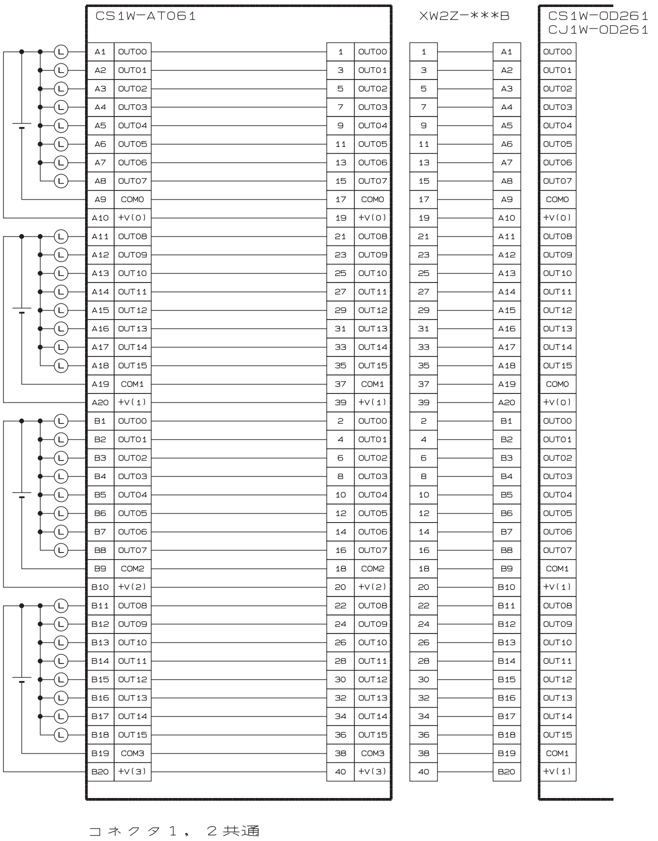



〈形C500-ID114の変換〉




## ●64点トランジスタ出力ユニットの変換(以下を2本配線します。)

〈形C500-OD213の変換〉



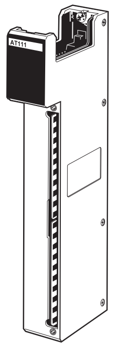

注. 形CS1W-AT061の向かって左側のコネクタは、向きが変換対象ユニットとは逆向きになっていますので注意してください。

16点AC100V入力変換ユニット

# 形CS1W-AT111

オープン価格

## 16点AC100V入力ユニットを DC入力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは橙色です。（橙色は入力変換ユニットを意味します。）

## 概要

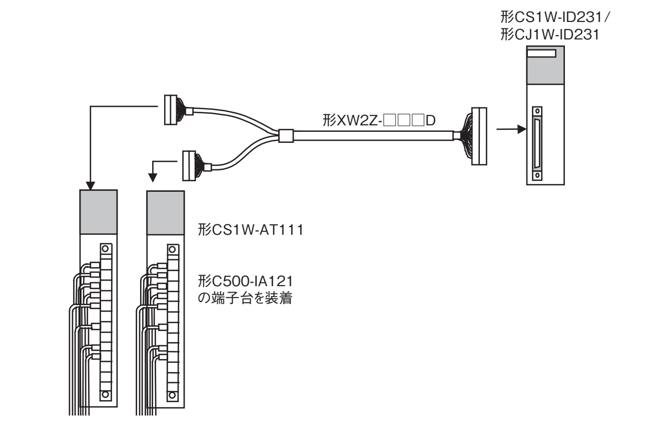
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点AC100V入力 | 形C500-IA121 | 形XW2Z-□□□D | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ | 形CS1W-ID211または形CJ1W-ID211 |

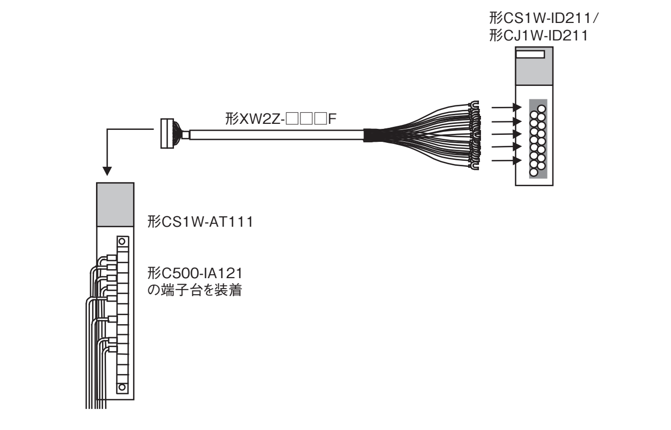
## 変換機能

AC100V入力をDC入力に変換
（ただし、DC24V電源を追加で供給することが必要）

## 接続形態

| 32点コネクタタイプへの接続時 | 16点端子台タイプへの接続時 |
|---|---|



# 仕様

## ●16点AC100V入力ユニットを変換

### 形C500-IA121の変換

### 〈形C500-IA121→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-IA121 | 形 CS1W-AT111 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC100～120V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC100V) | 同左 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC60V | 同左 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大AC20V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 120mA以下(7.3mA×ON点数) | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

### 〈形C500-IA121→端子台タイプへの接続〉

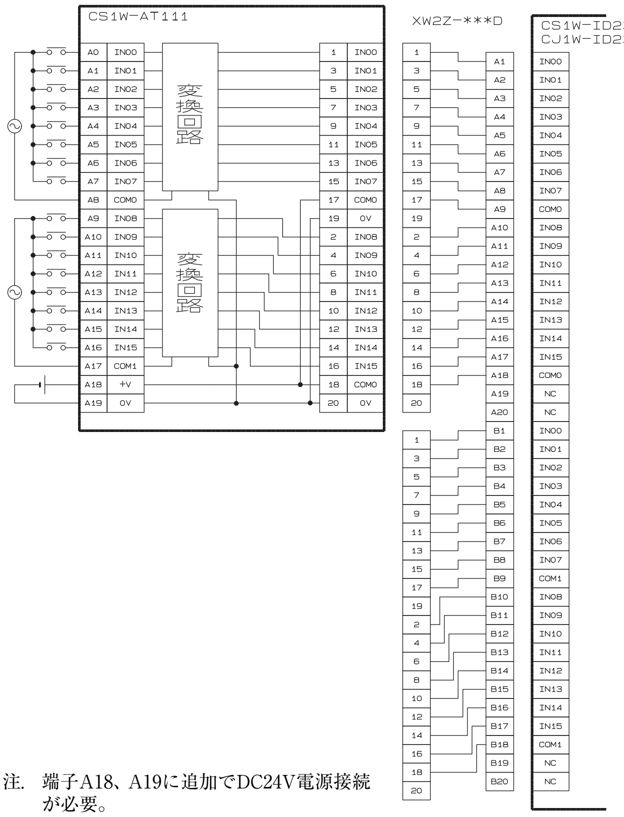
| 項目 | 形式 | 形C500-IA121 | 形 CS1W-AT111 | 形CS1W-ID211 | 形CJ1W-ID211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 入力電圧 | | AC100～120V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC100V) | 同左 | 7mA TYP.(DC24V) | 7mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC60V | 同左 | 最小DC14.4V | 最小DC14.4V |
| | OFF電圧 | 最大AC20V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 120mA以下(7.3mA×ON点数) | DC5V 100mA以下 | DC5V 80mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

# 配線

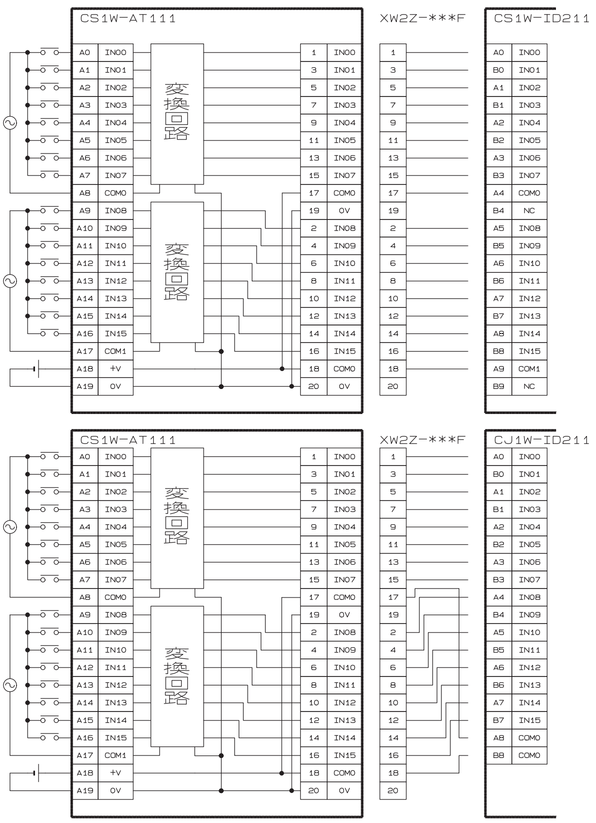
## ●16点AC100V入力ユニットを変換

### 〈コネクタタイプへの接続〉




注. 端子A18、A19に追加でDC24V電源接続が必要。

### 〈端子台タイプへの接続〉



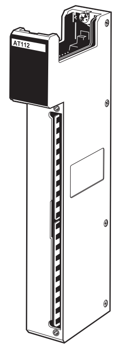

注. 端子A18、A19に追加でDC24V電源接続が必要。

16点AC200V入力変換ユニット

# 形CS1W-AT112

オープン価格

## 16点AC200V入力ユニットを DC入力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは橙色です。(橙色は入力変換ユニットを意味します。)

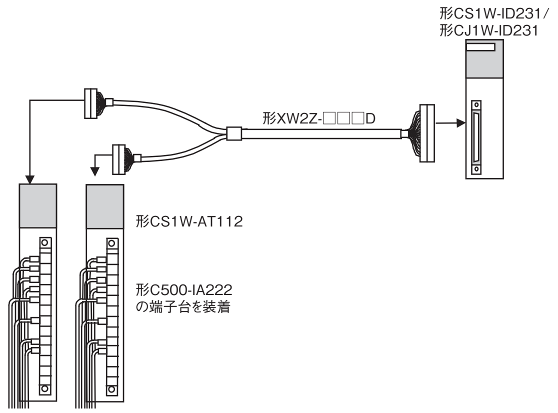
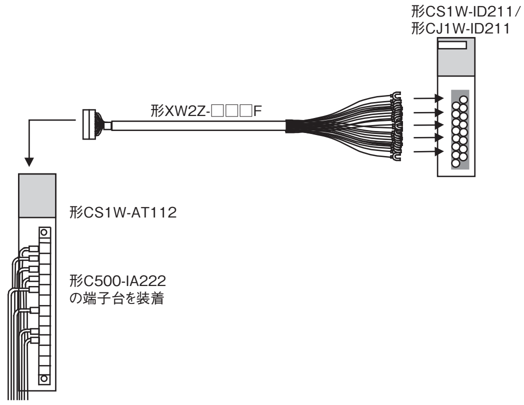
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点AC200V入力 | 形C500-IA222 | 形XW2Z-□□□D | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ | 形CS1W-ID211または形CJ1W-ID211 |

## 変換機能

AC200V入力をDC入力に変換
(ただし、DC24V電源を追加で供給することが必要)

## 接続形態

| 32点コネクタタイプへの接続時 | 16点端子台タイプへの接続時 |
|---|---|
|  |  |

# 仕様

## ●16点AC200V入力ユニットを変換

### 形C500-IA222の変換

### 〈形C500-IA222→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　　　　　　形式 | | 形C500-IA222 | 形 CS1W-AT112 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC200～240V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC200V) | 同左 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC120V | 同左 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大AC40V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 120mA以下(7.3mA×ON点数) | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

### 〈形C500-IA222→端子台タイプへの接続〉

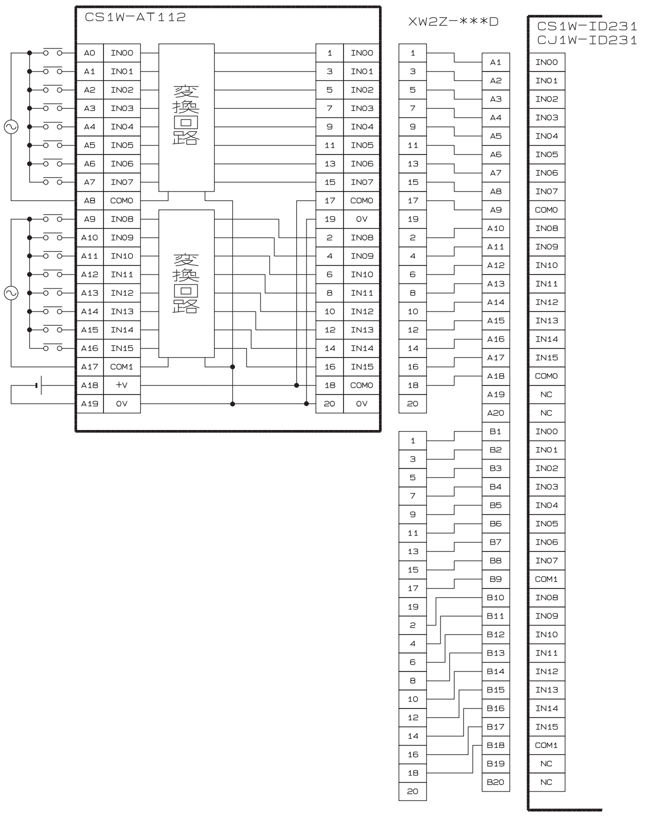
| 項目　　　　　　形式 | | 形C500-IA222 | 形 CS1W-AT112 | 形CS1W-ID211 | 形CJ1W-ID211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 入力電圧 | | AC200～240V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC200V) | 同左 | 7mA TYP.(DC24V) | 7mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC120V | 同左 | 最小DC14.4V | 最小DC14.4V |
| | OFF電圧 | 最大AC40V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 120mA以下(7.3mA×ON点数) | DC5V 100mA以下 | DC5V 80mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

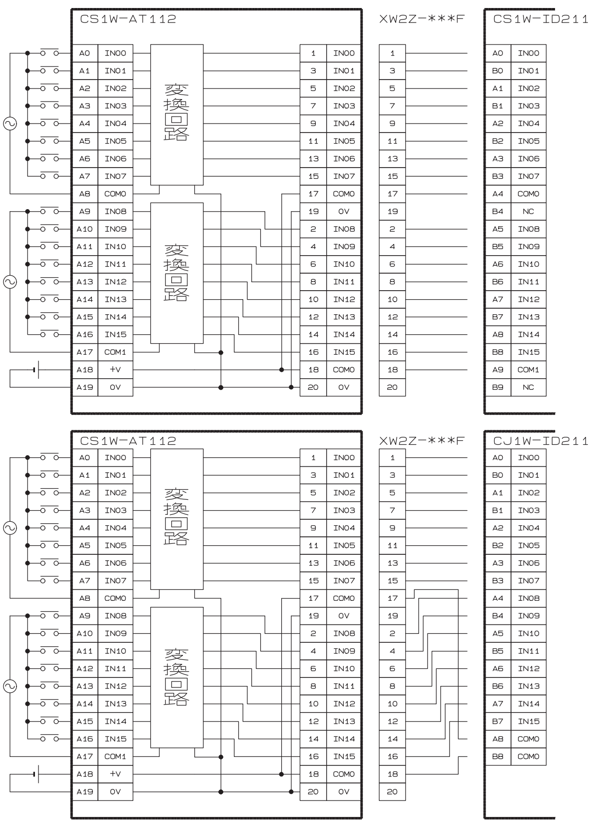
# 配線

## ●16点AC200V入力ユニットを変換

### 〈コネクタタイプへの接続〉



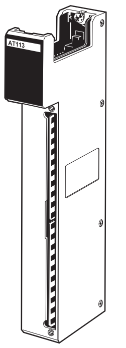

### 〈端子台タイプへの接続〉



# 16点リレー接点出力変換ユニット
# 形CS1W-AT113

オープン価格

## 16点リレー接点出力ユニットを<br>トランジスタ出力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

本形式に実装されているリレーには、リレー用ソケットが装着されていますので、
不良となったリレーを交換することができます。
リレーの交換方法につきましては、92ページをご参照ください。

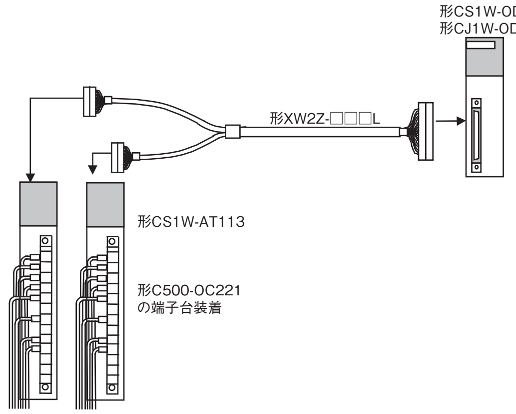
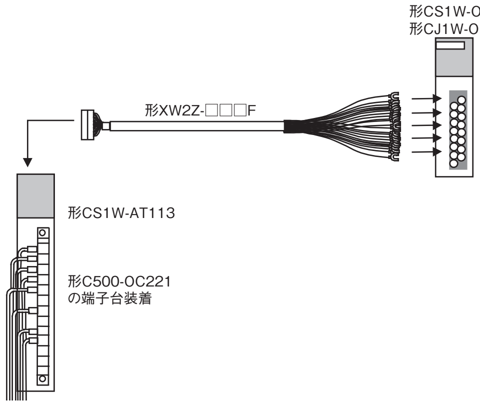
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点リレー接点出力 | 形C500-OC221 | 形XW2Z-□□□L | 32点トランジスタ出力<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点トランジスタ出力<br>ユニット・端子台タイプ | 形CS1W-OD211または<br>形CJ1W-OD211 |

## 変換機能

リレー接点出力をトランジスタ出力に変換

## 接続形態

| 32点コネクタタイプへの接続時 | 16点端子台タイプへの接続時 |
|---|---|
|  |  |

# 仕様

## ●16点リレー出力ユニットの変換

### 形C500-OC221の変換

〈形C500-OC221→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 形式 | | 形C500-OC221 | 形 CS1W-AT113 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 2A（COSφ＝1）、AC250V 0.5A（COSφ＝0.4）、DC24V 2A（8A/コモン、16A/ユニット） | 同左 | DC12～24V 0.5A（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | － | 同左 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | － | 同左 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 15 ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同左 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 100mA以下 | DC24V 140mA以下（8.7mA×ON点数） | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

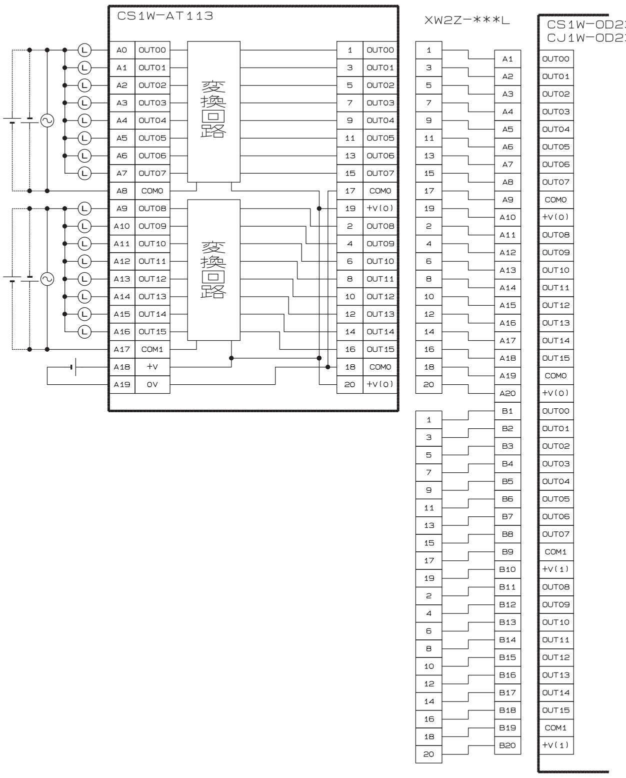
〈形C500-OC221→端子台タイプへの接続〉

| 項目 形式 | | 形C500-OC221 | 形 CS1W-AT113 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 2A（COSφ＝1）、AC250V 0.5A（COSφ＝0.4）、DC24V 2A（8A/コモン、16A/ユニット） | 同左 | DC12～24V 0.5A（4A/コモン、8A/ユニット） | DC12～24V 0.5A（5A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | － | 同左 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | － | 同左 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 15 ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | なし | 同左 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 100mA以下 | DC24V 140mA以下（8.7mA×ON点数） | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

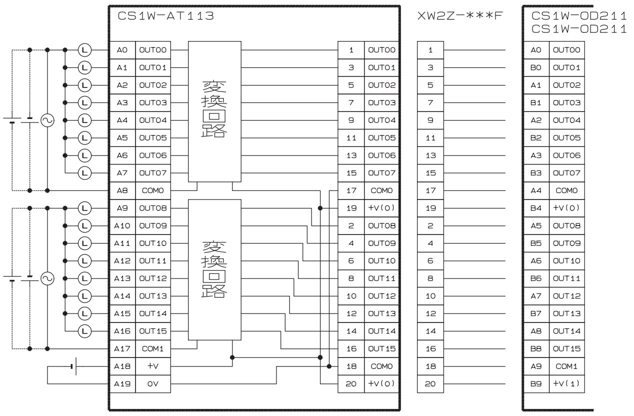
# 配線

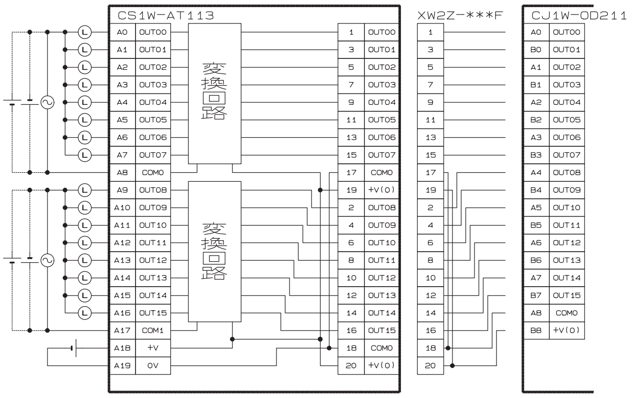
## ●16点リレー出力ユニットの変換

〈コネクタタイプへの接続〉




〈端子台タイプへの接続〉



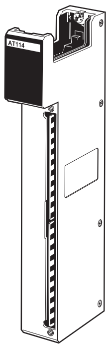



16点トライアック出力変換ユニット

# 形CS1W-AT114

オープン価格

## 16点トライアック出力ユニットを、トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

## 概要

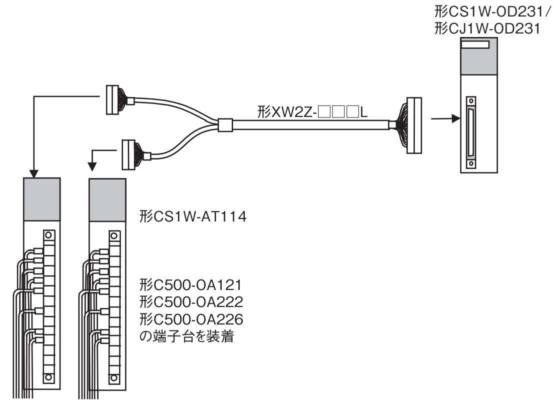
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点トライアック出力 | 形C500-OA121<br>形C500-OA222<br>形C500-OA226 | 形XW2Z-□□□L | 32点トランジスタ出力<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点トランジスタ出力<br>ユニット・端子台タイプ | 形CS1W-OD211または<br>形CJ1W-OD211 |

## 変換機能

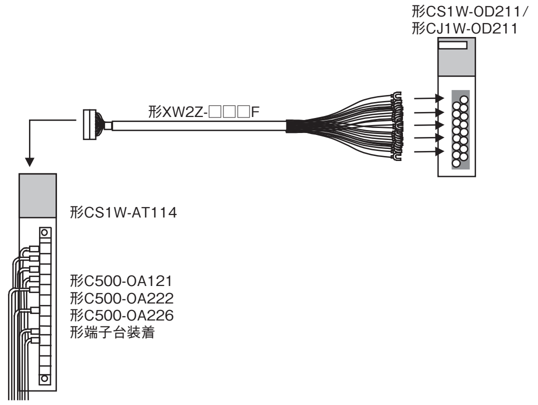
トライアック出力をトランジスタ出力に変換
（ただし、DC24V電源を追加で供給することが必要）

## 接続形態

32点コネクタタイプへの接続時




16点端子台タイプへの接続時




## 仕様

### ●16点トライアック出力ユニットの変換

形C500-OA121の変換
〈形C500-OA121→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　　形式 | | 形C500-OA121 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC132V 1A<br>（4A/コモン、5A/ユニット） | AC250V/1A<br>（1A/コモン、2A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 3mA以下/AC100V | 2mA以下/AC100V、5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.2V以下 | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 300mA以下 | DC24V 140mA以下（11.7mA×ON点数） | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132V 1AからAC250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。
残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。

〈形C500-OA121→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OA121 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | AC132V 1A<br>（4A/コモン、5A/ユニット） | AC250V/1A<br>（1A/コモン、2A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（4A/コモン、8A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（5A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 3mA以下/AC100V | 2mA以下/AC100V、5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.2V以下 | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 300mA以下 | DC24V 190mA以下（11.7mA×ON点数） | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132Vから250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。DC24Vが別途必要。

## 形C500-OA222の変換

〈形C500-OA222→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OA222 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1A<br>（4A/コモン、5A/ユニット） | AC250V/1A<br>（1A/コモン、2A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 3mA以下/AC100V、<br>6mA以下/AC200V | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.2V以下 | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 300mA以下 | DC24V 190mA以下（11.7mA×ON点数） | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132Vから250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。DC24Vが別途必要。

〈形C500-OA222→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OA222 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1A<br>（4A/コモン、5A/ユニット） | AC250V/1A<br>（1A/コモン、2A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（4A/コモン、8A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（5A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 3mA以下/AC100V、<br>6mA以下/AC200V | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.2V以下 | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 300mA以下 | DC24V 190mA以下（11.7mA×ON点数） | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132Vから250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。
ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。DC24Vが別途必要。

## 形C500-OA226の変換

〈形C500-OA226→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OA226 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1.2A<br>（4A/コモン、5A/ユニット） | AC250V/1A<br>（1A/コモン、2A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A<br>（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | 1.5mA以下/AC120V、<br>3mA以下/AC240V | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | AC1.5V 以下（100～600mA）、<br>AC1.5V 以下（50～100mA）、<br>AC5V以下（10～50mA） | AC1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下＋<br>1ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 450mA以下 | DC24V 190mA以下（11.7mA×ON点数） | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132Vから250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。
最大開閉能力：1.2Aが（端子台変換ユニット形CS1W-AT114の最大開閉能力から）1Aに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。DC24Vが別途必要。

〈形C500-OA226→端子台タイプへの接続〉

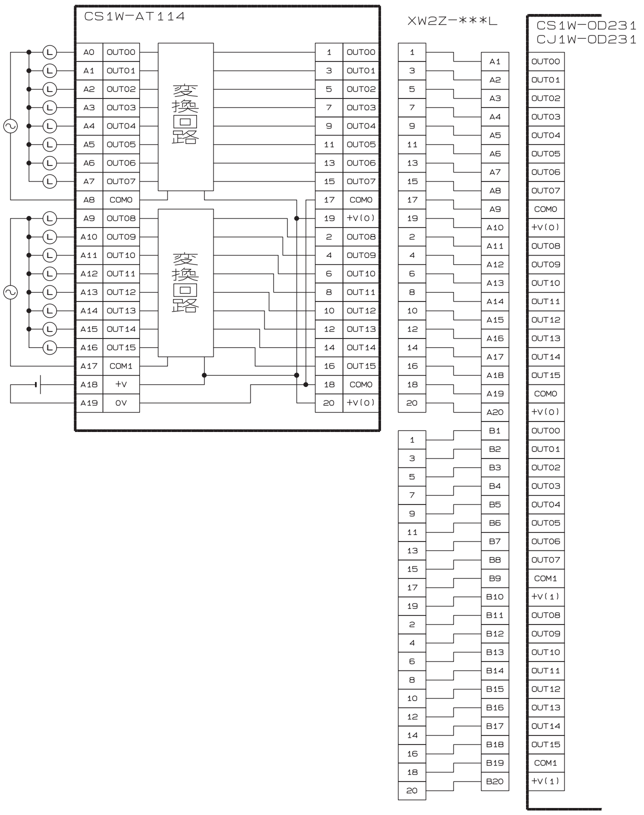
| 項目 | 形式 | 形C500-OA226 | 形CS1W-AT114 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1.2A<br>(4A/コモン、5A/ユニット) | AC250V/1A<br>(1A/コモン、2A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(4A/コモン、8A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(5A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 1.5mA以下/AC120V、<br>3mA以下/AC240V | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | AC1.5V 以下(100～600mA)、<br>AC1.5V 以下(50 ～ 100mA)、<br>AC5V以下(10～50mA) | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下＋<br>1ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 20P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、2回路 | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 450mA以下 | DC24V 190mA以下(11.7mA×ON点数) | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

変更点：最大開閉能力：AC132V 1AからAC250V 1Aに変更。漏れ電流：3mAから2mAに変更。残留電圧：1.2Vから1.6Vに変更。
最大開閉能力：1.2Aが（端子台変換ユニット形CS1W-AT114の最大開閉能力から）1Aに変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。DC24Vが別途必要。

## 配線

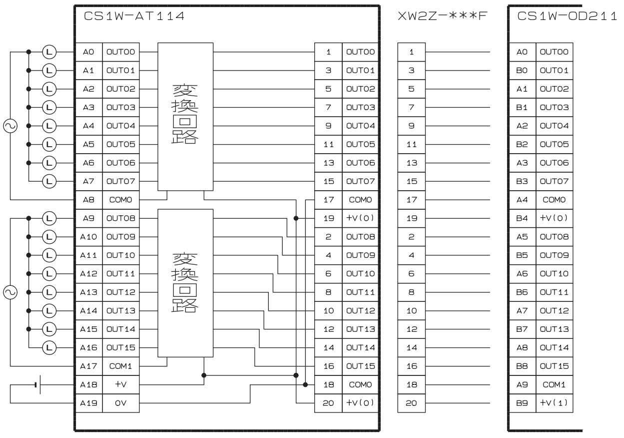
### ●16点トライアック出力ユニットの変換

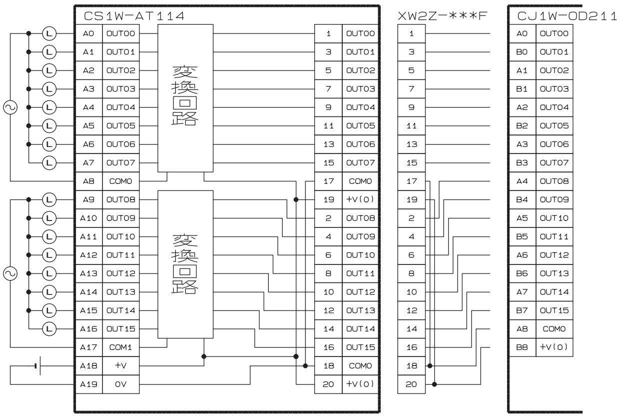
〈コネクタタイプへの接続〉




注.　端子A18、A19に追加でDC24V電源接続が必要

〈端子台タイプへの接続〉



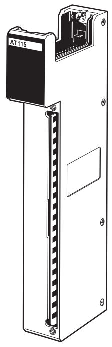

注.　端子A18、A19に追加でDC24V電源接続が必要

## 16点リレー独立接点出力変換ユニット

# 形CS1W-AT115

オープン価格

## 16点リレー独立接点出力を、
## トランジスタ出力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

本形式に実装されているリレーには、リレー用ソケットが装着されていますので、
不良となったリレーを交換することができます。
リレーの交換方法につきましては、92ページをご参照ください。

## 概要

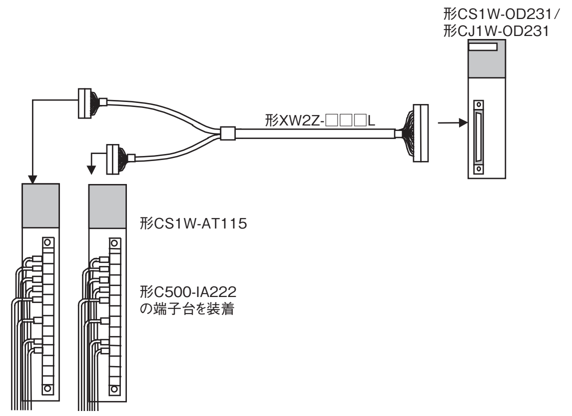
| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 16点リレー独立接点出力 | 形C500-OC223 | 形XW2Z-□□□L | 32点トランジスタ出力<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |
| | | 形XW2Z-□□□F | 16点トランジスタ出力<br>ユニット・端子台タイプ | 形CS1W-OD211または<br>形CJ1W-OD211 |

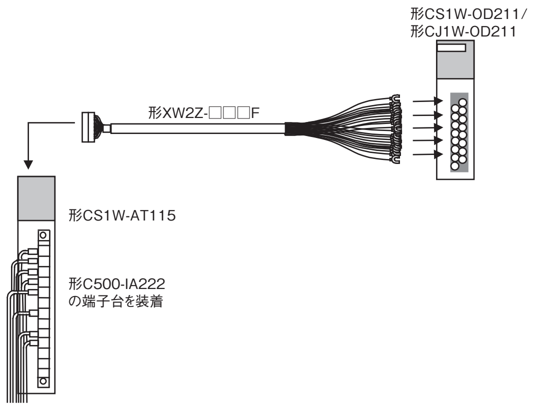
## 変換機能

リレー接点出力をトランジスタ出力に変換

## 接続形態

| 32点コネクタタイプへの接続時 | 16点端子台タイプへの接続時 |
|---|---|



# 仕様

## ●16点リレー独立接点出力ユニットの変換

### 形C500-OC223の変換

〈形C500-OC223→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OC223 | 形CS1W-AT115 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 2A（COS φ =1）、AC250V 0.5A（COS φ =0.4）、DC24V 2A（32A/ユニット） | 同左 | DC12～24V 0.5A（2.5A/コモン、5A/ユニット） | DC12～24V 0.5A（2A/コモン、4A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | – | – | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | – | – | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 独立コモン | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同左 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 100mA以下 | DC24V 140mA以下（8.7mA×ON点数） | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

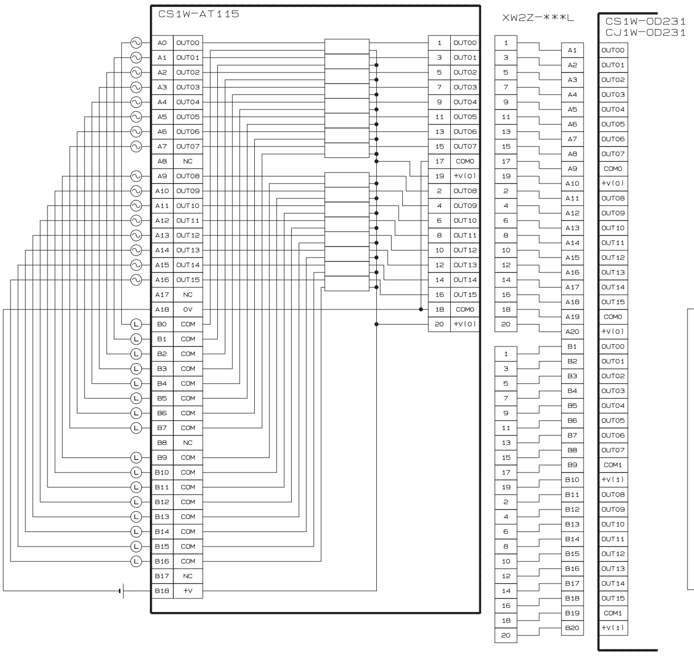
〈形C500-OC223→端子台タイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-OC223 | 形CS1W-AT115 | 形CS1W-OD211 | 形CJ1W-OD211 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 16点 | 同左 | 16点 | 16点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 2A（COS φ =1）、AC250V 0.5A（COS φ =0.4）、DC24V 2A（32A/ユニット） | 同左 | DC12～24V 0.5A（4A/コモン、8A/ユニット） | DC12～24V 0.5A（5A/ユニット） |
| 漏れ電流 | | – | – | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | – | – | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 20P端子台 | 18P端子台 |
| 1コモンあたりの点数 | | 独立コモン | 同左 | 8点/コモン、2回路 | 16点/コモン、1回路 |
| ヒューズ | | なし | 同左 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 100mA以下 | DC24V 140mA以下（8.7mA×ON点数） | DC5V 170mA以下 | DC5V 100mA以下 |

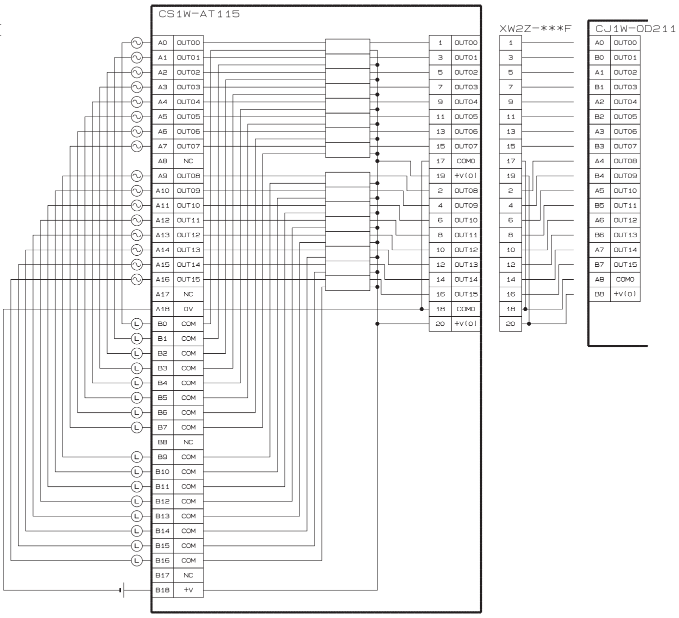
# 配線

## ●16点リレー独立接点出力ユニットの変換

〈コネクタタイプへの接続〉




〈端子台タイプへの接続〉

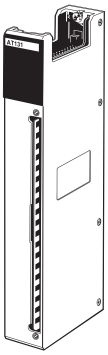


32点AC100V入力変換ユニット

# 形CS1W-AT131

オープン価格

## 32点AC100V入力ユニットを、DC入力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは橙色です。(橙色は入力変換ユニットを意味します。)

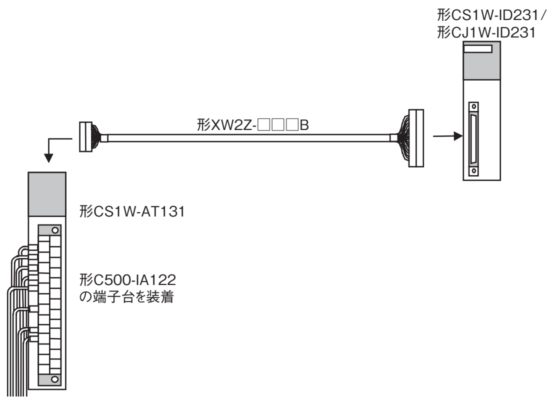
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点AC100V入力 | 形C500-IA122 | 形XW2Z-□□□B | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231 |

## 変換機能

AC100V入力をDC24V入力に変換
(ただし、DC24V電源を追加で供給することが必要)

## 接続形態



# 仕様

## ●32点AC100V入力ユニットを変換

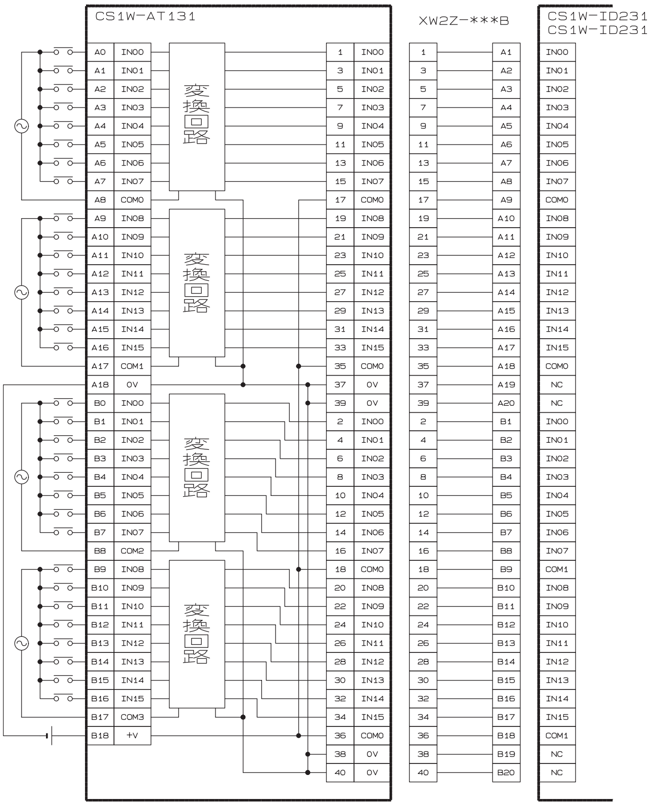
形C500-IA122の変換
〈形C500-IA122→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-IA122 | 形 CS1W-AT131 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC100～120V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC100V) | 同左 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC60V | 同左 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大AC20V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 240mA以下(7.3mA×ON点数) | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

# 配線

## ●32点AC100V入力ユニットを変換



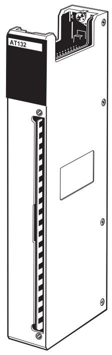

注. 端子A18-B18間に、追加でDC24V電源を接続することが必要。

omron

32点AC200V入力変換ユニット
# 形CS1W-AT132

オープン価格

## 32点AC200V入力ユニットを、DC入力ユニットに変換します。




※ 形式名表示シールは橙色です。（橙色は入力変換ユニットを意味します。）

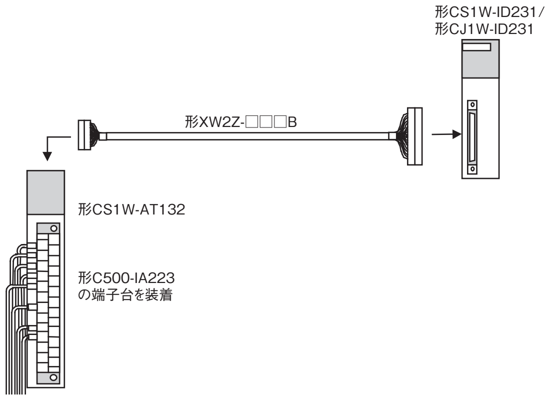
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点AC200V入力 | 形C500-IA223 | 形XW2Z-□□□B | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-ID231または形CJ1W-ID231 |

## 変換機能

AC200V入力をDC24V入力に変換
（ただし、DC24V電源を追加で供給することが必要）

## 接続形態



# 仕様

## ●32点AC200V入力ユニットを変換

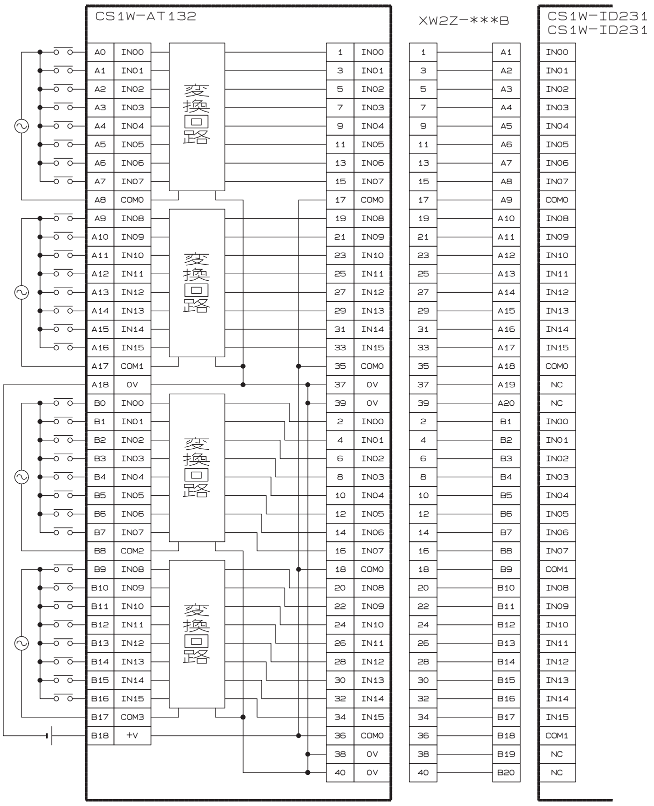
### 形C500-IA223の変換
### 〈形C500-IA223→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 | 形式 | 形C500-IA223 | 形 CS1W-AT132 | 形CS1W-ID231 | 形CJ1W-ID231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 入力点数 | | 32点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 入力電圧 | | AC200～240V | 同左 | DC24V | DC24V |
| 入力電流 | | 10mA TYP.(AC200V) | 同左 | 6mA TYP.(DC24V) | 4.1mA TYP.(DC24V) |
| 動作電圧 | ON電圧 | 最小AC120V | 同左 | 最小DC15.4V | 最小DC19.0V |
| | OFF電圧 | 最大AC40V | 同左 | 最大DC5.0V | 最大DC5.0V |
| 入力応答時間 | ON応答時間 | 35ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| | OFF応答時間 | 55ms以下 | 同左 | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) | 8.0ms以下(PCシステム設定によって0～32ms切替可能) |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| 内部消費電流 | | DC5V 180mA以下 | DC24V 240mA以下<br>(7.3mA×ON点数) | DC5V 150mA以下 | DC5V 90mA以下 |

留意事項：DC24V電源が別途必要。

# 配線

## ●32点AC200V入力ユニットを変換




注. 端子A18-B18間に、追加でDC24V電源を接続することが必要です。

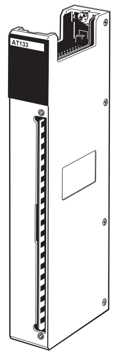
OMRON

32点リレー接点出力変換ユニット

# 形CS1W-AT133

オープン価格

## 32点リレー接点出力ユニットを、<br>トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

本形式に実装されているリレーには、リレー用ソケットが装着されていますので、
不良となったリレーを交換することができます。
リレーの交換方法につきましては、92ページをご参照ください。

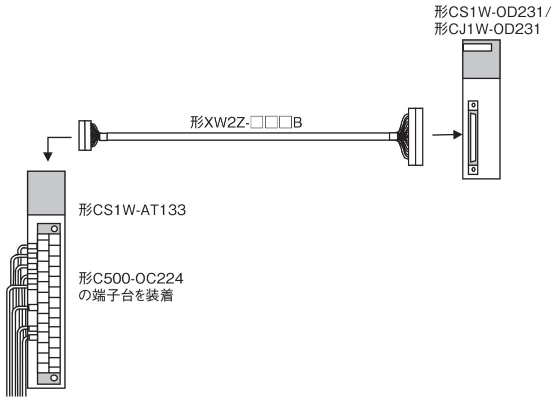
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 32点リレー接点出力 | 形C500-OC224 | 形XW2Z-□□□B | 32点トランジスタ出力<br>ユニット・コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または<br>形CJ1W-OD231 |

## 変換機能

リレー接点をトランジスタ出力に変換

## 接続形態



# 仕様

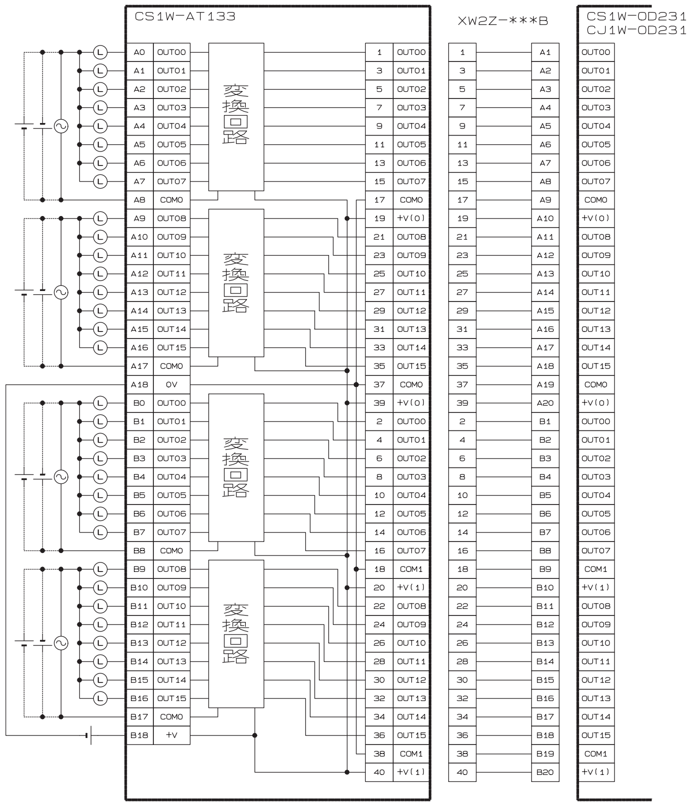
## ●32点リレー接点出力ユニットの変換

形C500-OC224の変換
〈形C500-OC224→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目　　　　形式 | | 形C500-OC224 | 形 CS1W-AT133 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 2A(COS $\phi$ =1)、AC250V 0.5A(COS $\phi$ =0.4)、DC24V 2A(8A/コモン、32A/ユニット) | 同左 | DC12～24V 0.5A(2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A(2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | – | – | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | – | – | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 15ms以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 同左 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | 同左 | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | DC24V 280mA以下(8.7mA×ON点数) | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

# 配線

## ●32点リレー接点出力ユニットの変換

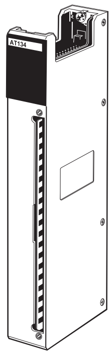


32点トライアック出力変換ユニット

# 形CS1W-AT134

オープン価格

## 24点、32点トライアック出力ユニットを、32点トランジスタ出力ユニットに変換します。



※ 形式名表示シールは黄色です。（黄色は出力変換ユニットを意味します。）

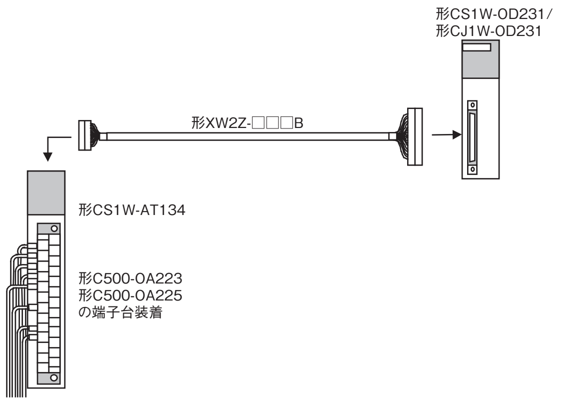
## 概要

| 変換対象ユニット | | 接続ケーブル | 変換先ユニット | |
|---|---|---|---|---|
| 24点トライアック出力 | 形C500-OA223 | 形XW2Z-□□□B | 32点トランジスタ出力ユニット･コネクタタイプ | 形CS1W-OD231または形CJ1W-OD231 |
| 32点トライアック接点出力 | 形C500-OA225 | | | |

## 変換機能

トライアック出力をトランジスタ出力に変換

## 接続形態



# 仕様

## ●24点トライアックス出力ユニットの変換

### 形C500-OA223の変換
### 〈形C500-OA223→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 形式 | | 形C500-OA223 | 形 CS1W-AT134 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 24点 | 32点 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1A<br>(4A/コモン、5A/ユニット) | AC250V 1A<br>(1A/コモン、4A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 3mA以下/AC100V、<br>6mA以下/AC200V | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.2V以下 | 1.6V以下 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、3回路 | 8点/コモン、4回路 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | あり | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 450mA以下 | DC24V 370mA以下(11.7mA×ON点数) | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

変更点：最大開閉能力：4A/コモン、5A/ユニットから、1A/コモン、4A/ユニットに変更。残留電圧：1.2V以下から1.6V以下に変更。ヒューズ：「あり」から「なし」に変更。規格：UL/CSA対応から未対応に変更。端子A18、B18の現配線を取り外して、A18-B18間にDC電源を接続することが必要。(これによりヒューズ切れ検知機能が使用できなくなります)
漏れ電流：3mA AC100V、6mA AC200Vから2mA AC100V、5mA AC200Vに変更。

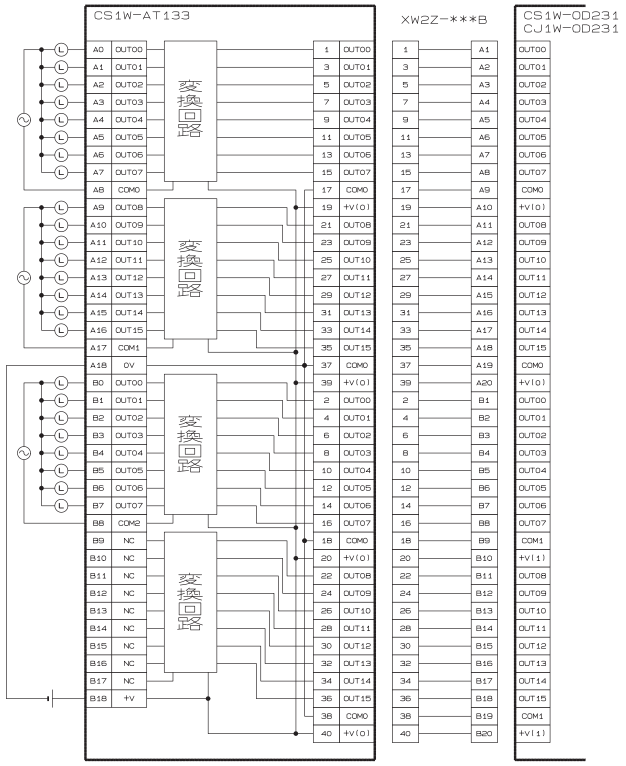
## ●32点トライアックス出力ユニットの変換

### 形C500-OA225の変換
### 〈形C500-OA225→富士通コネクタタイプへの接続〉

| 項目 形式 | | 形C500-OA225 | 形 CS1W-AT134 | 形CS1W-OD231 | 形CJ1W-OD231 |
|---|---|---|---|---|---|
| 出力点数 | | 32点 | 同左 | 32点 | 32点 |
| 最大開閉能力 | | AC250V 1A | 同左 | DC12～24V 0.5A<br>(2.5A/コモン、5A/ユニット) | DC12～24V 0.5A<br>(2A/コモン、4A/ユニット) |
| 漏れ電流 | | 2mA以下/AC100V、<br>5mA以下/AC200V | 同左 | 0.1mA以下 | 0.1mA以下 |
| 残留電圧 | | 1.6V以下 | 同左 | 1.5V以下 | 1.5V以下 |
| 出力応答時間 | ON応答時間 | 1ms以下 | 同左 | 0.5ms以下 | 0.1ms以下 |
| | OFF応答時間 | 負荷周波数の1/2以下 | 同左 | 1.0ms以下 | 0.8ms以下 |
| 外部接続 | | 38P端子台 | 同左 | 富士通製コネクタ×1個 | 富士通製コネクタ×1個 |
| 1コモンあたりの点数 | | 8点/コモン、4回路 | 8点/コモン、4回路 | 16点/コモン、2回路 | 16点/コモン、2回路 |
| ヒューズ | | なし | なし | なし | なし |
| 内部消費電流 | | DC5V 200mA以下 | DC24V 370mA以下(11.7mA×ON点数) | DC5V 270mA以下 | DC5V 140mA以下 |

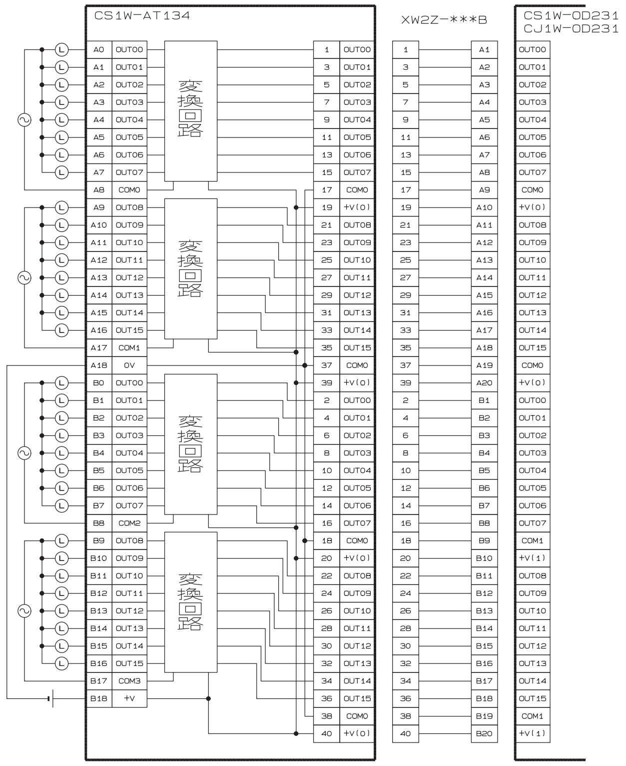
# 配線

## ●24点トライアックス出力ユニットの変換




注. 端子A18、B18の現配線を取り外して、A18-B18間にDC電源を接続することが必要。

## ●32点トライアックス出力ユニットの変換



# リレーの交換方法

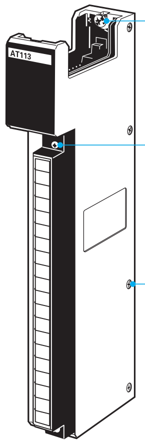
## 交換用リレー

次の出力変換ユニットはリレー用ソケットが装着されていますので、不良となったリレーを交換することができます。

| ユニット形式 | リレー形式 |
|---|---|
| 形CS1W-AT113<br>形CS1W-AT115<br>形CS1W-AT133 | 形G6B-1174P-FD-US-M<br>DC24V仕様 |

## リレーの交換手順

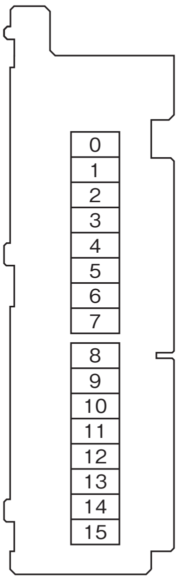
①電源をOFFにしてください。
②出力変換ユニットを取り外してください。
上下の取りつけねじを緩め、出力変換ユニットを手前に引き抜いてください。



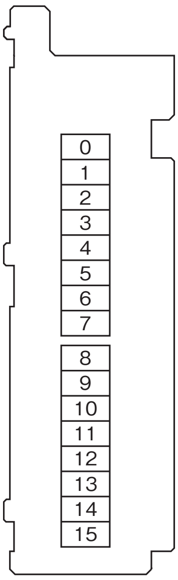

③端子台コネクタを取り外します。
配線のまま、端子台コネクタ取りつけねじを緩め、端子台コネクタを手前に引き抜いてください。
④ユニットのカバー取りつけねじ（8個）を取り外してください。
⑤カバーを取り外し、基板を取り出してください。
⑥リレーを交換します。
⑦以上の逆の手順でユニットを組み立て、取りつけてください。

## リレーの配置

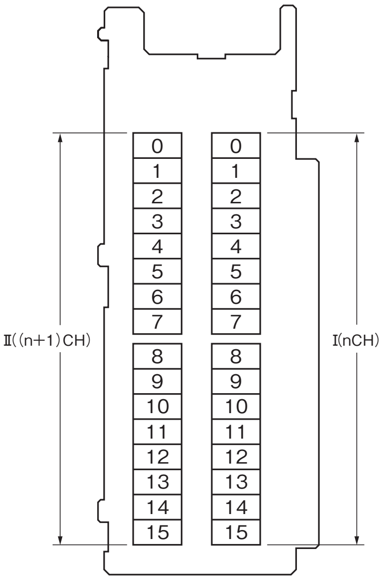
形CS1W-AT113




形CS1W-AT115



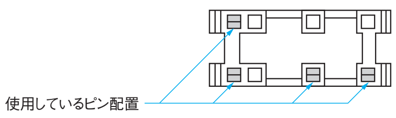

形CS1W-AT133




**お願い**

・リレーを取り外すときは、引き抜き工具（形P6B-Y1）をご使用ください。
・新しいリレーをソケットに挿入するときは、リレーのピン配置を確認して挿入してください。
異なる向きでは挿入できませんが、無理に押し込むとピンが曲がって使用できなくなります。

リレーソケット上面図



端子台変換アダプタ

# 形XW7G-CS□□-□

## I/Oユニットの端子台配線を流用してリプレース。

32点端子台タイプ
富士通コネクタタイプ
形XW7G-CS01-1/CS01-2/CS01-3

16点端子台タイプ
1スロットタイプ
形XW7G-CS02

16点端子台タイプ
2スロットタイプ
形XW7G-CS03

32点端子台タイプ
2スロットタイプ
形XW7G-CS04

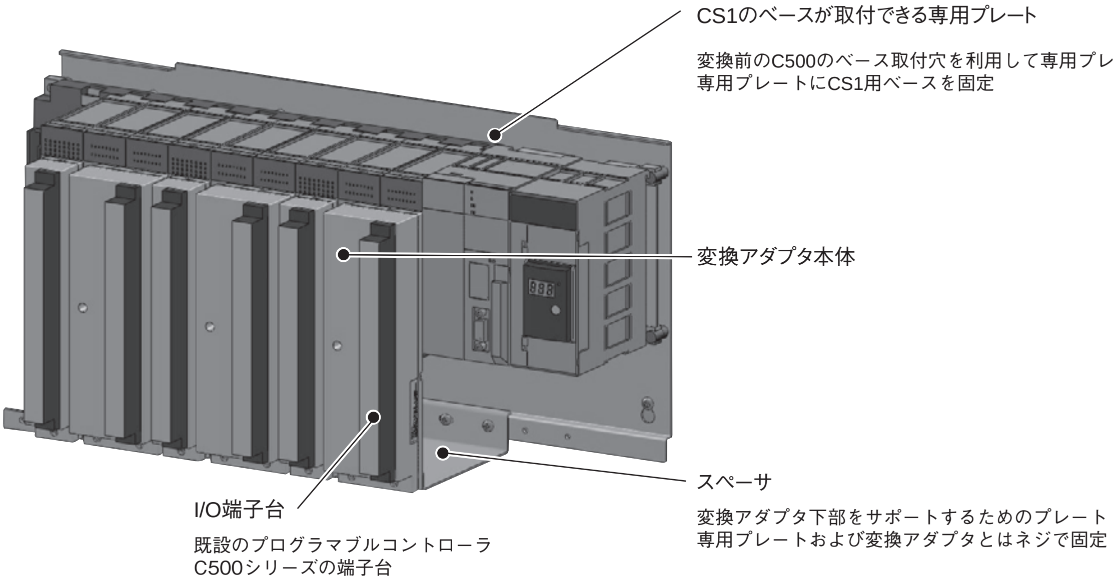
## 概要

端子台変換アダプタ形XW7G-CS□□-□は、C500/C1000H/C2000H/CV/CVM1シリーズをCSシリーズにリプレースする場合、既設のC500基本I/Oユニットの端子台配線をCSシリーズでもそのまま利用できるようにするための、端子台変換アダプタです。本ユニットを使用することで、入出力配線をやり直す必要がありませんので、配線作業や配線チェック、試運転に要する時間が大幅に短縮できます。

## 特長

- 既設のプログラマブルコントローラC500シリーズの端子台配線を流用して使用可能です。
- C500端子台をダイレクトにCSシリーズI/Oユニットに装着可能です。
- リプレースによる追加スペースを最小限にできます。

## システム構成



# 端子台変換アダプタ一覧

## 入力ユニットを変換する場合

### ■DC入力ユニットに変換する場合

#### ●16点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-ID112 | 16点DC入力ユニット (DC5～12V 16mA) | 形CS1W-ID211 | 16点DC入力ユニット・端子台タイプ (DC24V 7mA) | **形XW7G-CS02** | — |
| 形C500-ID213 | 16点DC入力ユニット (DC12～24V 10mA) | | | | — |

#### ●32点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-ID215 | 32点DC入力ユニット (DC12～24V 10mA) | 形CS1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ (DC24V 6mA) | **形XW7G-CS01-1** | — |
| 形C500-ID218 | | | | | — |

### ■AC入力ユニットに変換する場合

#### ●16点AC入力ユニットをAC入力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-IA121 | 16点AC100V 入力ユニット (AC100～120V 10mA) | 形CS1W-IA111 | 16点AC入力ユニット (AC100～120V DC100～120V) | **形XW7G-CS02** | — |
| 形C500-IA222 | 16点AC200V 入力ユニット (AC200～240V 10mA) | 形CS1W-IA211 | 16点AC入力ユニット (AC200～240V) | | — |

#### ●32点AC入力ユニットをAC入力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-IA122 | 32点AC100V 入力ユニット (AC100～120V 10mA) | 形CS1W-IA111×2台 | 16点AC入力ユニット (AC100～120V DC100～120V) | 形XW7G-CS04 | — |
| 形C500-IA223 | 32点AC200V 入力ユニット (AC200～240V 10mA) | 形CS1W-IA211×2台 | 16点AC入力ユニット (AC200～240V) | | — |

## 出力ユニットを変換する場合

### ■トランジスタ出力ユニットに変換する場合

#### ●16点トランジスタ出力ユニットをトランジスタ出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OD217 | 16点トランジスタ出力ユニット (DC12～24V 1A) | 形CS1W-OD211 | 16点トランジスタ出力ユニット・端子台タイプ (DC12～24V 0.5A NPN出力) | **形XW7G-CS02** | — |
| 形C500-OD411 ＊ | 16点トランジスタ出力ユニット (DC12～48V 1A) 注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | |
| 形C500-OD219 | 16点トランジスタ出力ユニット (DC12～24V 2.1A) | | | | |

＊既設端子台の19端子へ電源を供給してください。

# 端子台変換アダプタ一覧

### ●32点トランジスタ出力ユニットをトランジスタ出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OD218 | 32点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 0.3A） | 形CS1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ（DC12～24V 0.5A NPN出力） | **形XW7G-CS01-2** | — |
| 形C500-OD412 ＊ | 32点トランジスタ出力ユニット（DC12～48V 0.3A）注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | |
| 形C500-OD414 | 32点トランジスタ出力ユニット（DC12～48V 0.3A）注：DC12-24Vまで使用可能 | | | | |
| 形C500-OD212 | 32点トランジスタ出力ユニット（DC12～24V 0.3A PNP出力） | 形CS1W-OD232 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ（DC24V 0.5A PNP出力） | **形XW7G-CS01-3** | — |

＊既設端子台のA18端子へ電源を供給してください。

## ■トライアック出力ユニットに変換する場合

### ●16点トライアック出力ユニットをトライアック出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OA121 | 16点トライアック出力ユニット（AC132V 1A） | 形CS1W-OA211 | 16点トライアック出力ユニット（最大AC250V 0.5A） | **形XW7G-CS02** | — |
| 形C500-OA222 | 16点トライアック出力ユニット（AC250V 1A） | | | | |
| 形C500-OA226 | 16点トライアック出力ユニット（最大AC250V 1.2A） | | | | |

### ●24点トライアック出力ユニットをトライアック出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OA223 | 24点トライアック出力ユニット（AC250V 1A） | 形CS1W-OA211×2台 | 16点トライアック出力ユニット（最大AC250V 0.5A） | **形XW7G-CS04** | — |

### ●32点トライアック出力ユニットをトライアック出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OA225 | 32点トライアック出力ユニット（AC250V 1A） | 形CS1W-OA211×2台 | 16点トライアック出力ユニット（最大AC250V 0.5A） | **形XW7G-CS04** | — |

## ■リレー接点出力ユニットに変換する場合

### ●16点リレー接点出力ユニットをリレー接点出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OC221 | 16点リレー接点出力ユニット（AC250V/DC24V 2A） | 形CS1W-OC211 | 16点リレー接点出力ユニット（最大AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A） | **形XW7G-CS02** | — |
| 形C500-OC223 | 16点リレー接点出力ユニット（AC250V/DC24V 2A 独立コモン） | 形CS1W-OC201×2台 | 8点リレー接点出力ユニット（最大AC250V/DC120V 2A 独立コモン） | **形XW7G-CS03** | — |

### ●32点リレー接点出力ユニットをリレー接点出力ユニットに変換する場合

| 変換元 | | 変換先 | | 端子台変換アダプタ | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | ユニット名(仕様) | 形式 | |
| 形C500-OC224 | 32点リレー接点出力ユニット（AC250V/DC24V 2A） | 形CS1W-OC211×2台 | 16点リレー接点出力ユニット（最大AC250V/DC24V 2A、DC120V 0.1A） | **形XW7G-CS04** | — |

# 端子台変換アダプタ

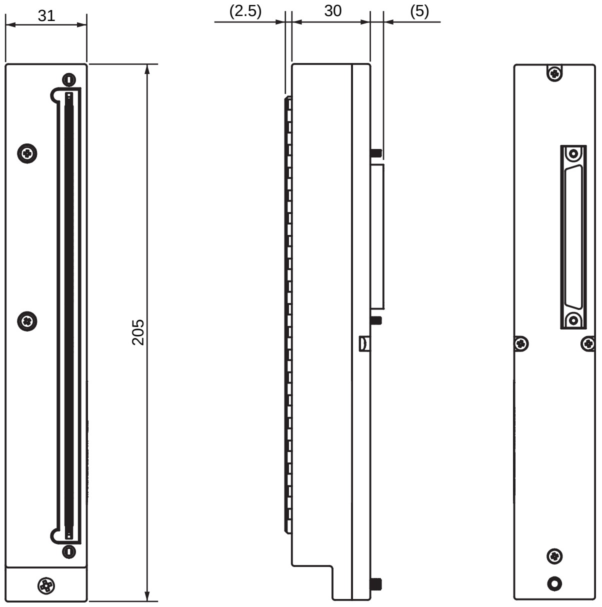
（単位：mm）

## ■種類 （◎印の機種は標準在庫機種です。）

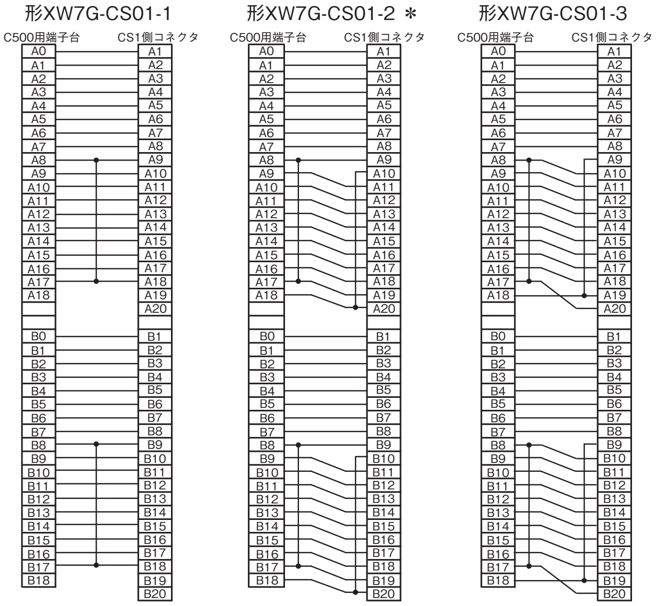
| 形式 | 概要 | 定格 | 標準価格（¥） |
|---|---|---|---|
| ◎形XW7G-CS01-1 | 32点端子台タイプ ：富士通コネクタタイプ | DC24V/0.5A | 13,200 |
| ◎形XW7G-CS01-2 | | | |
| 形XW7G-CS01-3 | | | |
| ◎形XW7G-CS02 | 16点端子台タイプ ：1スロットタイプ | AC250V/2A DC24V/2A | 12,000 |
| ◎形XW7G-CS03 | 16点端子台タイプ ：2スロットタイプ | AC250V/2A DC24V/2A | 22,500 |
| ◎形XW7G-CS04 | 32点端子台タイプ ：2スロットタイプ | | |

## ■外形図

形XW7G-CS01-1 、形XW7G-CS01-2 、形XW7G-CS01-3

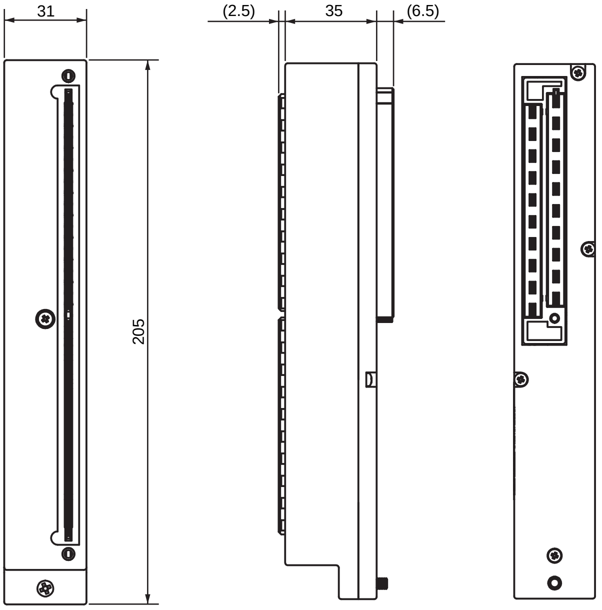



<配線図>

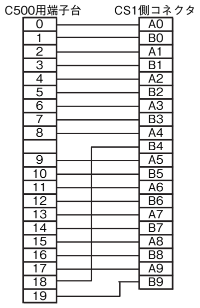



注. 変換元が形C500-OD412の場合、既設端子台のA18端子へ電源を供給してください。

形XW7G-CS02



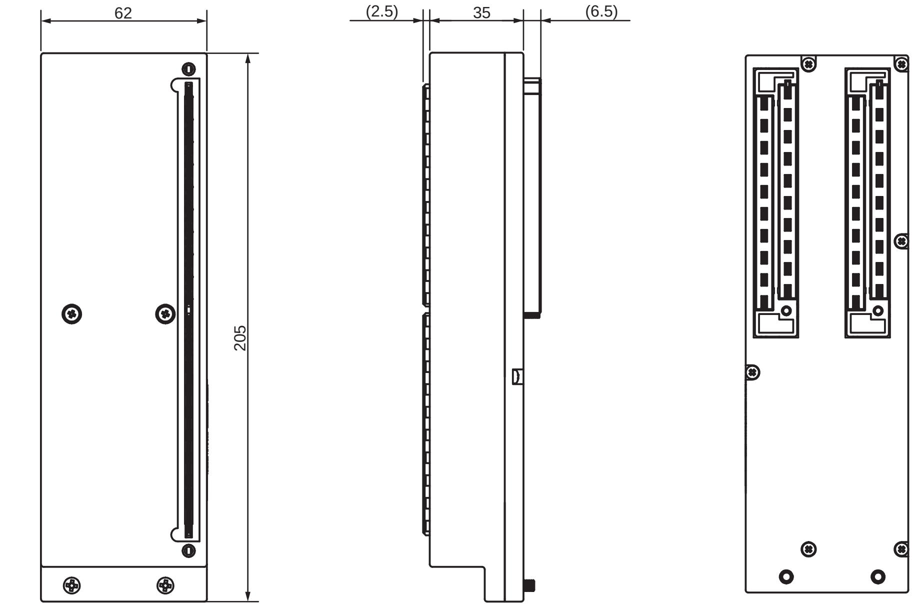

<配線図>

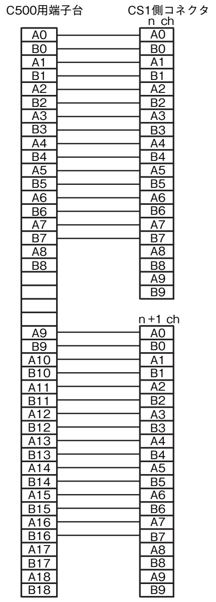



注. 変換元が形C500-OD411の場合、既設端子台の19端子へ電源を供給してください。

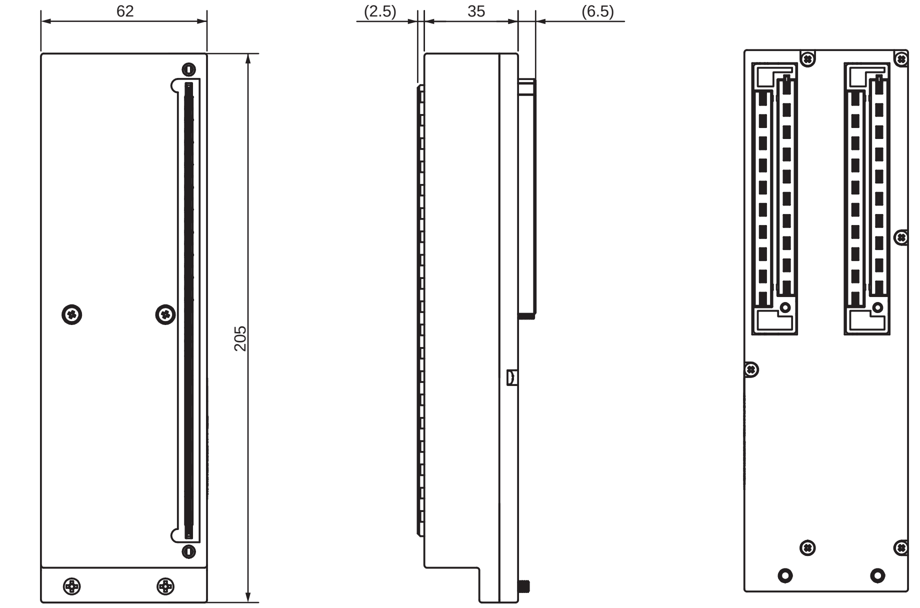
## ■外形図

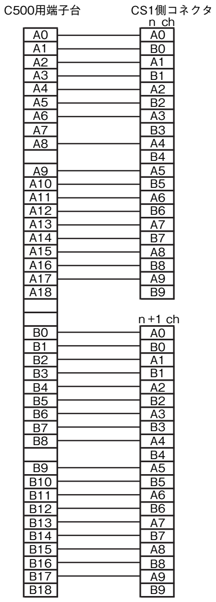
形XW7G-CS03




形XW7G-CS04



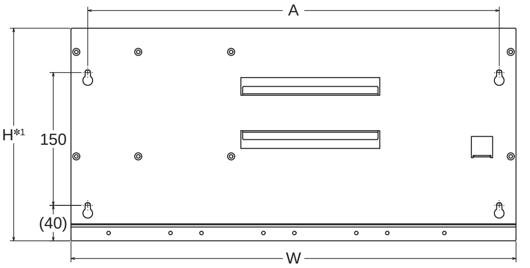

## アクセサリ

(単位：mm)

(◎印の機種は標準在庫機種です。 無印（受注生産機種）の納期についてはお取引き商社にお問い合わせください。)

| 形式 | 種類(対応スロット) | 外形寸法 | | 標準価格(￥) |
|---|---|---|---|---|
| | | W | A | |
| 形XW7G-CSP1-3C | 3 | 276㎜ | 255㎜ | 16,200 |
| 形XW7G-CSP1-3CV | | 260㎜ | 221㎜ | |
| 形XW7G-CSP1-5C | 5 | 375㎜ | 360㎜ | 16,800 |
| 形XW7G-CSP1-5CV | | 330㎜ | 291㎜ | |
| ◎形XW7G-CSP1-8 | 8 | 480㎜ | 465㎜ | 18,600 |
| ◎形XW7G-CSP1-10 | 10 | 503㎜ | 465㎜ | 19,200 |

＊専用プレートにスペーサと固定ねじは同梱されております。

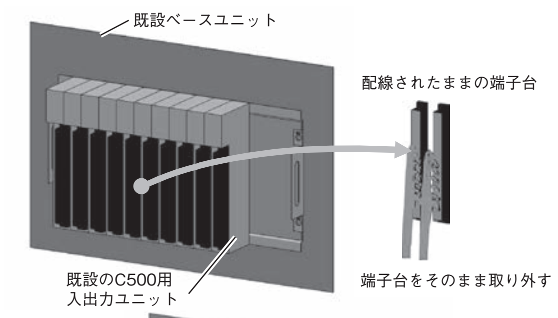



例）形XW7G-CSP1-10

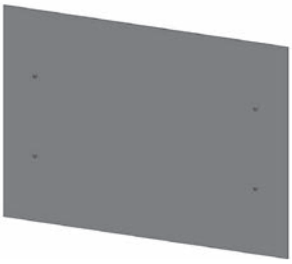
＊1. Hは形XW7G-CSP1-8/10は240mm、形XW7G-CSP1-3C/3CV/5C/5CVは235mmになります。

## 端子台変換アダプタ取り付け手順

（1）まず、配線されたままの端子台を、既設のC500シリーズ基本I/Oユニットから、取り外します。

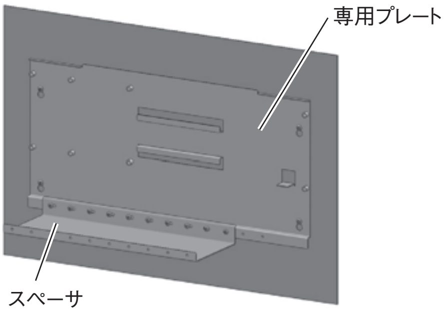



（2）既設のC500シリーズとユニットベース一式を取り外します。

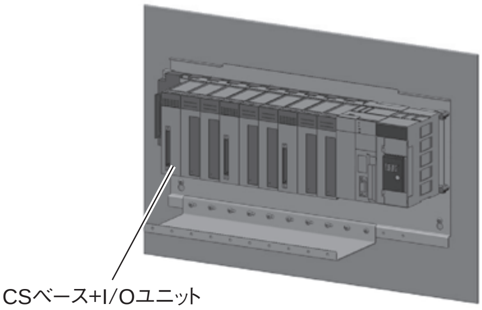


（3）専用プレート＋スペーサを同じC500用ベースのねじ（穴）を使って取り付けます。

スペーサ部締め付けトルクは1.2N･mとしてください。



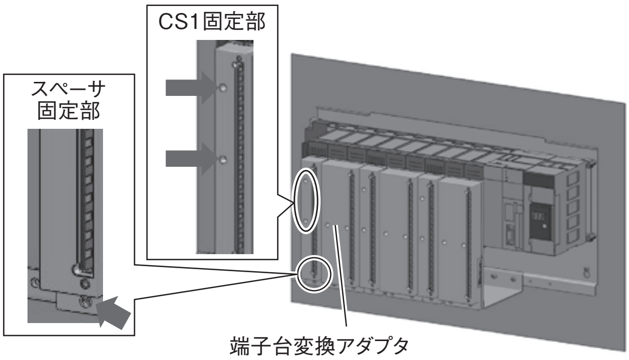

（4）CSベース+I/Oユニット一式を取り付けます。




（5）端子台変換アダプタを取り付けます。

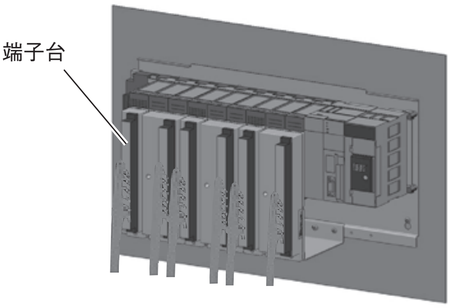
本商品は仕様上、下図（本体下部）の固定ネジを締付けてもアダプタ本体とスペーサ間にクリアランスを持たせる構造となっています。
過度のトルクにて組み付けると製品およびネジ部が破損します。
以下のトルクで締め付けてください。

| 形式 / 固定部 | 形XW7G-CS01-□ | 形XW7G-CS02<br>形XW7G-CS03<br>形XW7G-CS04 |
|---|---|---|
| CS1固定部 | 0.2N・m | 0.5N・m |
| スペーサ固定部 | 0.5N・m | 0.5N・m |




（6）端子台を取り付けます。

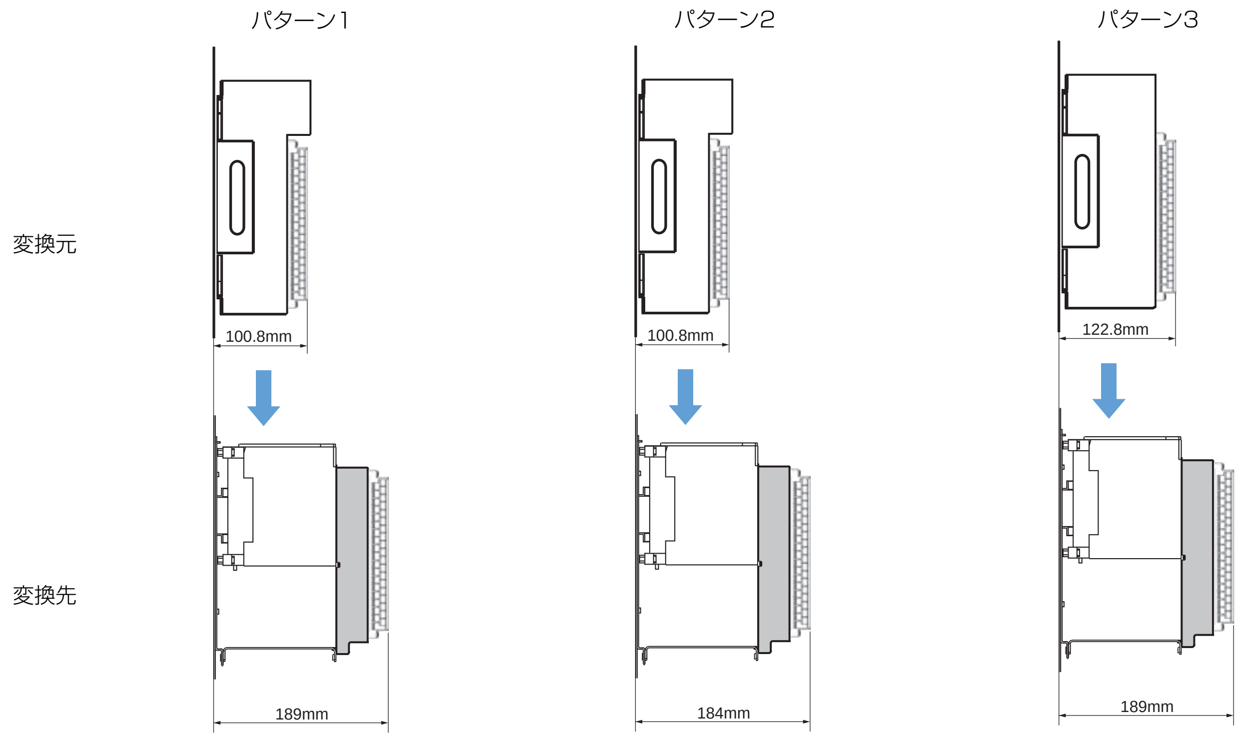
締め付けトルクは0.5N･mとしてください。




注. 既存の配線済みの端子台を流用する際は、端子台・配線状態に問題が無いことを確認してください。
- ネジのゆるみがないこと。
- ケーブルが切れ掛かってないこと。
- さびや腐食がないこと。
- 端子台が破損していないこと（端子台が完全に挿入、固定できること。）

## 奥行寸法変更一覧

（単位：mm）




パターン1

| 変換元寸法 | | 変換後寸法 | |
|---|---|---|---|
| 形式 | 奥行寸法 | 形式 | 奥行寸法 |
| 形C500-IA121 | 100.8mm | 形CS1W-IA111 | 189mm |
| 形C500-IA222 | | 形CS1W-IA211 | |
| 形C500-ID112 | | 形CS1W-ID211 | |
| 形C500-ID213 | | 形CS1W-ID211 | |
| 形C500-OA121 | | 形CS1W-OA211 | |
| 形C500-OA222 | | 形CS1W-OA211 | |
| 形C500-OA223 | | 形CS1W-OA211×2台 | |
| 形C500-OA225 | | 形CS1W-OA211×2台 | |
| 形C500-OA226 | | 形CS1W-OA211 | |
| 形C500-OC221 | | 形CS1W-OC211 | |
| 形C500-OC223 | | 形CS1W-OC201×2台 | |
| 形C500-OD217 | | 形CS1W-OD211 | |
| 形C500-OD219 | | 形CS1W-OD211 | |
| 形C500-OD411 | | 形CS1W-OD211 | |

パターン2

| 変換元寸法 | | 変換後寸法 | |
|---|---|---|---|
| 形式 | 奥行寸法 | 形式 | 奥行寸法 |
| 形C500-ID215 | 100.8mm | 形CS1W-ID231 | 184mm |
| 形C500-ID218 | | 形CS1W-ID231 | |
| 形C500-OD212 | | 形CS1W-OD232 | |
| 形C500-OD218 | | 形CS1W-OD231 | |
| 形C500-OD412 | | 形CS1W-OD231 | |
| 形C500-OD414 | | 形CS1W-OD231 | |

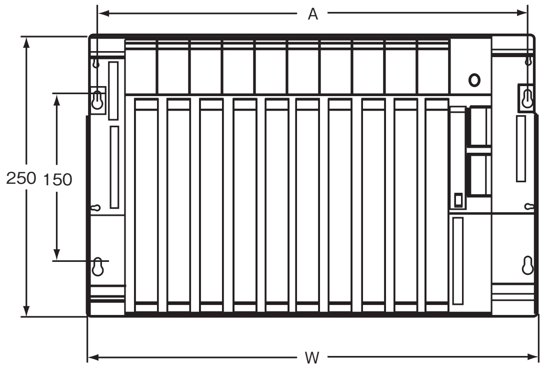
パターン3

| 変換元寸法 | | 変換元寸法 | |
|---|---|---|---|
| 形式 | 奥行寸法 | 形式 | 奥行寸法 |
| 形C500-IA122 | 122.8mm | 形CS1W-IA111×2台 | 189mm |
| 形C500-IA223 | | 形CS1W-IA211×2台 | |
| 形C500-OC224 | | 形CS1W-OC211×2台 | |

## 取付寸法変更一覧

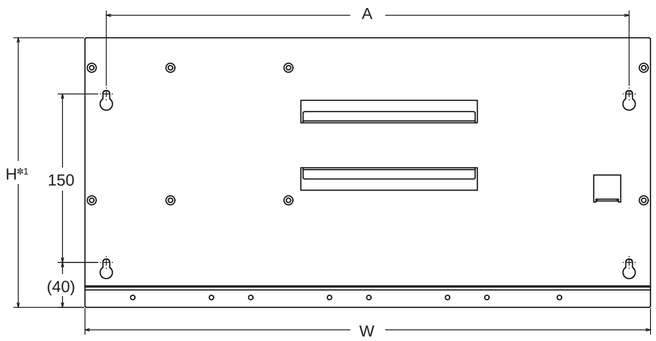
（単位：mm）

変換元




例）C/CVベース
形CV500-BC101　　W：480mm

変換先




例）プレート
形XW7G-CSP1-10　W：503mm　A：465mm

＊1. Hは形XW7G-CSP1-8/10は240mm、形XW7G-CSP1-3C/3CV/5C/5CVは235mmになります。

| 変換元 | | | 変換先 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 第1候補 | | | 第2候補（スロット数足りない場合） | | |
| C/CVベース | W寸法 | A寸法 | プレート | W寸法 | A寸法 | プレート | W寸法 | A寸法 |
| **形C500-BC091** | 486 | 465 | **形XW7G-CSP1-10** 取付け穴：一致 | 503 | 465 | なし | — | — |
| **形CV500-BC101** | 480 | | | | | | | |
| **形CV500-BI111** | | | | | | | | |
| **形CV500-BI112** | | | | | | | | |
| **形C2000-BC001** | | | | | | | | |
| **形CVM1D-BC051** | 486 | | | | | | | |
| **形CVM1-BC103** | 480 | | | | | | | |
| **形CVM1-BC114** | | | | | | | | |
| **形CVM1D-BI101** | 486 | | | | | | | |
| **形CVM1D-BI102** | | | | | | | | |
| **形C500-BC081** | 480 | 465 | **形XW7G-CSP1-8** 取付け穴：一致 | 480 | 465 | **形XW7G-CSP1-10** 取付け穴：一致 | 503 | 465 |
| **形C500-BC082** | | | | | | | | |
| **形C500-BI081** | | | | | | | | |
| **形C2000-BC061** | | | | | | | | |
| **形C2000-BI082** | | | | | | | | |
| **形C2000-BI083** | | | | | | | | |
| **形C500-BC051** | 375 | 360 | **形XW7G-CSP1-5C** 取付け穴：一致 | 375 | 360 | **形XW7G-CSP1-8** 取付け穴：不一致* | 480 | 465 |
| **形C500-BC052** | | | | | | | | |
| **形C500-BC061** | 381 | | | | | | | |
| **形C500-BI051** | 375 | | | | | | | |
| **形CV500-BC051** | 306 | 291 | **形XW7G-CSP1-5CV** 取付け穴：一致 | 330 | 291 | **形XW7G-CSP1-8** 取付け穴：不一致* | 480 | 465 |
| **形CVM1-BC053** | | | | | | | | |
| **形CV500-BI062** | | | | | | | | |
| **形CVM1-BI064** | | | | | | | | |
| **形C500-BC031** | 276 | 255 | **形XW7G-CSP1-3C** 取付け穴：一致 | 276 | 255 | **形XW7G-CSP1-5CV** 取付け穴：不一致* | 330 | 291 |
| **形CV500-BC031** | 236 | 221 | **形XW7G-CSP1-3CV** 取付け穴：一致 | 260 | 221 | **形XW7G-CSP1-5CV** 取付け穴：不一致* | 330 | 291 |
| **形CV500-BI042** | | | | | | | | |

＊お客様にて、ねじ加工が必要になります。
スペースも大きくなりますので、ご了承ください。

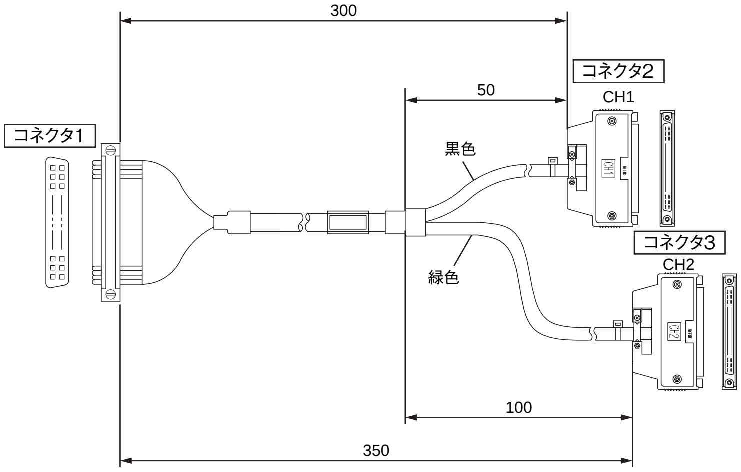
## 変換ケーブル

（◎印の機種は標準在庫機種です。）

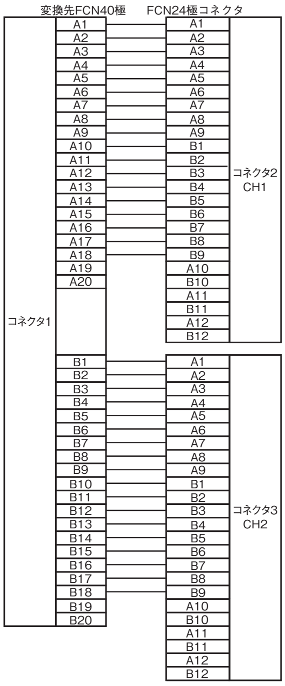
| 形式 | 概要 | ケーブル長さ（m） | 標準価格（￥） |
|---|---|---|---|
| ◎**形XW2Z-S010** | CS1W-ID231用　24極×2-40極変換ケーブル | 0.3 | 11,000 |
| ◎**形XW2Z-S011** | CS1W-OD231用　24極×2-40極変換ケーブル | | |

### ■外形図

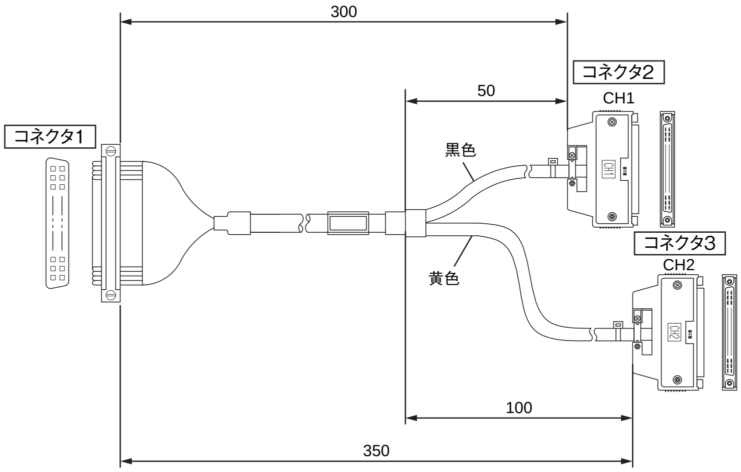
形XW2Z-S010



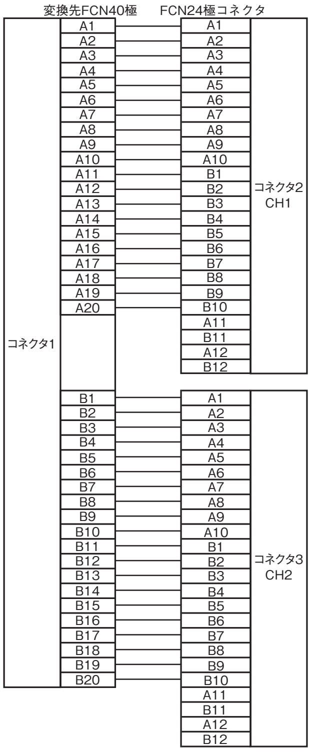

<配線図>




形XW2Z-S011

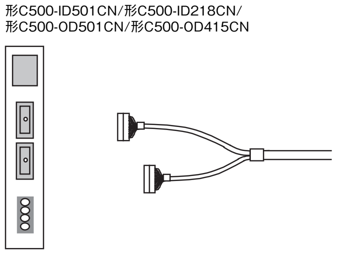



<配線図>

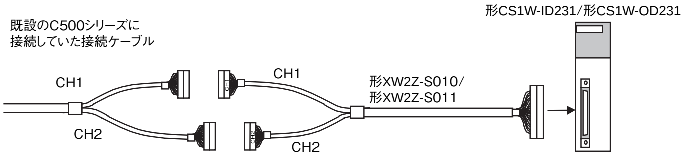


## 変換ケーブルの取り付け手順

（1）既設のC500の入出力ユニットに接続していたケーブルを
取り外します。




（2）CSユニットに変換ケーブルを接続します。
変換ケーブルと1にて取り外したケーブルを接続します。




## 変換ケーブル一覧

### 入力ユニットを変換する場合

**●32点DC入力ユニットをDC入力ユニットに変換する場合**

| 変換元 | | 変換先 | | 変換ケーブル | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | |
| 形C500-ID501CN | 32点TTL入力ユニット（DC5V 3.5mA） | 形CS1W-MD561（CN2：入力側） | 32点TTL入出力ユニット（DC5V 3.5mA） | **形XW2Z-S010** | — |
| 形C500-ID218CN | 32点DC入力ユニット（DC12～24V 10mA） | 形CS1W-ID231 | 32点DC入力ユニット・コネクタタイプ（DC24V 6mA） | | |

### 出力ユニットを変換する場合

**●32点トランジスタ出力ユニットをトランジスタ出力ユニットに変換する場合**

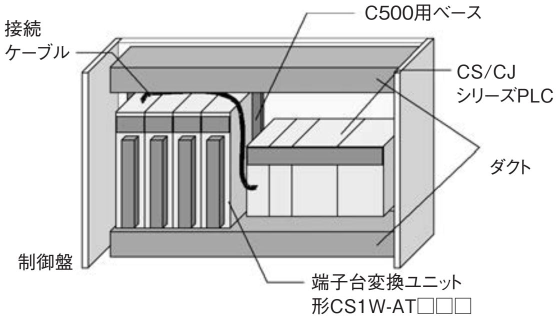
| 変換元 | | 変換先 | | 変換ケーブル | 規格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | ユニット名（仕様） | 形式 | |
| 形C500-OD501CN | 32点TTL出力ユニット（DC5V 35mA） | 形CS1W-MD561（CN1：出力側） | 32点TTL入出力ユニット（DC5V 35mA） | **形XW2Z-S011** | — |
| 形C500-OD415CN | 32点トランジスタ出力ユニット（DC12～48V 0.3A） | 形CS1W-OD231 | 32点トランジスタ出力ユニット・コネクタタイプ（DC12～24V 0.5A NPN出力） | | |

MEMO

# 端子台変換ユニット 形CS1W-AT□□□の 制御盤内または盤外への設置例（参考）

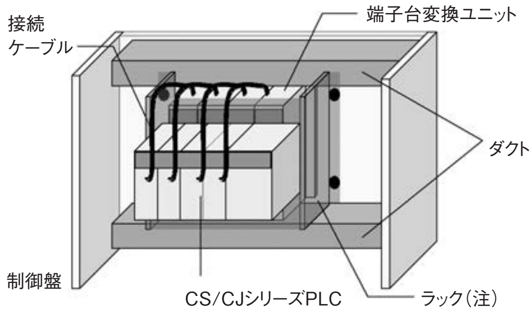
## ●端子台変換ユニットの設置方法1（盤内）

制御盤の端に、端子台変換ユニット（形CS1W-AT□□□）を寄せるようにして設置し、空いたスペースに、CS/CJシリーズPLCを設置します。ただし、同一盤に設置するには、横方向に、ある程度の追加スペースが必要です。




## ●端子台変換ユニットの設置方法2（盤内）

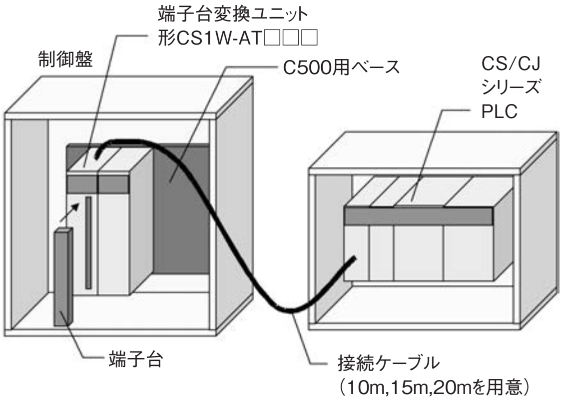
C500/1000H/2000Hを設置していたベースに端子台変換ユニット（形CS1W-AT□□□）を装着し、その上にラック（注）を設置。そのラックにCS/CJシリーズPLCを設置します。ただし、この場合は、制御盤の奥行きスペースがある程度必要となります。




## ●端子台変換ユニットの設置方法（盤外）

C500/1000H/2000Hのユニットが設置されている場所に、端子台変換ユニット（形CS1W-AT□□□）を設置し、CS/CJシリーズPLCは、他の制御盤などの別のスペースに設置します。

注：端子台変換ユニットとCS/CJシリーズを異なる制御盤に設置する場合、接続ケーブルへのノイズの影響を極力避けるよう配慮してください。



## オムロンフィールドエンジニアリング（株）
## 【略称:OFE】

# リプレース・リニューアル トータルサービス

**「現地調査」～「立ち合い」まで**
**OFEでは一連の作業を“TOTAL”でお引き受け致します。**
**制御を熟知したオムロン商品のノウハウやプログラミング力、**
**様々なフィールドで実践してきたエンジニアリング・メンテナンスの**
**経験が融合したOFEだからこそ可能なサービスを実施できます。**

| リプレース | 作業内容 | リニューアル |
|---|---|---|
| 現地調査 | 現状システム機能、仕様の確認<br>プログラム、配線状況、ハード設置状況の確認<br>入出力動作確認 | 現地調査 |
| | お客様の要求確認<br>基本仕様作成<br>仕様承認 | 仕様打合せ |
| 設計作業 | ハードウエアの選定<br>プログラム移植<br>改造部の図面作成 | 設計作業 |
| 現地工事 | 機器納入・撤去・設置・敷設作業 | 現地工事 |
| 現地調整 | I/Oチェック<br>システム調整 | 現地調整 |
| 試運転 | 正常動作確認 | 試運転 |
| 立ち合い | 生産の正常動作確認 | 立ち合い |

装置寿命・生産計画・設置可能空間など
前提条件はさまざまです。
これらを踏まえ、リプレース/
リニューアル方法を考案し、
生産に支障を出さない
機器選定・工事・工程をお客様に
ご提案します。

■OFEお問合せ窓口
http://www.omron-fe.co.jp/solution/fa/replace.html
または http://www.omron-fe.co.jp/
TEL.055-982-5025 音声③

MEMO

オムロン商品ご購入のお客様へ

# ご承諾事項

平素はオムロン株式会社(以下「当社」)の商品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
「当社商品」のご購入について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。ご承諾のうえご注文ください。

## 1. 定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

①「当社商品」:「当社」のFAシステム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
②「カタログ等」:「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含みます。
③「利用条件等」:「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
④「お客様用途」:「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み又は利用を含みます。
⑤「適合性等」:「お客様用途」での「当社商品」の(a)適合性、(b)動作、(c)第三者の知的財産の非侵害、(d)法令の遵守および(e)各種規格の遵守

## 2. 記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

① 定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
② 参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
③ 利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
④「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

## 3. ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

① 定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
② お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。
「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
③「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
④「当社商品」をご使用の際には、(i)定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii)「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii)利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv)「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
⑤「当社」はDDoS攻撃(分散型DoS攻撃)、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。
お客様ご自身にて、(i)アンチウイルス保護、(ii)データ入出力、(iii)紛失データの復元、(iv)「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、(v)「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。
⑥「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。
従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
(a) 高い安全性が必要とされる用途(例:原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及びうる用途)
(b) 高い信頼性が必要な用途(例:ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
(c) 厳しい条件または環境での用途(例:屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
(d)「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
⑦ 上記3. ⑥(a)から(d)に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車(二輪車含む。以下同じ)向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないでください。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

## 4. 保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

① 保証期間:ご購入後1年間といたします。(ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。)
② 保証内容:故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
(a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理(ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。)
(b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
③ 保証対象外:故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
(a)「当社商品」本来の使い方以外のご利用
(b)「利用条件等」から外れたご利用
(c) 本ご承諾事項「3. ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
(d)「当社」以外による改造、修理による場合
(e)「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
(f)「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
(g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因(天災等の不可抗力を含む)

## 5. 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。
「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

## 6. 輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様相談室

フリー通話 0120-919-066（クイック オムロン）

携帯電話・IP電話などではご利用いただけませんので、右記の電話番号へおかけください。

055-982-5015（通話料がかかります）

受付時間：9:00〜19:00（12/31〜1/3を除く）

オムロンFAクイックチャット

www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。（I-Webメンバーズ限定）

受付時間：平日9:00〜12:00 / 13:00〜17:00（土日祝日・年末年始・当社休業日を除く）

※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。

その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧いただけます。緊急時のご購入にもご利用ください。 www.fa.omron.co.jp

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載しており、ご使用上の注意事項等を掲載していない製品も含まれています。
本誌に注意事項等の掲載のない製品につきましては、ユーザーズマニュアル掲載のご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容を必ずお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものではありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌にオープン価格の記載がある商品については、標準価格を決めていません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。
- 規格認証/適合対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト（www.fa.omron.co.jp）の「規格認証/適合」をご覧ください。

オムロン商品のご用命は

カタログ番号 SBCA-027X 2023年4月現在 CSM_1_16

©OMRON Corporation 2004-2023 All Rights Reserved.
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください